

# 建築設計製図優秀作品集 2023

「付随寄生建築」 八阪校吾

「点、線、面から空間をつくる」

岡田海豊・川俣 達・木村舞優・高坂 光・牟禮樹希・望月琢真・吉村咲穂・渡辺 徹

「A.L. Station 水上交通と先進的活用による地域充実化の提案」

川名神威・小松直純・谷原功祐・大橋賢志郎・佐藤安純

「ランドスケープとプレゼンテーション」

三野宮弘太郎・田中修斗・姫野由衣・古川碧人・齋藤 光・小野田鼓・石野田蘭・小林弘真

「水中遺跡の保存及び利活用に関する研究

—鷹島神崎遺跡を対象とした複合研究リゾート施設の設計—」小林功基

「地域とつながる都市型集合住宅」酒井 優・川神爽来

「一級建築士対応製図コース」上原皐暉・小橋蓮華・古川智尋

「水族館」若松瑠苒・小野田鼓

海洋ゴミをリサイクル、そして建築へ」  
奥村碩人・佐藤航太・仲澤和希・玉木芹奈

「水辺に佇むマイ・スペース+ others」

椿井結月・渡辺 徹・菊田穂乃香

「植罪  
〜負の遺産を還す〜」荒木陽哉・山口直也・黒坂龍乃介

「ミクロの世界に立ってみよう」

石渡晴生・川俣 達・鈴木唯斗・高坂 光・平田寿珠・陸奥田真希・吉村咲穂

「都市型リゾート機能を有したホテル」姫野由衣・若松瑠苒

「使所的バラサイト」藍野友輝

日本大学理工学部 海洋建築工学科

# 建築設計製図優秀作品集 2023

---

## CONTENTS

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1年生（ベーシックデザイン演習）      | 2  |
| 2年生（デザイン演習Ⅰ、デザイン演習Ⅱ）  | 8  |
| 3年生（デザイン演習Ⅲ、建築計画及び演習） | 16 |
| 4年生（総合演習）             | 27 |
| 卒業設計                  | 33 |
| 修士設計                  | 41 |
| コンペ受賞歴一覧              | 48 |

# 1 年生（後期：ベーシックデザイン演習）

【担当】 佐藤 信治  
菅原 遼  
勝又 洋  
金子 太亮  
木内 厚子  
長谷川洋平  
船曳 桜子  
星 裕樹

## ベーシックデザイン演習 （後期）

### 第1課題

「ミクロの世界に立ってみよう」  
（出題：佐藤信治）

#### 【課題趣旨】

課題は普段見慣れたものの視点を変える訓練から始まります。皆さんの体が身長15～18mm位の大きさにまで小さくなったとします。見慣れていた文具や家電など手に取ることでできる小さなものがまるで未来都市や巨大な構築物のように見えるでしょう。ミクロの大きさになった皆さんは普段は外側から見ているものの中に自由に入りし内部空間をじっくりと眺めることができます。見たことのない空間に入り周りの質感や表情を見つめます。細部まで想像してください。さまざまな驚きや発見があるでしょう。内部空間にあなた自身が立ち最も魅せられた光景を表現してください。空間は意外なところにも存在します。あなたが見つけたこの内部空間を丁寧に描いてください。そして絶妙のタイトルをつけその空間の特質を説明してください。

#### 【提出物】

- (1) ケント紙に描いた作品。裏面に①担当講師氏名、②学生番号＋氏名、③描いた対象物とタイトルを記入
- (2) 作品タイトルと空間の説明文を記した A5サイズレポート用紙1枚。レポート用紙の最初に、同じく上記を記入

#### 【採点基準】

- (1) 描く対象物への着眼点（誰でも知っている身近なものでありながら、一見とてもそのようには見えないという視点を選んでください）
- (2) 表現の密度
- (3) 説明の適切さ
- (4) 必ずどこかに立っていることがわかるような視点であること

### 第2課題

「点、線、面から空間をつくる」  
（出題：勝又 洋、長谷川洋平）

#### 【課題趣旨】

これまでの課題をとおして、空間のスケール感や表現方法の基礎について学びました。今回の課題では、シンプルなエレメントを組み合わせて、空間やその造形を考察し、模型や図面を用いてアイデアの具体化を試みます。ここでは、空間は線材や面材といった部材の集合によって成立させます。もちろん模型として成立することが前提ですが、構造は重要視しなくても良いので、より純粋にここにあるべき空間を導き出してください。計画地は本学テクノブレース15の吹き抜けです。以下を参考にしながら、具体的な使い方（機能）や造形のテーマは各自で設定してください。

- ・空間的機能の例：屋内の休憩スペース、休憩スペース、レポートの作業場、グループ学習のスペース、友人との話りの場、カフェなど
- ・形態操作の例：反復、相似、増幅、入れ子、ずれ、回転、反転、連続、流れ、貫入、断片、隙間など

#### 【学習目標】

- (1) 計画地に赴き、実際の空間を体感する。
- (2) エスキース（計画のスケッチ）と模型製作を繰り返すことで完成品を作り上げる過程を理解する。
- (3) 「かたち」ではなく、「空間」をつくることを意識する。
- (4) デザインの主旨を、言葉（文章）、スケッチ、模型で表現する。

#### 【採点基準】

- (1) 表現したいコンセプトやイメージが実現されているか。
- (2) スケール感を把握しているか（空間に人物模型を置いて、空間と人との関係を示すこと）。
- (3) 水面を設けた人は、水の魅力を生

かしているか。

- (4) 模型やデザイン主旨をきちんとつけているか。

### 第3課題

「水辺に佇むマイ・スペース  
+ others」  
（出題：勝又 洋、星 裕樹）

#### 【課題趣旨】

マイ・スペースは文字通り自分の空間でありながら、+（プラス）の要素が求められます。それは社会や環境、自分以外の誰かとの接点を想定し、その場所を共有することです。誰は1人でも複数人でもかまいませんが、そこで起こるコミュニケーションにより「空間」や「場所」に新たな意味が生じるのです。個の空間を考えると同時に、仲間と、あるいは地域と共有できる建築、その場所に存在する意義を持った建築、そしてそこを訪れる人々に「素敵なかを」を与えられる提案を期待します。

#### 【設計条件】

計画地は、本学キャンパスより東葉高速線船橋日大前の北約600mの坪井近隣公園内に位置する。南側は遊歩道に、北側は調整池に面した、間口20m×奥行22mのなだらかな傾斜をもつ水辺空間である。休日はジョギングする人、家族で憩う人など、公共な広場や公園的な機能として賑わいがある。該当敷地は公園広場と水辺との間の水際に位置し水陸の環境要素と計画内容がどのような関係をもって魅力ある場所と成り得るかを計画するものとする。

- (1) 「マイペース」という定義は住まうスペースではなく、趣味や遊び、自身のアトリエやギャラリー、リスニングルームなどプライベートに活動する場所をイメージする。各自でストーリーを設定すること。自身がかわるスペースであれば設定は自由。

- (2) 「+（プラス）」はマイスペースを中心とし、社会や環境、誰かとの共有の場をプラスすることを意味する。誰かを招いたり、地域の人と活動する場、周囲へ情報発信する場としてもよい。自分以外の人や社会と共有される価値を付与すること。

- (3) 水辺を積極的に利用。水辺の水質はきれいな状態であると想定する。建物と水辺との動線は必ず確保し、水辺と岸辺、陸地など場所性をとらえ、関係を深める提案を行う。

- (4) 計画地：千葉県船橋市坪井町1371
- (5) 敷地面積：300㎡（約90坪）
- (6) 延床面積：30～100㎡（ピロティ・外部階段・テラス・バルコニー・庇等は面積不算入）

- (7) 構造：自由
- (8) 階数：自由（ただし周辺環境を留意した高さとする）

- ・地盤は表層から支持地盤となり得る良好なものとする。
- ・電気・ガス・上下水道は供給済み。
- ・建築基準法、都市計画法などの関係法規は適用外とする。

#### 【提出物】

- A2判ケント紙横使い4、5枚。以下の①に1枚、②～⑤に3、4枚を当てる。
- ①表紙：設計趣旨や計画説明を文、図（スケッチ・パース等）、写真で構成。
  - ②配置図：1/100（建築物を屋根状で表現し、道路、隣地、遊歩道、池との位置関係を示す）
  - ③平面図：1/50（各階平面図。1階平面図には外構計画を表現する）
  - ④断面図：1/50（2面以上。1面は水際線を横断し、水域と建物との関係を表現する）
  - ⑤立面図：1/50（各面4面以上）
  - ⑥模型：1/50（プレゼンテーション用。池・遊歩道など周囲もきれいに作成し、建築はこの地盤にしっかり固定すること。現物提出、採点後返却。写真は①に貼付）

ベーシックデザイン演習 第1課題  
ミクロの世界に立ってみよう

■講評

- 石渡晴生：薄暗い箱の中に何やら怪しい通路と、上空にある巨大な突起のついたドラム。一見すると危険な空気のする空間ですが、よく見るとそれはオルゴールです。突起は音を出すハーブをはじくためにあり、奥に見えるギヤはゼンマイの動力をドラムに伝えていく様子がよくわかります。
- 川俣 逢：素材の質感と空間の広がりが大変よく描かれています。これは、何だろうと一瞬思います。タイトルを

見るとああそうかと納得しますが、これはシュレッターの内部から上部の刃先を見た風景となっています。丁寧な表現で、下から見上げるような構図がダイナミックさを引き出しています。

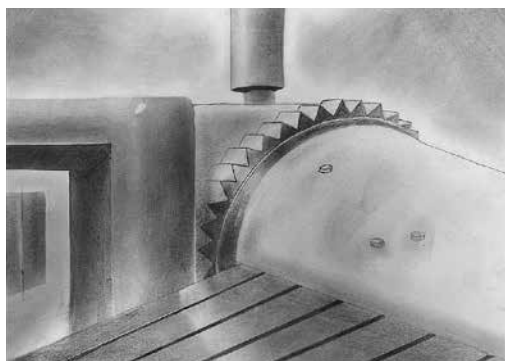
- 鈴木唯斗：これは丁寧に密度濃く「焼けた」スケッチです。これは一体何を表しているのでしょうか？ 怪しい基地の中で丸焼けになりそうなミクロ人間とその相棒の秋刀魚隊員でしょう。
- 高坂 光：ミクロ人間は果たしてどこに潜入しているのでしょうか。怪しい電波塔の下にて状況を確認している風景が浮かびます。上空には3方向に伸びる殺人電波を発するアンテナがあります。よく見るとこれは時計の文字

盤の上にいることがわかります。柱のような部分は時計の軸であり、3方向に伸びるのは、時間を示す針だったのです。質感とプロポーションがよく描けている作品です。

- 平田寿珠：この作品は、トンネルに閉じ込められたミクロ人間の危機迫る状況を表しています。よく見ると高速で送られてくる爆弾のようなモノもあり、極めて窮屈な様子です。そうです、これはマーブルチョコレートの中にある風景です。
- 陸奥田真希：この作品は、まさにSF映画に出てくるような近未来的な駅に高速列車が並んでいるような構図です。ミクロ人間が、これから高速列車に乗り込んで、敵地に向かう様子の

ようにも思えます。これは、ピアノの鍵盤の上にいる様子です。白鍵と黒鍵がこれから演奏されるコンサートを静かに待っている風景が丁寧に描かれています。

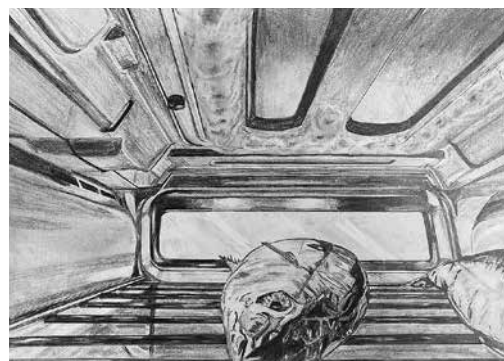
- 吉村咲穂：この作品は、一瞬では何を表しているのかわかりません。しかしながら、金属に覆われた空間の中、何かが今まさに起こりそうな緊張感のある瞬間、のように感じられます。正義の使者であるミクロ人間が、敵基地に潜入しこれから作戦行動を起こそうとしていることが空想出来ます。よくよくみるとそれはステープラーであり、よく整然と並んだ金属の板は針であることがわかります。金属の硬質な感じが丁寧に描かれています。（佐藤信治）



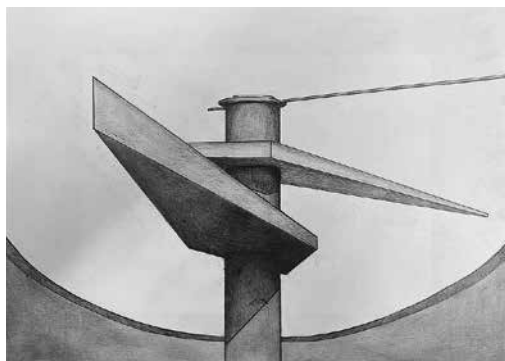
石渡晴生「音の工場」



川俣 逢「紙吹雪製造機」



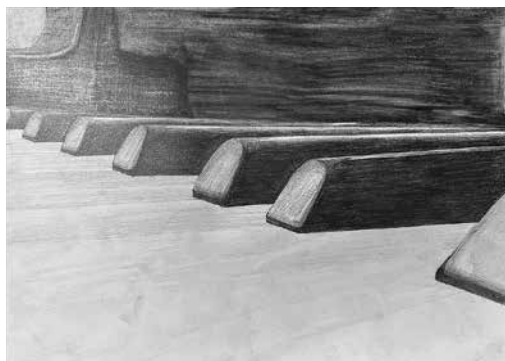
鈴木唯斗「灼熱サウナ」



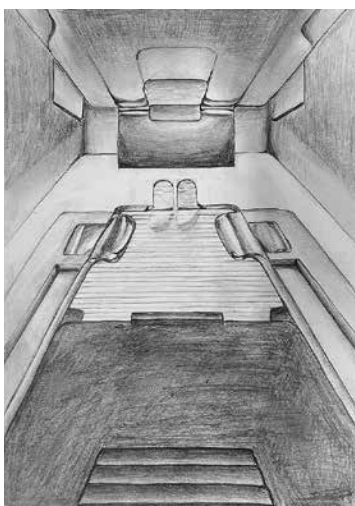
高坂 光「時間の中心」



平田寿珠「光の中には」



陸奥田真希「音色」



吉村咲穂「危機一髪」

# 点、線、面から空間をつくる

## ■講評

- 岡田海豊：格子状の線材を重ね合わせてできたふたつの三角形のヴォリュームが吹抜に配置され、切通しのようなダイナミックな空間が生まれている。切り立つ巨大なヴォリュームは同時に格子による抜けがみられ相反する効果を含み込むデザインとなっている。
- 川俣 逢：仮設的な架構形式によるアーチ状の橋を各階に架け渡す計画。多様なアーチの重なりは見る角度によ

って異なる印象を与え、その下にはさまざまなスケールを内包した人びとの居場所が用意されており、アーチの内外の空間を上手にデザインしている。

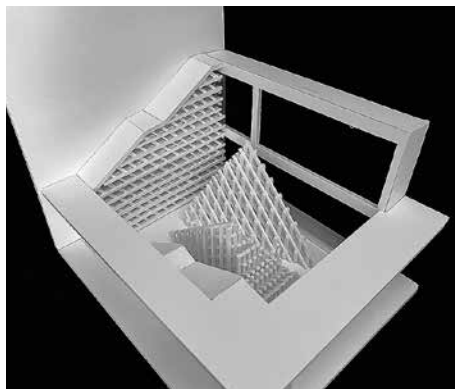
- 木村舞優：面材によるらせん状のスロー階段と円弧の床、その床を支持する線材の柱から構成されている。人びとは吹抜内を滑らかに移動することで多様な視点を獲得し、それぞれが落ちつける場や交流の場を見つけ、思い思いに過ごす様子が想像できる。
- 高坂 光：ふたつの波が重なる様子を線材で構成された単位の繰り返しで表現している。小波は歩廊空間となり、地下では覆いかぶさる大波の緊張感を線材の向きであらわしている。線材の重なりからこぼれる光は波のきらめき

のようで、美しい空間が生まれている。

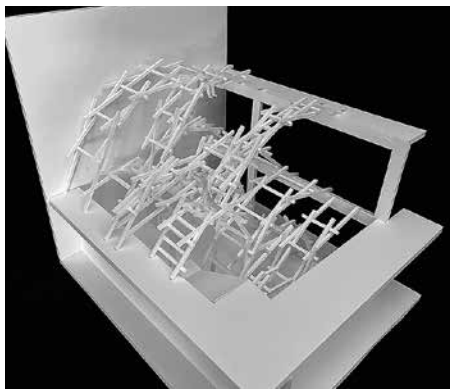
- 牟禮樹希：自然光に包まれた敷地の特性と深さのある空間性を読み解き、線材と面材をバランスよく組み合わせで多様な居場所を創出している。渦を巻きながら立ち上がる回遊動線は、壁面で途切れることなくシームレスにつながれた方が泳ぐ魚のような自由な体験を促すことができたかもしれない。
- 望月琢真：全体をやさしく包み込みながら多孔質なペールが開放感を保ち、落ち着いた居場所を実現している。求心性の強い正円ではなく、歪んだ円形であることがこの作品の良さを引き出していると感じた。言い換えるならば、それは機械では表現できない人の手が生み出す心地よさである。

- 吉村咲穂：部分と全体を同時に捉える思考力が発揮されている。大波と小波の組み合わせにより、波そのものに流れや動きを感じさせながら部材を丁寧に組み上げており、外部に溢れ出す波は訪れる人の期待感を高め、内部に入ると渦の中に吸い込まれるような体験ができる。
- 渡辺 徹：美しい造形には美しい数学的構造が隠されていると言わんばかりに、立方体を緻密に組み合わせたおらかな曲面が軽やかに浮遊する造形が魅力的である。敷地の状況をよく観察し、既存の階段や視線の抜けを考慮しながら揺らいだ形状を決定している点も評価したい。

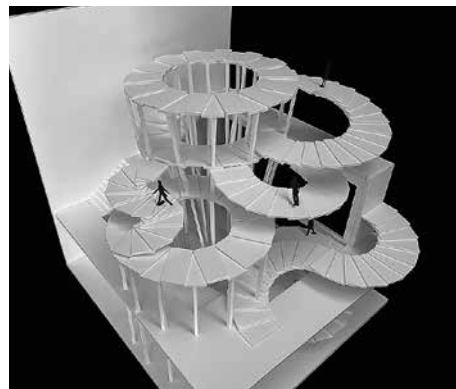
(長谷川洋平、勝又 洋)



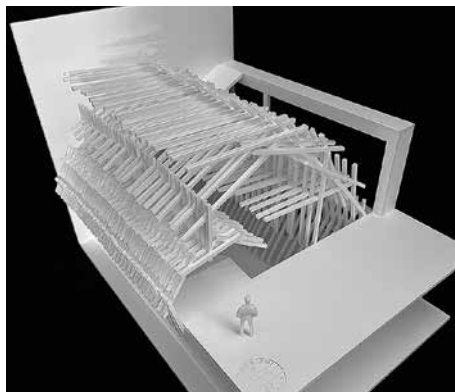
岡田海豊「自然と建物の調和」



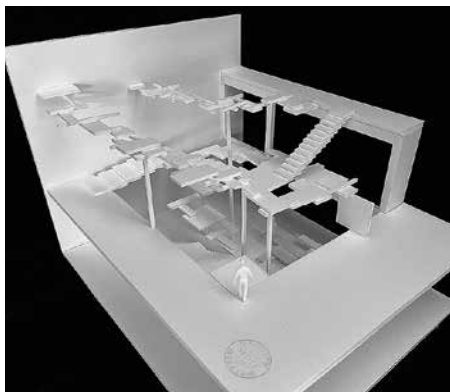
川俣 逢「個性を見つける橋」



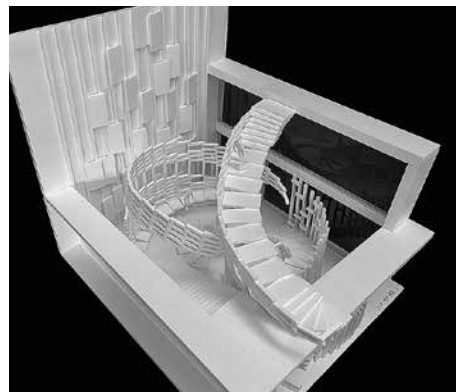
木村舞優「広がる「輪」」



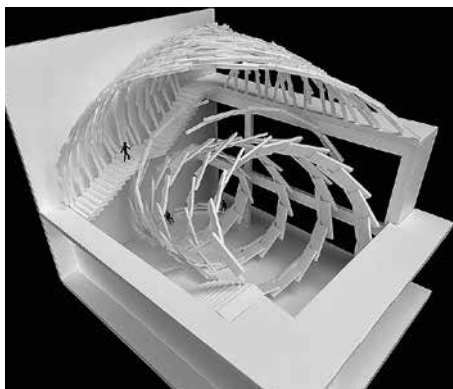
高坂 光「WAVE dome」



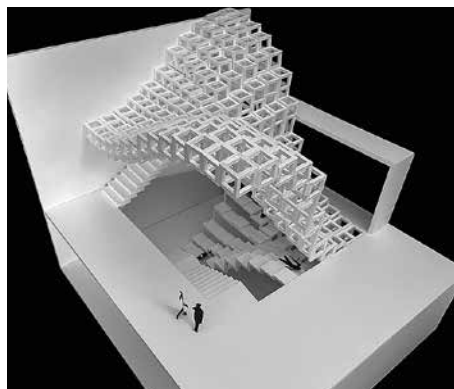
牟禮樹希「WAVES -peak, bottom, face-」



望月琢真「Circle」



吉村咲穂「波の空間」



渡辺 徹「WAVE」

椿井結月

「HONEYCOMB」

■コンセプト

書籍を執筆する創作の場としてのマイ・スペースと、公園を訪れた地域住民や学生が気軽に立ち寄り読書を楽しむ落ち着いた空間を設計した。均一な大きさの六角形を組み合わせた蜂の巣のような建築物。池側に広がるテラスやデッキチェアを設けた屋外空間では、公園に広がる緑や水の豊かな自然を感じながら読書を楽しむことができる。

公園側の大きなテラス窓には、建物内部の空間に合わせて木材を用いることにより、周辺環境を気にせず読書を楽しめる空間を目指した。

■講評

本作品は、作家の執筆場所(private)と執筆作品に触れる場(semi-public)を水辺に共存させた提案である。全体は2つの六角形のヴォリュームを連結させた構成となっており、片や断面方向、片や平面方向に空間を分節することで、おのこの空間の広がりの特徴づけており、たんに六角形を用いるだけでは生み出せない空間を設計している点が評価できる。また、開口部の格子のデザインや家具を用いた空間の分析など、細部にいたるまで設計を試みている。模型の完成度も非常に高く、今後の設計力のさらなる向上に期待したい。

(菅原 遼)

# My space + others HONEYCOMB

## - CONCEPT -

本を書くことのできるMy spaceと自分だけではなく、公園を訪れた周辺住民や近くの学校に通う学生が気軽に立ち寄り読書を楽しめる落ち着いた空間を設計した。



## - ABOUT ARCHITECTURE -

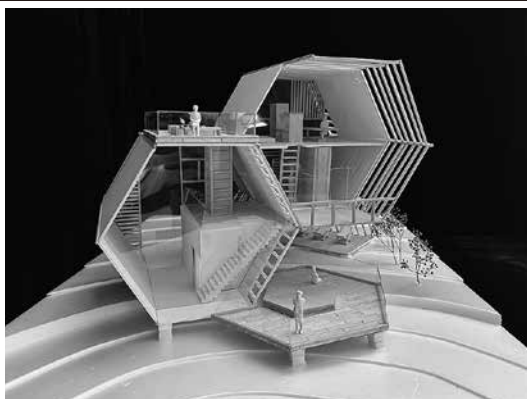
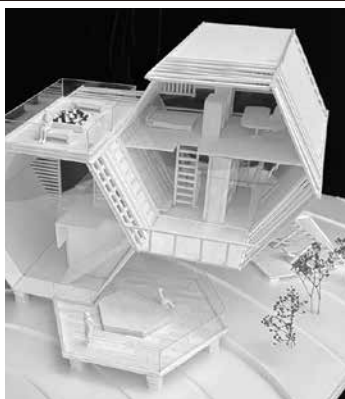
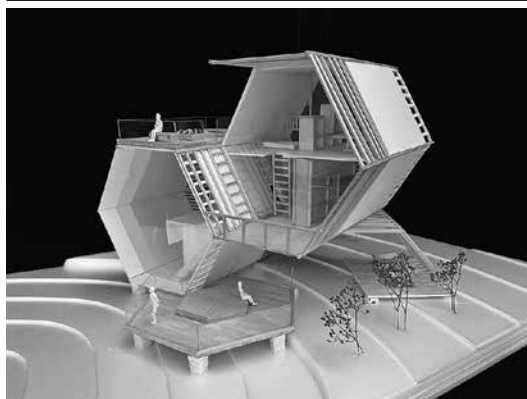
大きさの等しい六角形を組み合わせた蜂の巣のような建築物。池側に広がるテラスや、デッキチェアを設置した屋外空間では、公園内に広がる緑や水など、豊かな自然を感じながらの読書が可能。公園側の大きなガラス窓に室内の空間に合わせて木材を組み合わせることで、外を周りを気にせず読書できる空間に。

木々の豊かな公園内の景観を壊さない工夫として、木材を多く用いた。読書しやすく、多くの人がくつろげる空間を作るために、場所に応じて椅子の大きさや形を変えた。

配置図 S=1/100



| 水辺に佇むマイ・スペース + others |       |
|-----------------------|-------|
| 表紙                    |       |
| 1年 菅原先生業              |       |
| 3082                  | 椿井 結月 |



渡辺 徹

「Raised ground 隆起した大地」

■コンセプト

計画地周辺の現地調査では、遊具や筋トレ器具、ランニングコースなどアクティビティ要素は多くみられたが、休憩する場は少ない印象をもった。また、池の周囲は植栽に囲まれているため、池を直接眺めることができる場は限定的であるように感じた。そこで、池を眺めながら休憩でき、公園全体を見渡すことができる自然と融合した空間を提案した。

間を提案した。

ところで、かつてわれわれの祖先は洞窟で生活していた。洞窟という閉じられた空間。そこで人間が日常の生活から隔離されて、自分の内面を見つめる。本提案では、洞窟という建築の原点に戻った空間をイメージし、設計した。

目指している。この建築は人間（＝自己）だけのものではなく、小動物や植物（＝他者）が共存することを許容し、どんなものでも受け入れられる開放感と自由気ままに過ごすことができる豊かさを生み出している。巣穴が線対称の図形で構成されているが、もう少し内の空間に膨らみを持たせつつ、周囲の環境に呼応させながら光や風の抜け道をつくるなど、さらなる発展を期待できる作品である。作者が自問自答を繰り返しながら、前回の点・線・面の課題から逆行するアプローチを発見し、柱と壁と屋根で構成された単なる箱ものではない、時間の重さを感じられる建築に昇華させた瞬間に立ち会えたことが嬉しかった。（勝又 洋）

■講評

人類の住まいが洞窟からはじまったことを想起させる原初的な建築である。人工的に切り取られた積層する地盤とは対照的に、巣穴を掘りこむように有機的に居場所をつくる手法が、私たちが人間である以前に動物であるということに向き合っている建築をつくることを

## Raised ground

隆起した大地

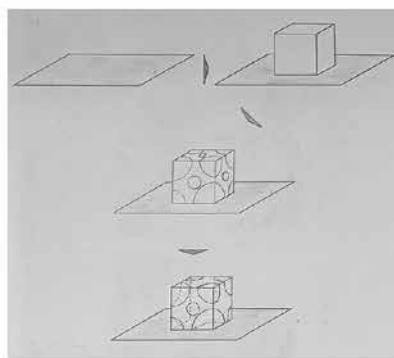


### 1.Concept

公園の調査では遊具や筋トレ器具、ランニングコースなどアクティビティ要素は多いが、休憩するスペースが少ないと思った。また、池の周囲は全体的に木や植物で囲まれており池を直接見ることができる場所は一部しかないと感じた。そこで、池を眺めながら休憩でき、公園全体を見渡せる自然と融合した空間を提案する。

ところで、かつて我々の祖先は洞窟で生活していた。洞窟という閉じられた空間。そこで人間が日常の生活から隔離されて、自分の内面を見つめる。今回は、洞窟という建築の原点に戻った空間をイメージし、設計した。

### 2.Diagram

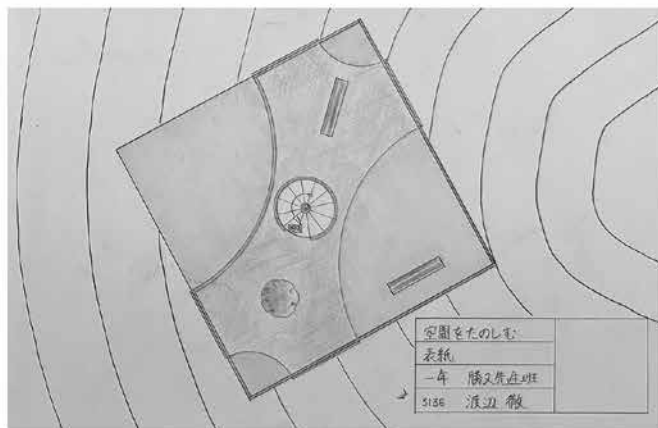


広大な土地に巨大な立方体を出現させることで人々に興味をわかせる

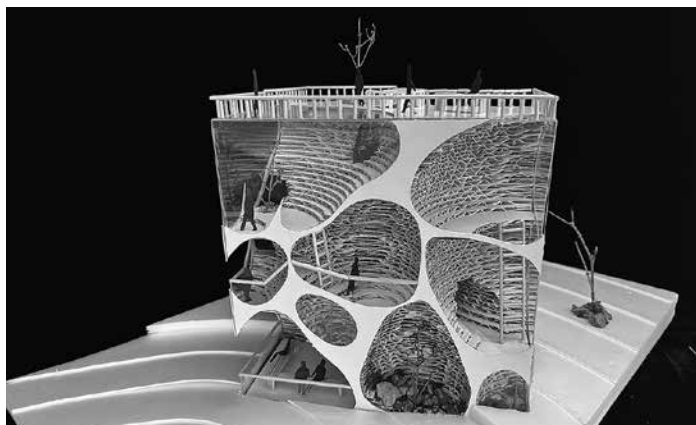
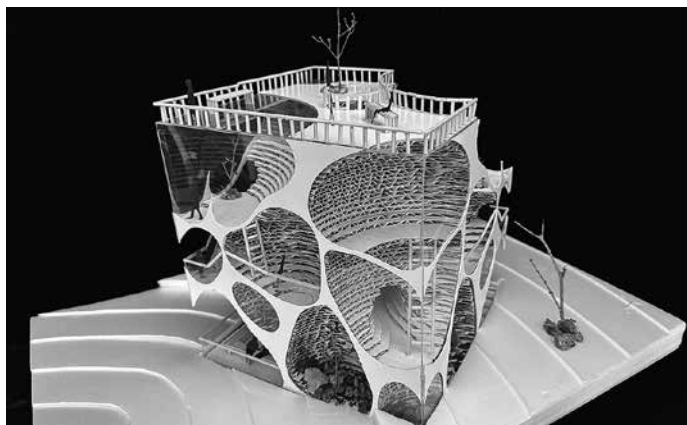
外面は水辺とのつながりを考え有機的なデザインに

外面のデザインを3次元へと広げる

### 3.layout



|           |
|-----------|
| 空間をたのしむ   |
| 表紙        |
| 一年 勝又 悠希  |
| 3186 渡辺 徹 |



### 菊田穂乃香

「7つのボックス」

#### ■コンセプト

計画地周辺には、多様な年齢層の人々が訪れていたが、小さな子どもたちが遊ぶ場や高齢の方が過ごす場が少ない印象を受けた。そこで、小さな子どもたちの創作の場や美術館、カフェなど、自然を感じながら過ごすことができる場を提案した。建築物には基本的に壁を設けておらず、来訪者の笑い声が飛び交う空間になっている。また、建築物

に木材を多用することによりやわらかな空間を生み出している。建築物は受付・カフェ、美術館、物販店、クラフトスペース、展望台、マイスペースの7つの要素で構成されており、各要素を散策する楽しみを味わうことができる空間づくりを目指した。

#### ■講評

本課題を進めるにあたり、提出までのスケジューリングをしっかりと組み立てることをとくに重要視した。

菊田は現地調査～コンセプト立案～エスキースを進めていくプロセスで、課題を明確化し解決していくことを繰り返すことで、結果魅力ある提案につながったと振り返る。

案は、7つのボックスを、軸を振りながら積み重ねたシンプルながらも非常に力強い建築である。動線上にルーバーを配し、上層階に行くほど視線が

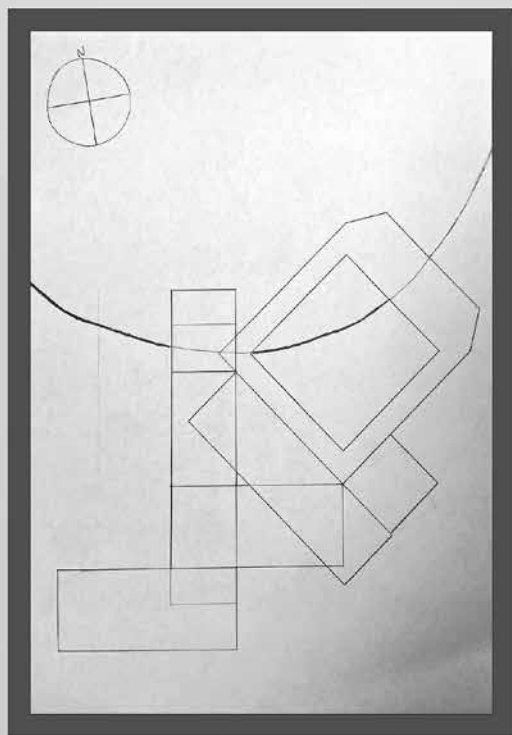
抜け徐々に開放的になっていくのが特徴である。感覚的ではありますが、立体的に上手く動線を回遊させ、敷地を最大限活用している。菊田自身がスケッチやスタディ模型を使い、自ら歩いて設計していることがよく伝わる。

おのおのが独立した機能を持つボックスは、目的を持って来る、ふらっと立ち寄れる、老若男女問わず多様に富んだ、誰もが楽しめる『others』となっている。

『マイスペース』は、回遊動線からは少し外れ、水辺に最も近い静かな環境に配されており、パブリックとプライベートのコントラストが明確で、優れたプランニングである。

今後の活躍を期待する。(星 裕樹)

# My space + others 7つのボックス

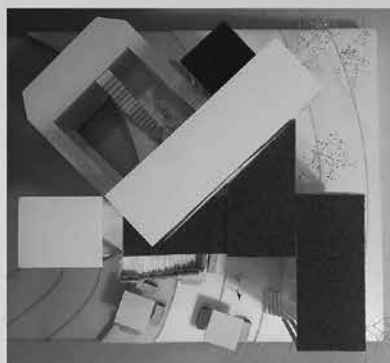


#### 【設計趣旨】

地域周辺には、小さい子からお年寄りまで多くの年齢層の人々を見ることができた。しかし、小さい子が楽しめるような遊具やお年寄りの方がゆっくりできるような場所が見られなかった。そこで、小さい子がお母さんやお父さんと一緒に何か作ってみたり、お年寄りの方が簡単に足を運べるような美術館、また、私たちの世代であってもカフェで友達や恋人とゆっくりできるような自然を感じながら過ごせるスペースを提案する。

#### 【建築物について】

基本的には壁がついていないので、ここで過ごすたくさんの人の声が飛び交う笑顔あふれる空間になっている。また、木材を使うことで公園にやわらかさを作り出している。建物は大きく1つになっているが、7つの要素があり、受付・カフェ・美術館・香水やキャンドルを手作りできるお店・リングを手作りできるお店・展望台・マイスペースがある。建物も面白い組み合わせ方になっているため、建物を散策するだけでも楽しむことができる。



|                    |  |
|--------------------|--|
| 水辺に佇むマイスペース+others |  |
| デザイン監製             |  |
| 一年 星光生班            |  |
| 3036 菊田穂乃香         |  |



# 2 年生（前期：デザイン演習Ⅰ、後期：デザイン演習Ⅱ）

【担当】 佐藤 信治  
菅原 遼  
小林 直明  
奥村梨枝子  
勝又 洋  
高野 洋平  
田中 克典  
玉上 貴人  
筒井 紀博  
鶴田 伸介  
森田 敬介  
山田 晶子

## デザイン演習Ⅰ（前期）

### 第2課題

「環境と住空間を考える  
一大横川沿いに建つ住宅―」  
（出題：筒井紀博、奥村梨枝子）

#### 【課題趣旨】

社会的な背景を踏まえて現代の家族像や生活スタイルを念頭に、周辺環境を考慮した住宅設計を行います。敷地は江東区門前仲町付近、江戸時代の埋立地に造られた運河の大横川に面した古くからある街区を設定しています。都心で利便性が高いと同時に、富岡八幡宮や深川不動尊の門前町など江戸の下町風情や足跡を残した地域です。大横川護岸沿いの散歩道とレベル差を有しながらも視覚的なつながりを持っています。敷地をA～Cから選択し、その特性を捉えた計画をしてください。

#### 【学習目標】

現代の家族像や、その暮らし方について考察／住空間のスケールや基本寸法を習得／エスキースからプレゼンテーションまでのプロセスを学ぶ／製図記号等の図面表記を習得／住宅としての機能だけでなく空間の魅力を考察／現地調査を通じて敷地の特性を読む

#### 【敷地条件】

〈敷地A〉江東区永代2-1-6周辺  
準工業地域、建ぺい率：60%、容積率：300%、その他：第3種高度地区、準防火地域、下町水網地域  
〈敷地B〉江東区永代2-19-10周辺  
準工業地域、建ぺい率：60%、容積率：300%、その他：第3種高度地区、準防火地域、下町水網地域  
〈敷地C〉江東区門前仲町2-1-4周辺  
商業地域、建ぺい率：80%、容積率：400%、その他：防火地域、下町水網地域  
〈敷地A～C共通事項〉  
・最高高さ制限10m以下  
・構造は自由  
・地盤は良好

#### 【設計条件】

- ・家族の生活スタイルを各自設定する。
- ・家族構成は2～6人程度、年齢や性別、職業などの属性は各自設定する。
- ・キッチン、ダイニング、リビング、風呂・洗濯室、主寝室、個室、便所、その他を適切に計画する。
- ・動線を熟考して計画する。家事動線に十分配慮する。収納を適切に設置。
- ・駐車スペース（最低1台）を家族構成に応じて適切に計画する。
- ・家族の距離感や関係に配慮する。気配が感じられる距離を取り入れる等。
- ・現地調査を実施し、敷地の特性や方位を踏まえた計画とする。
- ・内部と外部の境界について意識する。
- ・延床面積120㎡～200㎡程度とする。
- ・階数制限なし、最高高さ制限厳守。

## デザイン演習Ⅱ（後期）

### 第1課題

「街のアートミュージアム」  
（出題：鶴田伸介）

#### 【課題趣旨】

門前仲町エリアの、都心のオープンスペースである都市公園に隣接した計画地において、街のアートミュージアムを計画するものである。タイトルに「街の」とつけているのは、街の顔となり、地域とつながりを持つ建築の提案を求めるためである。アートミュージアムが街にどのような影響を与えるのか、選定した展示コンテンツにふさわしい空間の質はどうあるべきか、敷地の特性を読み取り、具体的なイメージを膨らませて図面を描いてほしい。

#### 【計画敷地および周辺条件】

- 計画地面積：3,813.12㎡
- (1) 敷地形状、接道条件、周辺状況等は添付資料敷地図を参照。
  - (2) 現況は区立牡丹町公園として利用されており地盤の起伏が3mほど

ある。設計においては更地とする。

- (3) 隣接する古石場川親水公園との関係を考慮。敷地内切土・盛土可能。
  - (4) 用途地域：準工業地域、建ぺい率60%、容積率300%、準防火地域。
  - (5) 電気・ガス・上下水道完備、地盤良好。
- 【計画建物設計条件】
- ・延床面積：約1,000㎡とする。
  - ・構造形式は自由。階数は地上2階建て程度、必要によって地階も可。
  - ・隣接する公園との関係性を活かした外構計画をすること。
  - ・車いす来客用兼作品搬出入用として、駐車場1台分を設けること。
  - ・駐輪場を10台以上設けること。
  - ・広場、テラス、中庭、水盤、東屋、屋上庭園等、適宜自由に設けてよい。

### 第2課題

「地域とつながる都市型集合住宅」  
（出題：高野洋平）

#### 【課題趣旨】

古石場川親水公園の一部を敷地として、都市との関係性に配慮した集合住宅を計画するものである。敷地は門前仲町駅から徒歩3分程度の住宅エリアに位置する。門前仲町は、深川不動尊や富岡八幡宮の門前町として古くから賑わいある街として発展をしてきたエリアであり、少し広域の視点でみると、北側の清澄白河エリアでは、アートギャラリーや話題のコーヒージョップに人々が集まるなど、新たな文化圏が形成されつつあり、下町のストリートに新たな賑わいを見ることができる地域である。

昨今の都市型集合住宅の接地階は、たんに集合住宅としてのエントランス空間のみで形成されているのではなく、カフェやコワーキングスペースなど住人以外が利用できる機能が積極的に導入されている。都市に住む人々のライフスタイルの変化により、集合住宅は「まちへ開かれていくスタイル」へと

変わりつつあり、本設計課題では、下町情緒ある都心の住宅エリアにおいて、「そこで暮らす人々と地域の人々が自ずと交流できるような、魅力的な都市型の集合住宅の提案を求めている。

#### 【計画敷地および周辺条件】

計画地面積：2,493.16㎡

- (1) 敷地は、添付資料敷地図参照のこと。
- (2) 敷地条件は準工業地域（建ぺい率70%、容積率300%）。防火地域。
- (3) 電気・ガス・上下水道などは整備されている。地盤は良好である。
- (4) 現存する敷地内の建物は、更地として計画する。

#### 【計画建物設計条件】

- (1) 鉄筋コンクリート造、地上3階建て以上5階建て程度の中層集合住宅。
- (2) 総戸数は30戸以上。1戸の床面積は50㎡～75㎡程度とするが、入居者の設定により適切な床面積とする。住戸の間取りを1戸以上提案。
- (3) 公共空間は広く地域に開放できることが望ましい。
- (4) 住戸の他、以下を適切に計画する。エントランスホール／メールコーナー／居住者用駐輪場／ごみ保管庫／電気室／消化ポンプ室／受水槽室／管理室／管理倉庫
- (5) 2方向への避難経路を適切に計画。
- (6) バリアフリーに配慮した計画。
- (7) 居住者用のエレベーターを1台以上設置。
- (8) 延床面積の算定については、屋内的用途に供しないピロティ・バルコニー・吹きさらしの共用廊下・屋外階段は延床面積に算入しない。
- (9) ポスト動線、管理室、ゴミ保管庫などを居住者の動線とともに計画。セキュリティラインを明確にする。

#### 【周辺環境への配慮】

- (1) 居住者はいずれの方向からも、徒歩でアプローチできるようにする。
- (2) 人と自動車のアプローチは分離し、かつ両立すること。
- (3) 第1課題とのつながりを計画する。

酒井 優

「Open Space」

■コンセプト

ビルが立ち並ぶ都市部において心休まる空間を求めたとき、山へ行かなければならないだろうか。本敷地は公園に木々が多く、川のせせらぎを感じることができる場所となっている。この住宅は、家から出ずとも忙しくて休まらない日常から解放されることを可能とする住宅である。

■講評

本課題は、まだまだ下町の雰囲気を残している門前仲町の裏通りにある敷地に計画された住宅である。

酒井案は、その中でもビルに囲まれた敷地Aを選定して計画している。比較的交通量のある前面道路から逃げるように、接地性の高い1階には水回りである洗面所、浴室トイレなどを配置している。このため家族の生活の中心となるリビングルームや個室は2階に持ち上げ、これをガラスのボックスとしている。生活の中心であるリビングをガラスボックスにしているのは、敷地に隣接している公園の桜とその先にある水辺への視界を確保しようとしているためである。しかしながら、ガラスボックスではプライバシーを保つこ

とができない。そのため、階段室の中壁を1階から3階床まで延長し、これによって道路側からの視線を防ぐように工夫している。こうすることで閉鎖的な1階の個室は庭を介して地域コミュニティと接することも可能となっている。

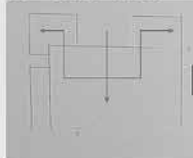
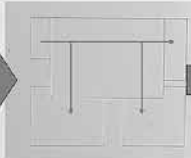
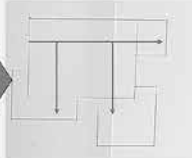
住まいの中心はあくまで家族であり、外部とのつながりを保ちながらもプライバシーを確保するという発想であり、現代的な空間操作となっている。そのことは、屋上の構成にも現れており、ルーフは大きなガラスで覆われている。これは、雨の日には屋上に降る雨を見ることによって、自然との関係をより身近なものにしようという意図である。

(佐藤信治)



Open Space

**ダイアグラム**

リビングダイニングを南西側に大きく配置。公園の緑を一番に感じられるスペースとなった。

四角に納まる様に配置。キューブを意識させ入口を入れて中心から広がっていくような同線である。

採光や私生活の人目からの隠し方を考え配置。北西側の車庫なくし連続するガラスを可能とした。

**設計趣旨**

ビルが立ち並ぶ関東地域で心休まる空間を求めた時、山へ行かなければならないだろうか。公園に木々が多く川のせせらぎを感じられる敷地となっている。この住宅は家から出ずとも忙しくて休まらない日常から解放することを可能とすることを目的とした住宅である。



公園(南西)側から

敷地と公園には1000mmの高低差があり住人の目線は公園の人の足元、公園の人の目線は窓の上部からスラブ部分にいく。遊具との間に木があり目隠しが可能。公園側から見る朝日に照らされる建物が人々を魅了する。



川(北)側から

段階的な立面形状。川方向に切断したことで各層異なる視点で楽しめる。3階からの景色は5200mmの大きな窓で沢山の木々や川に圧倒される。2、3階を隔てるスラブをなくしたことで自然と家族に会話が生まれる。



道路(北西)側から

一階から三階まで北から南まで連続的につながるガラス壁。スラブが水平を強調させ美しい。ガラス越しに見える木とその隙間から入ってくる木漏れ日によって緑が感じられる。まるで森林の中にある家のようなものである。



テラス側から



屋根側から

| 環境と住空間を考える |       |
|------------|-------|
| 表紙         | 敷地A   |
| 2年         | 佐藤先生班 |
| 2052       | 酒井 優  |



佐々木省太郎

「Linear field of view  
直線的な視野」

#### ■コンセプト

本敷地は間口が狭く奥行きが長い形状となっており、大横川沿いには桜並木が植樹されていることから、内部から外部へと一直線に視線が抜けることを意図し、直方体状の建築物を設計しようと考えた。また、内部には吹き抜けを設けることで明るさが広がるようにし、加えて、大きな開口部やインナ

ーバルコニーを設けることで単純な構成にならない空間づくりを心がけた。

#### ■講評

B敷地はいわゆるウナギの寝床であり、長手面は建物に挟まれているが、南西の妻面は見事な桜並木を誇る大横川に面している。自ずとこの面を開きたくなるが、川辺の遊歩道に面すること、さらには敷地が遊歩道より1.2mほど低いことからプライバシーへの配慮が必要となる。

佐々木案は緩衝帯として光庭を南西隅に設けることでそれを解決した。遊歩道面は縦ルーバーで緩やかに仕切り、階によってルーバーの角度に変化をつ

け視線や光の入り方をコントロールしている。プライバシーを保ちたい部屋は光庭に向かって開くことで採光、通風を確保している。

一方、住人の仕事場となるアトリエは1、2階を利用したメゾネットになっており、2階部分を川側に開いているため、桜並木が望める。リビングルームはアトリエを見下ろす吹き抜けに面した位置にあることから、川側を望めるだけでなく、家族の気配を感じながら過ごすことができる。

ルーフバルコニーの壁を利用した反射光を北側の部屋に取り入れるなど、この家は平面計画だけでなく秀逸な断面計画がなされている。その実直さを評価した。  
(玉上貴人)



設計する上でコンセプトを検討した結果、敷地の特徴を踏まえた上で直方体状の建築物を建てようと考えた。

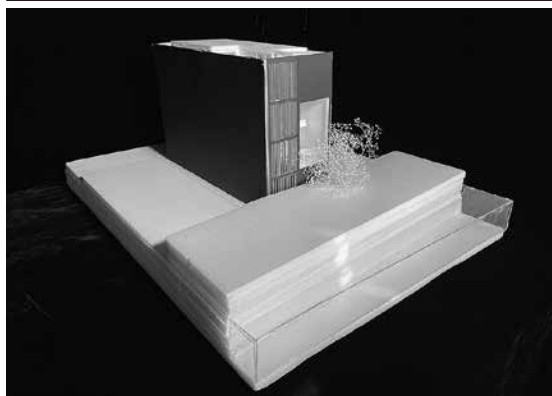
敷地Bは縦長で横幅が狭い敷地になっている。更に、大横川側には桜の木が植えられている。そこで、建物内部から大横川に向けて一直線に視線が抜けるような建物を思いついた。また、一直線の視線をつりやすくするため建物の形状を直方体にする事とした。



直方体の形状にする上で、室内空間に暗いスペースが生まれやすくなってしまおうと考え吹き抜けを多く確保することとした。他にも、大きな窓やルーバー、インナーバルコニーを設け直方体特有の単純でない外観やプライバシー性を取り入れた空間づくりを行った。また、大横川沿いには川や桜を近くで体感できる開口をも直けることとした。更に、住まう家族の一体感を生むため、アトリエを見下ろせる吹き抜けやバルコニー、ベランダを設置し、特に間仕切りを無くすことでリビング・ダイニング・キッチン広く開放的な空間にした。



| 大横川沿いに建つ住宅 |         |
|------------|---------|
| 表紙         |         |
| 2年         | 玉上 貴生 団 |
| 2055       | 佐々木 省太郎 |



デザイン演習Ⅰ 第2課題  
環境と住空間を考える  
—大横川沿いに建つ住宅—

畑口優太

「時代を跨ぐ伝統住宅」

■コンセプト

大横川の両岸には、桜の木が列を成して植えられている。そして、春の季節になると満開の花を咲かせ、桜並木をつくる。そんな花見スポットの大横川では、和舟からの花見を楽しむクルーズが毎年人気を誇っている。本計画地は、川に直接面しているため、住宅から船への乗り降りが可能となる。そこで、住居の下にツアー用の和船を停

泊できる舟小屋を設け、和舟クルーズツアーを営業する家族の住宅兼事務所を計画した。

■講評

本年は敷地見学の次の授業が即日設計というカリキュラムで、多くの生徒がエスキース途中で住人背景などのストーリーの修正を余儀なくされたが、畑口君ははじめにC敷地を選んだから「和舟観光で生計を立てる親子が暮らす舟つき場兼住宅」という設定を変えることなくイメージが深められたこと

が良かった。否、川まで利用できるC敷地に対して、それだけ魅力のあるテーマを採せたということであろう。

この建物の空間は、住宅／船つき場／待合い／受付／エントランスという5つの要素で構成されるが、エスキースではこの5つの各空間での体験や見えるものについて指導した。具体的には①エントランスからの期待感や②待合いで乗船を待つ時間の過ごし方、③船つき場の見せ方や④水位上昇を考慮した船つき場の天井高さや桟橋のあり方、そして⑤住宅との接続について会話を重ねた。

概ね①〜④については問題をクリアしながらデザインできたと思う。しかし⑤の住宅の玄関や仕事場との接続空

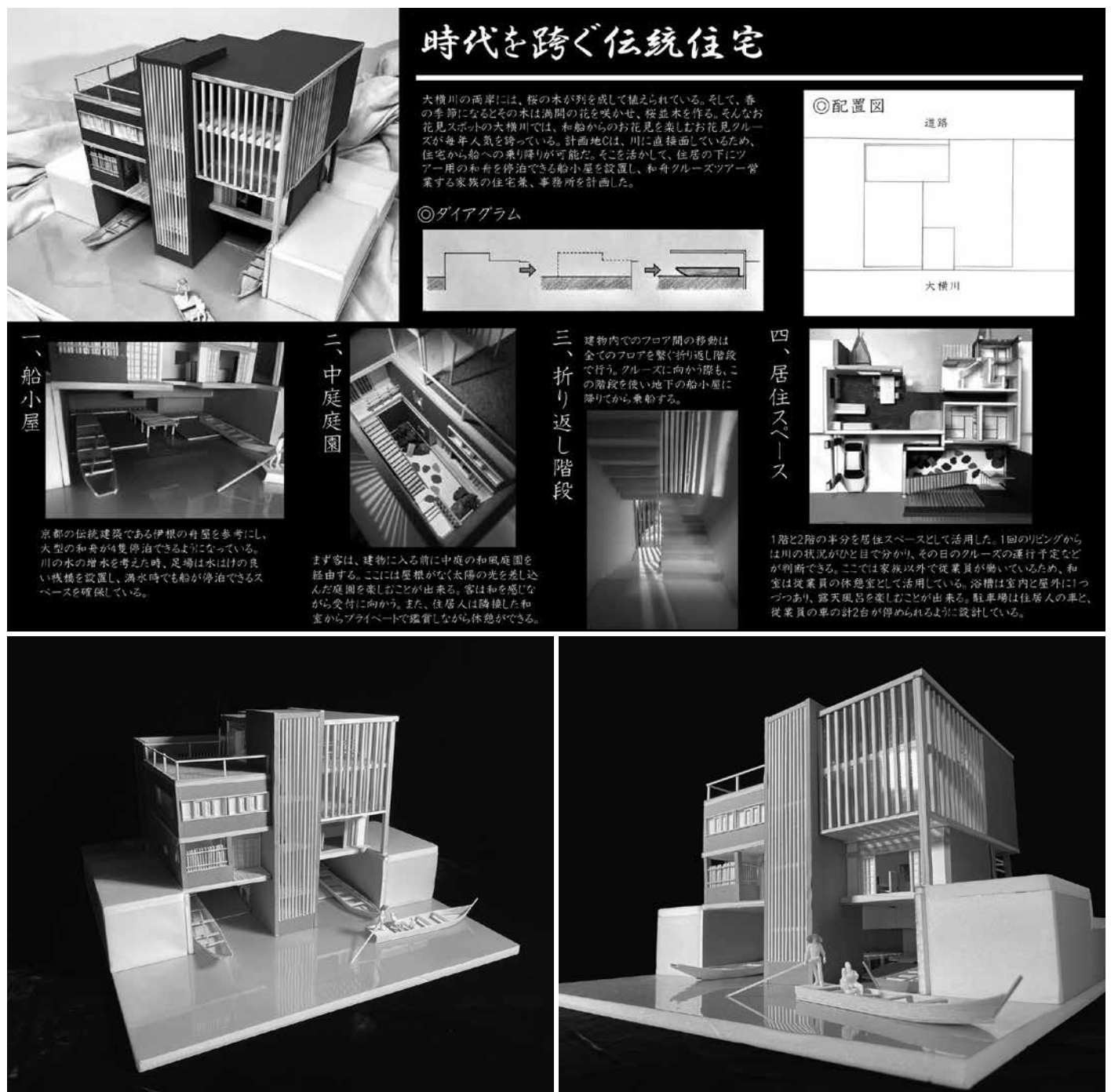
間は最後まで解決策が曖昧でこれがプランに現れている。

また道路側の意匠はめめが甘く、「和舟」というモチーフと「時代を跨ぐ伝統住宅」という作品名にふさわしいデザインとはいえないので、これは後期に譲る反省点としてほしい。

何しろ早い取り掛かりと提出1週間前の図面の完成度にこだわって授業を進めたので、最後の1週間で和舟が人目を惹くスバラシイ模型を攻め切ってくれたことがとても嬉しい。

畑口君はこのデザイン演習Ⅰの第2課題で目に見えて成長したので、将来は立派な建築家として独り立ちする生き方を選択することを祈っています。

(森田敬介)



江口和李

「情緒纏綿（じょうしょてんめん）」

■コンセプト

現代は SNS が発達し簡単に連絡が取れる時代だが、昔は連絡を取る手段が主に手紙であった。相手を思い書かれた手紙は決められたフォントの文字だけ羅列された SNS より温かみを感じられ、情報量が多くアイデンティティがある。手紙のこのような点を大切に、老若男女集まるからこそミュージアムをとおして手紙が書かれた感情

に浸り、手紙を読みたい、書きたいという気持ちになってほしい。

展示を見たことで思い出す今までにかかわった手紙と感情の自然な変化を意識し手紙で表される感情を喜び、悲しみ、怒り、愛情に分けた。空間の大きさと光の入り方で感情の移り変わりを表現。展示を見た後は感情に合わせた空間で手紙を読んだり書いたりしながら自身の手紙の感情に浸れる場所を計画した。

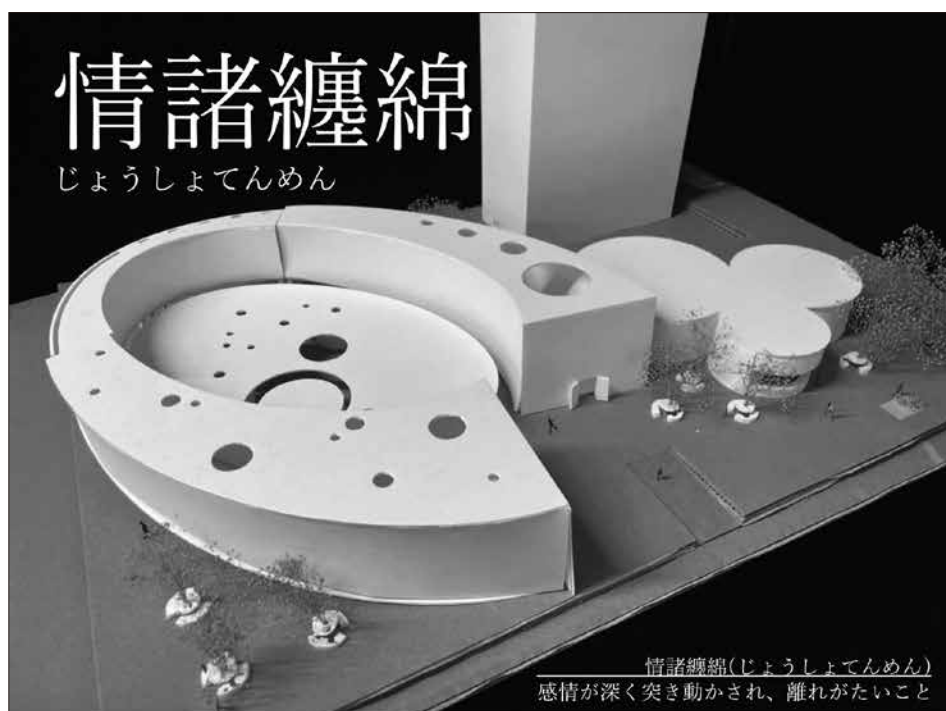
■講評

「情緒纏綿」は、人の心の奥底を感じ、表層的になりがちな現代のコミュニケーションに気づきをもたらすことを狙いとしています。アートを「心を揺さぶるもの」と定義し、作者自身の日常からコミュニケーションについて考え、「手紙」をアートとしてこの美術館に展示しました。手紙の中にある深い喜怒哀楽が「訪れた人の心を揺さぶる」というコンセプトはとても現実的で、非常に大きなテーマであった社会への一石を、手紙を読むという簡単な動作で実現できていることが鮮やか

です。

内部空間は、喜怒哀楽の4つのエリアに分けた初期案から、さまざまな気持ちの来訪者を受け止めるために、感情の間を連続的につなぐ構成に変化していきました。

ほとんどの時間をコンセプトに費やしたため、空間に使える時間が短くなりましたが、建物の高さを一定に保ちつつ、ダイナミックに変化する内部空間と光の操作が、コンセプトとともに評価されました。提出までに時間がない中で最後まで課題に集中できたことも結果につながりました。空間の操作に時間を残さなかった反省を意識して今後の課題に取り組んでいただきたいと思います。（高野洋平）



情緒纏綿(じょうしょてんめん)  
感情が深く突き動かされ、離れがたいこと

ダイアグラム

1. それぞれの感情で展示室を分け、1度気持ちを落ち着ける空間を作ろうとした。
2. 気持ちの変化にはつながりがあり、間で切ってはいけないことに気づいた。よって4つの展示室を1つにした。
3. 直線をつなぐと角ができる。角ができると次の空間が見えず次の空間との繋がりが切れ流れを止めてしまう。曲線にすることで感情のつながりを表現した。



中央広場



喜び

様々な大きさの天窗は訪れた人が一人または皆で楽しむ様子。



悲しみ

細く光が漏れ暗い空間で一人または少人数で自分自身と向き合って見て欲しい。



怒り

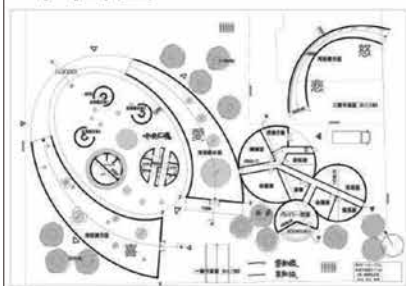
狭い空間に細い光が差し込む。悲しみから派生した怒りが突き刺さる様子。



愛情

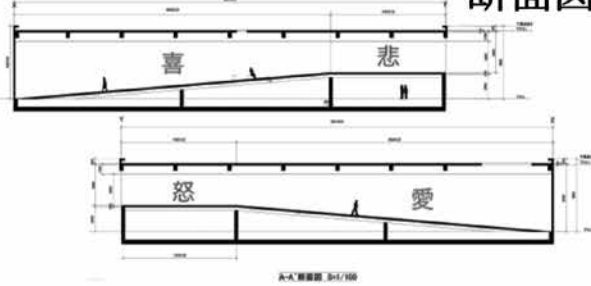
再び広々とした空間に大きな開口。人々が手紙を書きたい読みたいという気持ちで一つになる様子。

平面図



手紙を読む書く

断面図



## 川神爽来

「遊び心の学窓  
自然と遊具の共存空間」

### ■コンセプト

近年、遊具の危険性について議論が行われており、安全性確保や少子高齢化、事故発生率から国内の多くの公園で遊具が撤去される現状がある。そこで遊具を展示することで子どもたちは遊具の種類と正しい使い方を学び、大人はその遊具の事故の発生状況を周知し、懐かしむことができるミュージアムになっている。ミュージアムから出たら公園に行き着き、ミュージアムで学んだことから安全に遊具を使い、見守りの仕方を強化し注意するなど学んだことをアウトプットすることで、一連の流れから遊具による事故件数を減少させることができると考えた。公園の遊具にはさまざまな問題や事故、課題がありそれに対して解決、対策を働きかけるミュージアムになってほしいと考えた。

### ■講評

計画地は築山や遊具のある広い公園で、親水公園に面している。夕方には下校した子どもたちが元気に遊び、母親は立ち話をしている。この様子を見て子どもが楽しめる美術館を計画する学生は多いが、川神さんは自分が遊んだ公園の遊具が次々と撤去されていく体験をこの課題に重ね、遊具の事故を減らそうと、遊び方を学ぶ展示を計画した。

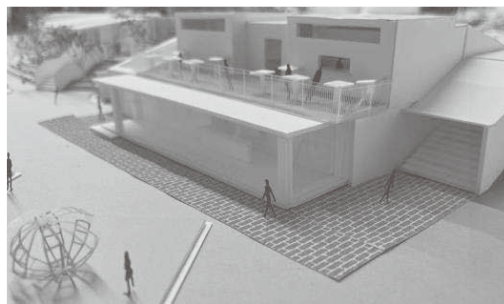
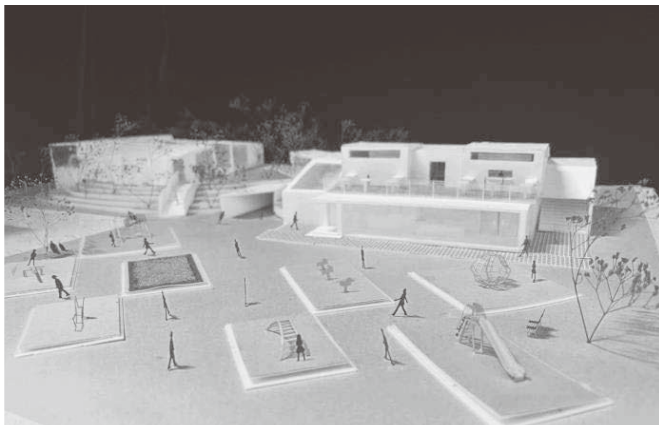
遊具を配置したエントランス広場が

ら建物に入り、一段下げて親水公園から引き込んだ水辺に水関連の遊具を展示した。2階に上がると公園を望むカフェ、隣の丘へ渡ると中庭を介した展示空間、というように敷地の高低差や周囲の環境を生かして計画をしている。また「窓」を展示のキーワードに、水辺や緑地が展示遊具の背景になるようなフレームワークの工夫をしており、全体の形は物足りないところもあるが、部分が丁寧に考えられている。

小さな怪我や失敗を重ねて成長していく子どもに、遊具と安全性のバランスを探り、すべての遊具が過去の遺産展示にならないように等、考えさせられるテーマも高い評価につながっている。(山田晶子)

# 遊び心の学窓

## 自然と遊具の共存空間



### 本館

- ・水×遊具の展示室
- ・企画展示場
- ・エントランス
- ・カフェ、ショップ
- ・ルーフバルコニー

### 野外展示場

- ・自然×遊具の展示室
- ・オフィス
- ・倉庫
- ・資料保管庫
- ・荷物搬入口



### 公園

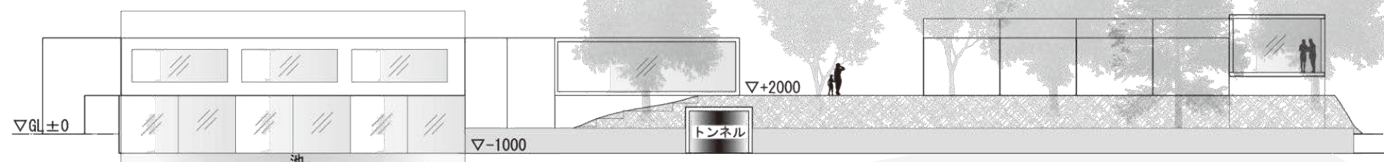
道路、古川親水公園から入ったら必ず公園が迎えるようになり、そこからミュージアムの本館に行ける。この公園の遊具の配置、区画は各遊具で指定されている「安全領域」が元になっている。

### 本館・カフェ・ショップ

本館に入ってすぐに迎える空間には企画展示に加えて水と遊具が融合された展示場が設置されている。カフェは地域の繋がりのもう一つの場として公園と直接アクセス出来る場所に配置し、カフェの席はルーフバルコニーを持つ公園側と古川親水公園側の二つがある。

### 野外展示場

二階に進むと山の上に出て野外展示場へとアプローチされる。展示物は入館者以外の人に見られないようにする為に山の上に設置し、周りに植栽を植えて覆い隠す事で外側からの視界を塞ぐとともに展示空間に自然の深みが増すことが出来た。



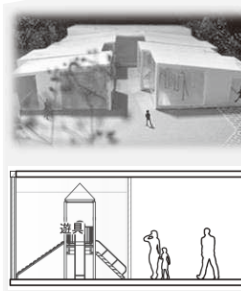
### 水×遊具の展示場

古川親水公園を拡張して作った池がミュージアム内にまで広がっている。水に関連した遊具を展示し、池によって涼しい環境を作ると同時に殺風景になりがちな展示コーナーを引き立てる。また、真上にはカフェの席があるため古川親水公園を上から眺め、憩う事ができる。



### 自然×遊具の展示場

野外展示場から入場して公園へ退場するようにU字型の建物にし、内側に展示物である遊具を設置する事で見て回れる。この展示場の廊下の中には大窓があり、背景にある木や草原と展示物である遊具により大窓から見ると公園の元ある姿が形成される。



酒井 優

「自然に住まい住戸を開放  
住み手による地域再生と都市創造」

■コンセプト

現代の都市の住まいは家族同士や世代を超えた交流ができず、ただ家に帰る家となり、また区画整理により広い公園は少なく、子どもは家でゲームをし高齢者は孤独死してしまうという問題がある。地域のコミュニティが増えると「子育てしにくい」、「社会的孤立」が解決され、門前仲町商店街の再

生や伝統の継承につながる。問題解決のために集合住宅特有の縦に重なる形状をさまざまな方向に分散させる。地域唯一の広い公園の土地を残すため、屋上をすべて庭園として開放し地域の人々が訪れコミュニティは広がる。リビングとバルコニーの間に中間領域を設け住戸に人々を引き込むことができる。この住宅は核家族化以前までのようなコミュニティの再生と自然の中に住まう集合住宅を提案する。

■講評

現代の社会的問題点を具体的に挙げ、それを解決する建築提案を行っていることが高く評価できる。とくに高度成長時代からの首都圏の集合住宅において散見される建築の効率性を高めるために失ったもの、所謂広々とした自然を有した空間、そこで行われていた住民等の世代を超えるコミュニケーション、その空間が失われたことで家族、子育ての時間も失われていること

を指摘している。今回の提案は多様な人々の生活拠点となる集合住宅の本来の特性を生かし、その失われた空間および時間を呼び起こすことで、門前仲町全体の再活性化にもつながることを目指している。これらを解決するために、居住者と地域住民のアクティビティを建築でコントロールしていることは高く評価できる。居住者と地域住民のアクティビティは住戸ごとのバルコニーと住戸リビングの中間領域ゾーンの設置による新たな空間提案で実現していると同時に、集合住宅の現実的で基本的な重要機能である採光、プライバシーの確保、地上レベルでの視線コントロールにも配慮されている。

(小林直明)

# 自然に住まい住戸を開放 ～住み手による地域再生と都市創造～



## 屋上庭園

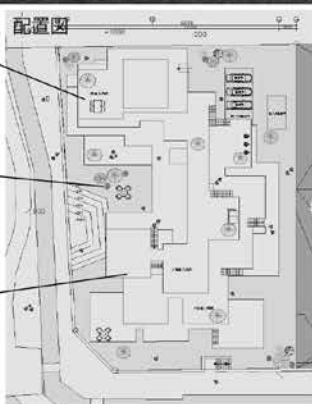
会話、遊び・都市の公園減少問題対策

## 交流広場

世代を超えた交流・家族間交流促進・採光

## 中間領域

中間領域による多様な住まい・住民が自ら住戸を開放し地域再生



## ダイアグラム



集合住宅特有の「縦に重なる」⇒「横に広げる」。様々な方向に分散



## 立面図



## 断面図



## 中間領域



## 北側・道路側



## デザイン演習Ⅱ 第2課題 地域とつながる 都市型集合住宅

### 川神爽来

「百花斉放  
遊び心と自然が織り成す創作」

#### ■コンセプト

美術館では「遊び心」も学ぶ場所として提案した。私にとって遊び心とはとくに創作に大きくかわかり、アイデアの考案、インスピレーション、個性を出す原点であると思う。子どもたちは学校の図工や校外の活動に遊び心を発揮する場があるが大人になるにつれ創作にかかわる機会が少なくなり遊び

心を忘れてしまっているため、創作をとおして「遊び心」を取り戻すことができる集合住宅にした。創作の原点である積み木をモチーフにした住戸とパブリックスペースである9種類の工房、アトリエが自然によって織り成されて作られた豊かな空間デザインや地域の住人との交流、多種多様の創作物、自然環境などの要素に触れて感じることで遊び心を培うことができる集合住宅となった。

#### ■講評

川神さんは2年後期の課題テーマを「遊び心」と定め、美術館では遊具の展示を、集合住宅では日常と隣り合う創作の場を提案している。

趣味や創作に向かうことが、遊び心を取り戻し、また地域や住人交流のきっかけとなるようにと、工房は絵画から手芸、音楽、料理、木工と幅広く、それぞれが程よいスケールで設定された。

配置は試行錯誤の末、工房と住戸を交互に重ねた四層を六つのブロックに分け、木の渡り廊下で軽やかにつないだ。また、上下をつなぐ共有階段をパブリックな工房内に設けたことで、建物全体を楽しみながら巡る動線を生んでいる。各ブロックでも住居前にオープンスペースをつくり、形やプライバシーを考えながら吹き抜けや樹木を配置するなど、快適な環境を目指している。

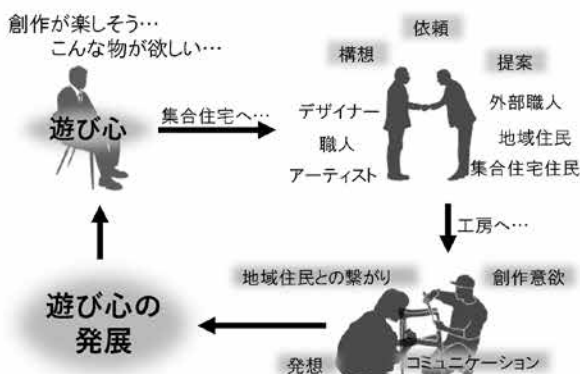
こうした細部への配慮を重ねながら全体の形が生まれていくことは、建築を設計する上でとても大切なことだ。何よりも、毎週悩みに悩んでエスキースに向かう姿勢が素晴らしいかった。

(山田晶子)



## 百花斉放

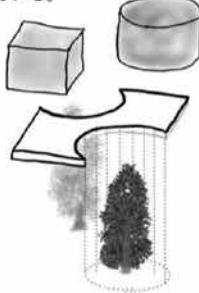
遊び心と自然が織り成す創作



### -ダイアグラム-

敷地の周りには池や公園があり、都心の中でも自然に囲まれた場所になっているため集合住宅内からも自然を感じられ、変化する空間を形成する為に木を主軸とし、木に対して床をくり抜いて上と下の階の接点を増やしている。

大きな特徴として室内、室外問わず自然環境を身近に感じることができ、創造性や豊かな感性を養う空間になる。また、住戸の窓同士が向き合わせになった時にはプライバシーを守り、グリーンカーテンの様な役割を果たしている。



### -配置-

この集合住宅の中心となるパブリックスペースの9つの工房等は6つの区画の特徴から配置した。

例) 工具を使い大きな音が鳴りやすいDIYをする工房  
→車などの振動をともなう騒音がある車道側に配置

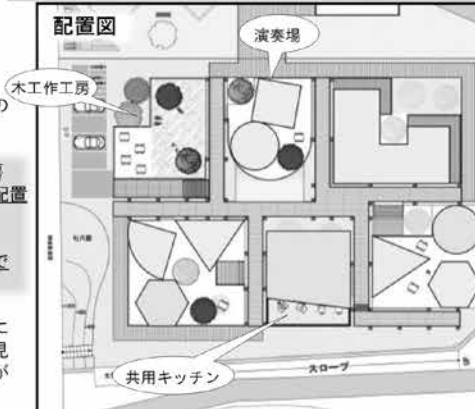
演奏所や共同キッチンを中心に配置  
→音楽や料理の匂いが集合住宅内全体に渡る事で興味をそえられるようになっている。

また、この集合住宅の階段はすべてこの工房内に設置されており、普段関わりのない物作りを軽く見学できるようになっている事で新しい発見や興味が生まれるかもしれないと考えた。

### 南東側



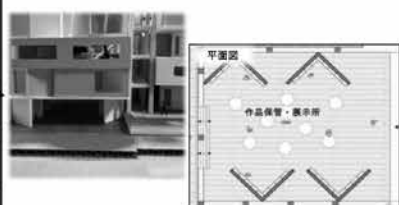
### 北西側



|    |                              |                                  |                            |
|----|------------------------------|----------------------------------|----------------------------|
| 4階 | 陶芸工房<br>(陶芸・セラークラフト...)      | 住戸                               | 屋上庭園                       |
| 3階 | 住戸                           | ミュージックスタジオ<br>(演奏所・作曲・RECルーム...) | 住戸                         |
| 2階 | アートアトリエ<br>(絵画・デザイン・イラスト...) | 住戸                               | 木工工房<br>(折り紙・DIY・粘土...)    |
| 1階 | 住戸                           | ソーイング工房<br>(手芸・縫い物・羊毛フェルト...)    | 住戸                         |
| 4階 | 住戸                           | 彫刻工房<br>(彫刻・木彫り・版画...)           | 住戸                         |
| 3階 | 模型製作所<br>(模型複製・3Dプリンター...)   | 住戸                               | 硝子細工房<br>(吹ガラス・バーナーワーク...) |
| 2階 | 住戸                           | 共用キッチン<br>(調理・菓子製造・料理研究...)      | 住戸                         |
| 1階 | 非公開部・管理倉庫<br>メールボックス         | 住戸                               | 作品保管・展示場                   |

### -親水公園-

親水公園沿いには集合住宅内で作った作品を保存し、展示するスペースがある。親水公園を散歩している人が作品保存スペースに通りがかり、訪れて作品に触れる事で集合住宅内に訪れる架け橋となる。



# 3 年生（前期：デザイン演習Ⅲ、後期：建築計画及び演習）

## デザイン演習Ⅲ（前期）

### 第 1 課題

#### 「海の駅」

（出題：佐藤信治、小平純子）

#### 【課題意図】

海の駅とは、国土交通省により登録された、「海から、誰でも、いつでも、気軽に、安心して立ち寄り、利用でき、憩える」船舶係留施設である。離島振興策からスタートして、当初は大型のヨット、モーターボート等の利用環境整備や情報のネットワーク化・提供を目的に設置が推進された。誰もが利用できる船舶係留施設、施設の予約受付案内担当者の配置、公衆便所の設置の 3 点が必要最低登録要件となっている。このような行政的解釈から『海の駅』とは、休憩施設と地域振興施設が一体となった施設であり、単体としての機能に加えて海の駅ネットワークの構築が図られた結果、以下の 3 つの機能が浮かび上がってくる。

- (1) 休憩機能 海路利用者が 24 時間自由に利用できる休憩施設の提供
- (2) 情報発信機能 来館者に対してその地域の文化・名所・特産物などを活用したサービスの提供
- (3) 地域連携機能 それぞれの地域（町）の核となり、海路を介した地域（町同士）連携の促進

計画地：横浜市神奈川区横浜港

「瑞穂ふ頭」

課題は、漁村等の地域振興型ではなく、むしろ海上交通の起点としての都市機能の一部を包括する施設といえる。設定敷地エリアは陸上で 16,589m<sup>2</sup>。周辺地域との関係性を踏まえ、海上から都市景観を意識した、新たな都市の結節点として、賑わいを演出することのできる施設計画を求める。

#### 【設計条件】

- (1) 敷地条件  
敷地形状、接道条件、周辺状況は、

別添図面を参照。電気・ガス・上下水道は整備されている。地盤は軟弱であり、杭基礎とするが、耐圧盤下の表現は不要。敷地設定範囲外への提案については、各班ごとの指導による。

#### (2) 建築条件

構造形式は自由。下記程度の規模であれば、建ぺい率・容積率の考慮は不要。基本的に隣地および道路境界より 1m 以上セットバックさせる。

#### (3) 計画諸元

- ① 建築諸室：延べ面積約 2,000m<sup>2</sup>（各室面積の±10%を許容範囲とする）  
・客用部門（計 1,450m<sup>2</sup>）：玄関ロビー（200m<sup>2</sup>）、休憩ラウンジ（100m<sup>2</sup>）、レストラン・カフェ（300m<sup>2</sup>）、物産販売店舗（400m<sup>2</sup>）、展示スペース（250m<sup>2</sup>）、来館者用化粧室（80m<sup>2</sup>）、廊下・階段・客用 EV（120m<sup>2</sup>）  
・管理部門（計 550m<sup>2</sup>）：事務室（70m<sup>2</sup>）、会議室・応接室（50m<sup>2</sup>）、宿直室（15m<sup>2</sup>）、給湯室・従業員トイレ（15m<sup>2</sup>）、管理エントランス・廊下・階段・人貨用 EV（100m<sup>2</sup>）、倉庫（100m<sup>2</sup>）、機械室（100m<sup>2</sup>）
- ② 屋外施設：アプローチ、広場、散策路、植栽などを建築と一体のランドスケープとしてデザイン。来館者用駐車場は、周辺施設との供用も検討可能だが、専用駐車場として大型車用 5 台、身障者用 1 台、サービス用 5 台程度の駐車スペースを確保すること。

#### 【提出物】

- (1) 表紙：作品タイトル、設計趣旨（テキスト・ダイアグラム、パース、スケッチ、模型写真等で明快かつ視覚的に表現）
- (2) 配置図（縮尺 1/500）：建築物は屋根伏とし、外構計画を表現
- (3) 平面図（縮尺 1/200）：各階平面、室名は凡例をつけて略号も可。1 階平面図には周辺の外構も記載
- (4) 立面図（縮尺 1/200）：4 面すべて、影や素材等を表現
- (5) 断面図（縮尺 1/200、1/300）：2 面

以上、水域と建物との関係がわかること（南北、東西）

- (6) 模型（縮尺 1/200）：模型提出のほか、模型写真 2 カット以上を表紙にレイアウト
- (7) 内観パース：手描きでも CG でも表現方法は自由。1 カット以上

### 第 2 課題

#### 「水族館」

（課題担当：佐藤信治、長谷川洋平）

#### 【課題趣旨】

第 1 課題に引き続き、海の駅の隣接敷地に水族館を計画します。瑞穂ふ頭は戦後連合軍に接収され、現在も在日米軍による港湾施設として、また施設に隣接して民間のふ頭も所在し公共ふ頭として使用されています。

本課題は周辺地域と計画地が連携をもつことで、新たな文化的、商業的価値を生む魅力ある臨海部を形成することを目的とします。敷地に隣接する既存貨物線（現在は廃線）を利用した鉄道駅の新設、シーバスによる臨海部各エリアを結ぶ水上交通網の整備を想定した上で計画を行います。

#### 【課題のポイント】

- (1) 敷地条件の把握 立地、敷地の大きさ、施設規模、既存動線の位置を把握し、計画概要を捉える。
- (2) 水族館機能の把握 観客スペースと管理スペースの関係性。
- (3) 水族館機能の検討 教育、研究、展示、アミューズメント機能の関係性。
- (4) コンセプトの創出 説得力のあるコンセプトに基づく海と陸を結ぶ新しい水族館の創出。
- (5) コンセプトの表現 コンセプトを具体化する水際空間の設計、屋外展示を含む造形性と表現力。
- (6) 地域再開発の配慮 敷地に隣接する第 1 課題の海の駅と後期課題の宿泊施設との連動性。

- (7) プレゼンテーション 上記各段階で何を考え選択したか、過程と結果を表現する。

#### 【計画諸元】

- (1) 敷地面積：約 12,053m<sup>2</sup>（予定）
- (2) 延床面積：約 5,500m<sup>2</sup>
- ① パブリック部門：約 3,000m<sup>2</sup>  
（観覧室、レクチャールーム、レストラン+カフェ、ミュージアムショップ、休憩ロビー・休憩ラウンジ、エントランスホール+廊下、来館者用化粧室）
- ② 管理部門：約 2,500m<sup>2</sup>  
（展示水槽、作業室、飼育室+研究室、荷解きスペース、事務室、会議室、館長室、宿直室、給湯室+従業員用化粧室、更衣室、管理エントランス+廊下、機械室）
- ③ 屋外施設：  
（導入施設、駐車場施設、その他のランドスケープ）

#### 【提出物】

- (1) 図面  
表紙  
配置図：縮尺 1/500  
各階平面図：縮尺 1/200  
立面図（2 面以上）：縮尺 1/200  
断面図（2 面以上）：縮尺 1/200
- (2) 模型および写真  
① 模型 縮尺 1/200  
② 写真 キャビネ判 4 点以上とする。
- (3) 図面提出仕様  
A1 判横使い、左綴じ。コンセプトおよびゾーニング図、面積表並びに写真を貼ったものを表紙とし、レイアウト、着色は自由。図面表現は CAD を基本とし他の表現との併用も可とする。

## 建築計画及び演習（後期）

### 第 1 課題

「都市型リゾート機能を有したホテル」  
（出題：小林直明）

【担当】 佐藤 信治  
小林 直明  
穴澤 順子  
小平 純子  
川久保智康  
桔川 卓也  
高野 洋平  
長谷川洋平  
光井 純

#### 【課題趣旨】

前期第1課題に引き続き、同じ計画地内の隣接敷地に「都市型リゾート機能を有したホテル施設」の提案を求めるものです。1945年に完成した瑞穂ふ頭は、対岸には山下公園、横浜中華街、横浜港大橋、みなとみらい、赤レンガ倉庫などの横浜を代表する観光スポットが点在し、回遊性をもった「まち」が形成されています。横浜市によるIRの再開発計画が再開予定です。今回敷地も含め国内外の観光客誘致も期待されるエリアといえます。

リラクゼーション&ホスピタリティをどのようなデザインおよび機能・用途で感じさせ、周辺環境および歴史に呼応し、かつ海と自身が設計した海の駅、水族館との相乗効果をどのように図るのがか問われます。

#### 【設計条件】

- (1) 計画地 敷地面積：21,610㎡  
・敷地形状や接道条件、周辺状況等は別紙図面参照および現地調査による
- (2) 計画内容  
・延床面積：22,000㎡程度、建物の高さは、31m内とするが、さらなる高層、一部客室コテージタイプ（平屋・メゾネット）も可  
・一部海側に張り出した施設計画、または敷地内に海水を入り込ませたラグーン形成も可  
・構造形式は自由。木耐火構造集成材または木とS造・RC造とのハイブリット構造等も可
- (3) 計画諸元  
\*各部門、各室面積は参考例とし、適度な設定を行うことを可とする  
\*駐車場50台、サービス用5台（屋外および屋内・地下階の複合も可）  
①宿泊エリア：8,500㎡  
ツイン・ダブルルーム100室程度、スイートルーム（コテージも可）10室、通路、階段、リネン室等  
②パブリックエリア：9,300㎡

ロビー・共用スペース、レストラン、ショップ、宴会場・会議場（室）、ジム・スパ

③管理エリア：4,200㎡

裏方サービス諸室、機械室、廊下・その他

#### 【提出物】

- (1) 図面  
配置図：縮尺1/400、各階平面図：縮尺1/200、客室平面図・パース：縮尺1/50、立面図（2面以上）：縮尺1/200、断面図（2面以上）：縮尺1/200
- (2) 計画概要（表紙）  
①計画コンセプトに合致したタイトル。  
②設計趣旨は簡潔に分かりやすく、ダイアグラム、フロー図などを交えて、ビジュアルに表現。  
③各階の床面積（部門別）および延べ面積を表としてまとめる。
- (3) 模型および写真  
①模型は、全体：縮尺1/200。  
②写真は、キャビネ判4点程度。

#### 第2課題

「マスタープランとランドスケープ」  
（出題：光井 純、穴澤順子）

#### 【課題趣旨】

計画敷地全体を扱います。海の駅と水族館、後で設計するホテルとをマスタープランによって一体的な開発としてまとめ上げてください。さらにはランドスケープデザインを加えることによって魅力ある屋外空間をデザインして、海の駅と水族館そしてホテルとが、あたかも1つの街のように相乗効果を生み出すことを目指してください。

#### 【課題のポイント】

- (1) 車輻動線と人の動線を明確に分離し、安心して歩ける開発とする。
- (2) 客動線とサービス動線、観光バスの動線を整理してわかりやすい交通計画を作り上げる。
- (3) 駐車場は、海の駅、水族館、ホテルそれぞれに配置する。

- (4) 屋外空間においては、樹木の粗密感に配慮しながら、樹木のないエリア（開放的な広場など）と樹木の密なエリア（樹木に囲まれた心地よい木陰空間）を作り上げる。散歩道やジョギング空間にふさわしい小路の曲線形を考える。また、ベンチ、水景、四阿（あすまや／東屋）を適度な距離に配置して歩いて楽しい空間を作り出す。
- (5) 建築空間とランドスケープ空間を一体的に連続した空間としてデザインすることによって、より記憶に残る空間を作り上げる。建築内部からの風景を考えること、そしてまた、ランドスケープ空間と建築を一体的に考慮した街の風景を作り上げること。
- (6) 水際への人のアクセスを促すために、歩行者動線や親水空間の魅力を作り上げる。所々に木陰休息施設を設けることで快適に人を歩かせる工夫を行う。
- (7) マスタープランづくりではわかりやすい骨格を作り上げることが必要である。空間の軸線距離の分節を図り溜まりの空間となるノード空間の、空間と空間のつながりを

デザインするシークエンス、人の移動とともに視線の抜けを演出するビューコリドール（ビスタライン）の手法などさまざまなデザイン手法を駆使して魅力ある外部空間をデザインする。

- (8) 相模湾への眺望、伊豆半島や三浦半島の眺望、また富士山の眺望を借景としてしっかりと利用する。

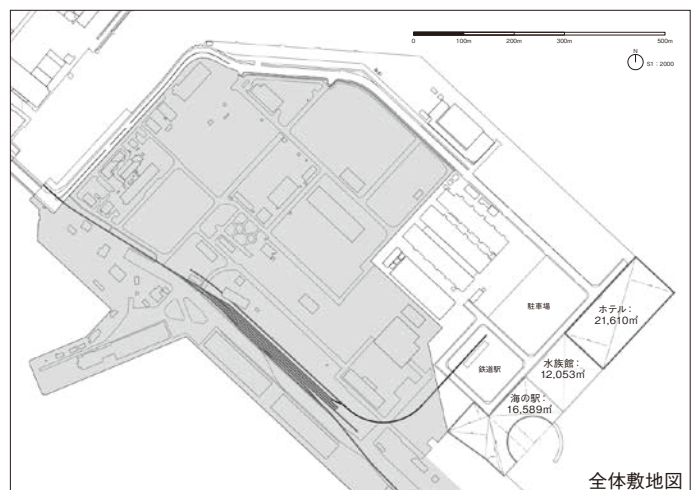
第2+α課題  
「プレゼンテーション」  
（出題：光井 純）

#### 【課題趣旨】

年度を通じて学習したことを総括する学習として位置づけ、これまでのすべての課題の成果をひとつのプレゼンテーションとしてまとめて説明する技術を学ぶための演習です。

#### 【課題の想定】

課題敷地のマスタープランおよび三施設の建築の設計者の立場となり、横浜市神奈川区横浜港「瑞穂ふ頭」を開発して環境の充実を図り集客を図りたい開発者に対して、デザインプレゼンテーションを行う設定とします。



小野田 鼓

「Wind Terminal」

■コンセプト

強い風が吹き、日よけもない瑞穂ふ頭。夏は日射が暑く、冬は海風が寒い敷地である。この不安定な空間に必要な海の駅とはどういう物であるべきだろうか。

今は人間にとって不快に感じてしまう海風とみなとみらいの景観には異色な風力発電がある。このような特徴のある敷地の不快感を建築の形態によって快適な空間へ転換し、誰でも訪れやすくなる駅ができると考えた。

また、環境未来都市横浜は低炭素・省エネルギー、水・自然環境、超高齢化対応、クリエイティビティ、チャレンジといった5つの分野に取り組んでおり、リニアモーターカーの開通や次世代モビリティの導入など先端技術を積極的に取り入れている。

そこで海の駅を電車の駅・車の駅・徒歩の駅・次世代モビリティの駅・船

の駅・エアモビリティの駅といったすべてのモビリティの駅にし、スマートシティのような、みなとみらいの未来のプラットフォームとなると考える。

■講評

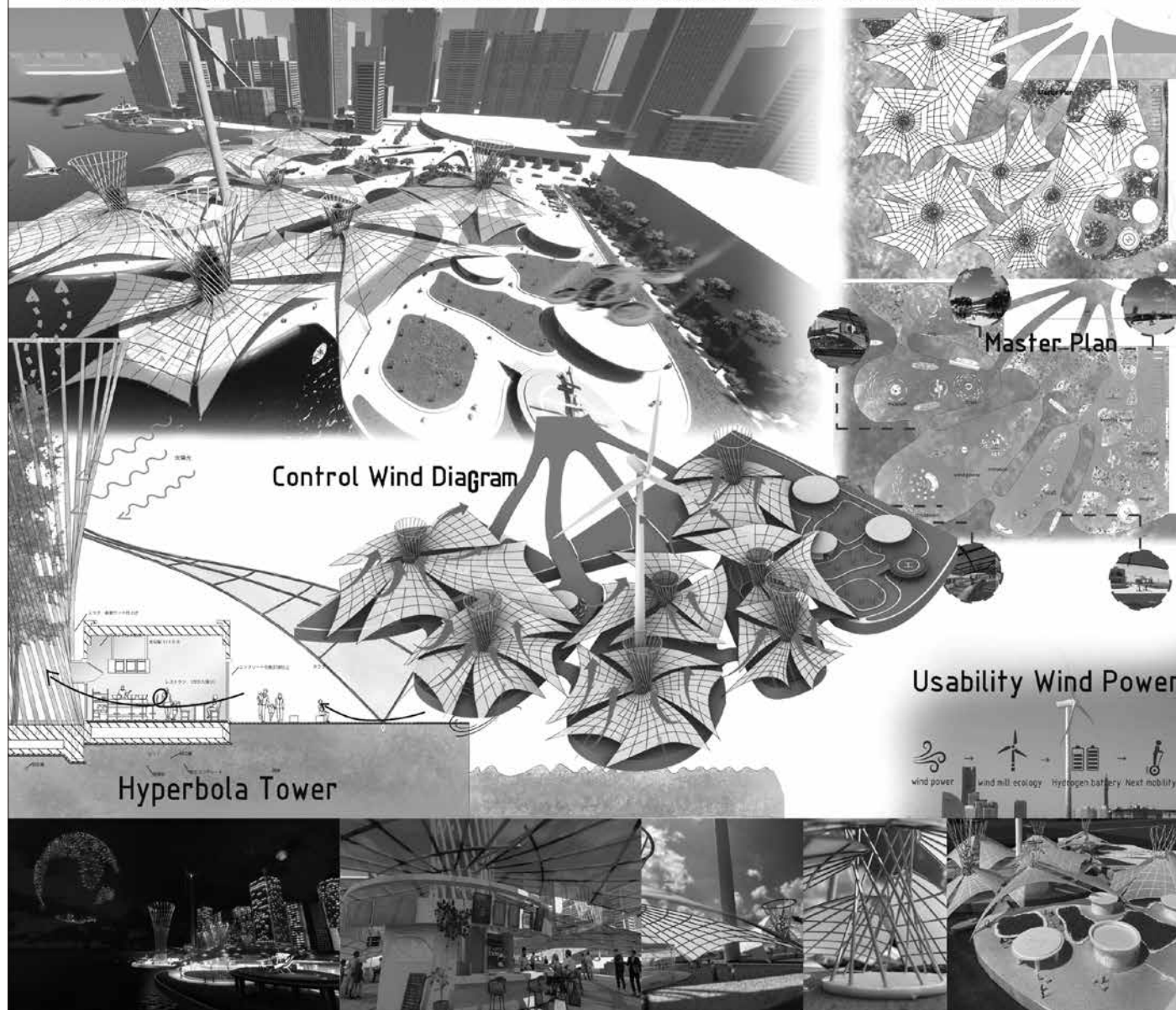
計画敷地隣地には風力発電の大型風車が現存する。故に課題敷地は風の強い敷地であるが、また同時に常時風が吹いているとは限らない。陸上と海上交通の接点でもある海の駅の建築機能を保持しながら、このような自然の諸条件を適正に取り込むことが建築計画のデザインにつながっている。風力発

電のサステナブルエネルギー電力を施設内に供給する、さらに大集成材によるCLT木構造のサステナブルな建築素材および構造にする、海の駅ターミナル利用者に限らず多目的利用にもオープンな半屋外空間を提供する、これらのデザインコンセプトで施設全体を構成している。これが風のコントロールにつながり常時利用者に心地よい空間を感じてもらえるだろう。強風時には大屋根による防風機能を、無風時にはタワー状のデザインで、輻射熱利用による温度差で風を施設内に誘引している。敷地の地域特性と、自然環境、建築の素材および構造、環境配慮の建築デザインが融合していることが高く評価された。

(小林直明)

# WIND TERMINAL

強い風が吹き、日よけもない瑞穂ふ頭。夏は暑く、冬は寒い敷地である。この不安定な空間に必要な海の駅とはどういう物であるべきだろうか。今は人間にとって不快に感じてしまう海風とみなとみらいの景観には異色な風力発電がある。このような特徴のある敷地の不快感を建築の形態によって快適な空間へ転換し、誰でも訪れやすく横浜のプラットフォームとなる駅ができると考えた



古川穂奈実

「陸と海の狭間で」

■コンセプト

私たちの生活において水は重要な存在です。しかし工業化や都市化に伴い、海や水とのつながりを感じられる空間は少なく、人と海の関係が薄れていることが問題となっています。そこでスロープを用いて人を誘導し、昇りながら見えてくる空間の変化を楽しむ工夫をしました。ここは人や自然、船といった動線があるため、それらの境界を曖昧

昧にするため、建物を円形にしました。

海の駅の外の空間は、公園のような役割を果たします。海の駅の入り口では、スロープを昇ると地上とは違った目線から景色を見ることができます。景色や空間の変化を楽しみながら、海の駅を中心にたどり着きます。ここには船着き場があり、建物から船に乗っている人に手を振り、陸と海のコミュニケーションを取ることができます。

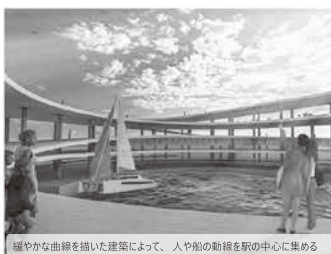
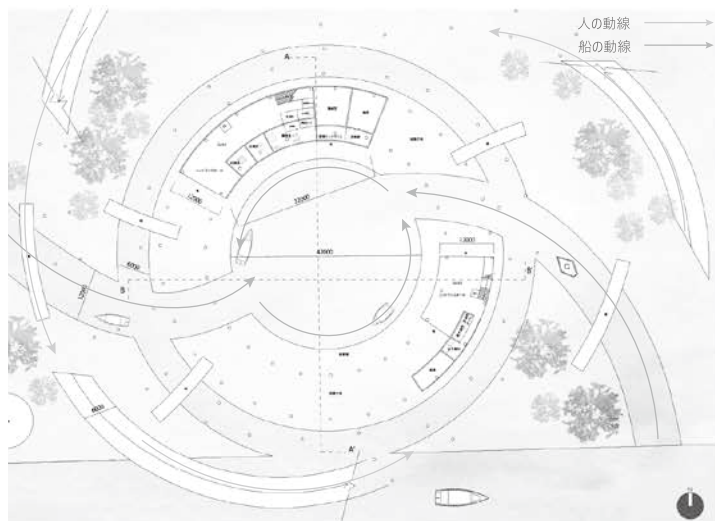
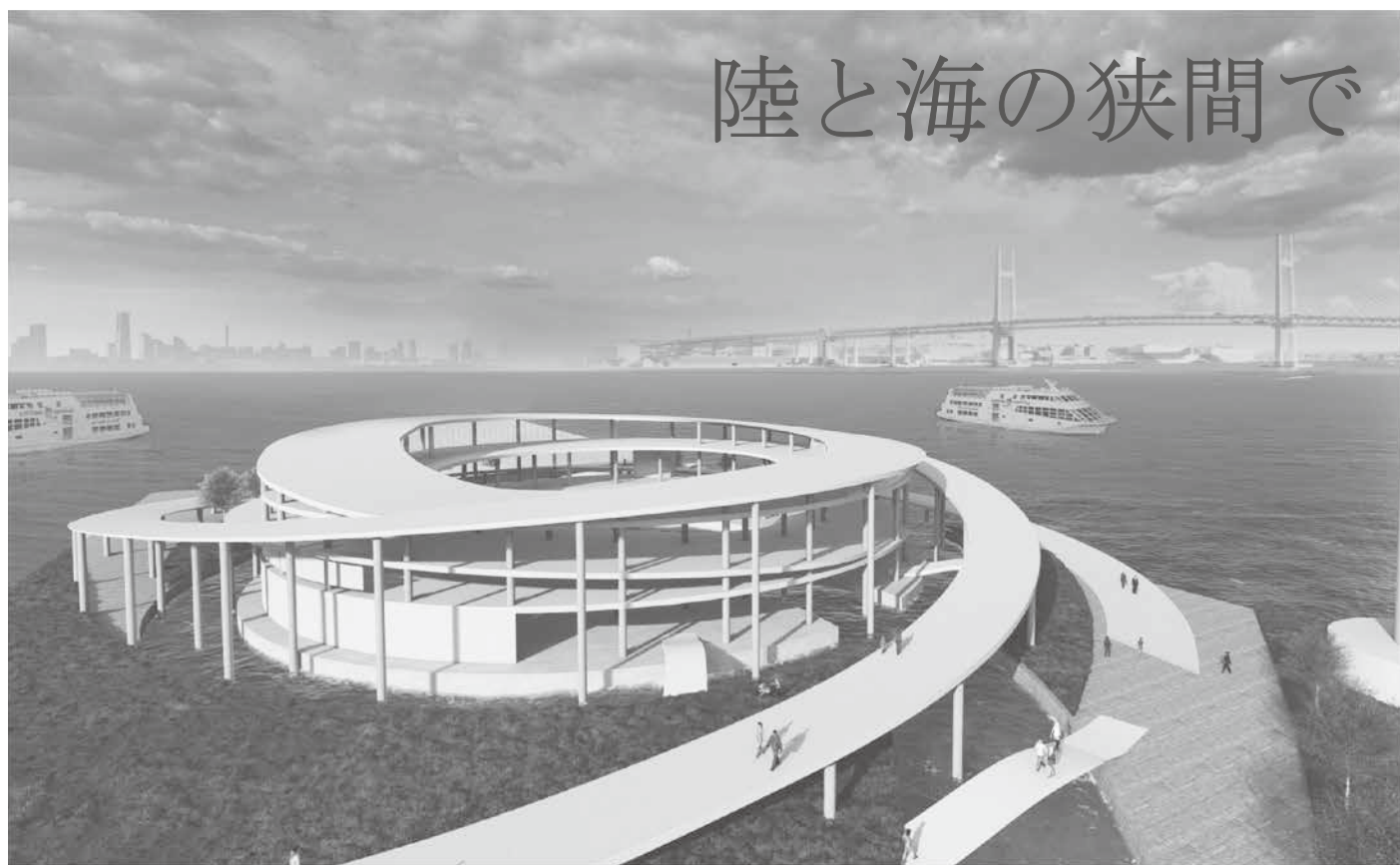
この海の駅は、建築的操作でうまれる視線や歩くといった動作で海の空間を感じられ、海との関係を認識しつながりを感じられる建物となっています。これからのウォーターフロントのさらなる発展に貢献することでしょう。

■講評

この海の駅は、人の動きと船の動きを立体的に展開することで、海の表情と人の表情をさまざまな角度から楽しむことのできる大変優れた案である。横浜港から敷地の中へは、湾曲する運河によって船を中央の水の広場へと導いている。広場の周囲に商業施設や展示施設を配し、海から訪れる人や陸から訪れる人の出会いの場を、海の駅にふさわしい空間の仕掛けによってつくり上げている。広場を取り囲むよう配置されたスパイラル状のスロープは二重螺旋となっており、敷地を訪れる人々は2カ所の上り口を利用して自由に上り下りができ、行き交う船を地上レベルから見たり、上から見下ろし

たりとさまざまに表情を楽しむことができる。また二重螺旋のスロープは歩くにつれて視線の方向が刻々と変化し、ランドマークタワー、赤レンガ倉庫地区、そして山下公園から本町地区への眺望を楽しむことができる。敷地は横浜の中心街から横浜港を挟んで少し離れた場所にあるが、その距離ゆえに周囲の地区からこの海の駅を眺めることができ、しっかりとした個性を持ったデザインであることが要求される。出来上がったデザインは大変個性的であり、美しく、水域のシンボルとして遠方からもしっかりと視認できるランドマークとしての存在感を持っている。まさに横浜の海の駅にふさわしい秀作である。(光井 純)

# 陸と海の狭間で



## 若松瑠芽

「海脈を紡ぐ 海と人と生き物を紡ぎゆく横浜の物語」

### ■コンセプト

かつて横浜の海は沿岸漁業や海苔養殖が繁栄し、海と生き物と人々は共存して暮らしていた。しかし高度経済成長期の技術の発展に伴い、水質汚染や埋め立て地の増加により自然が喪失し、その関りは希薄化してしまった。時代とともに変化し紡がれてきた横浜の海・人・生き物のつながりを「海脈」と

と称し、3つのスケールから一度失われてしまった横浜港の新たな海脈を紡ぐ水族館を提案する。水族館のスケールでは、水槽に纏わせた動線計画により、人の上下の動きを開放することで、海底地形を模した館内で人と生き物が混ざり合う空間体験を演出する。瑞穂ふ頭のスケールでは、埋立地により人工物化したふ頭を自然のテーマとした開発を行うことで、かつて存在した海辺の生物や海鳥たちを呼び戻し横浜の原風景を再生する。横浜港のスケールでは水槽の中心に濾過機能を付与することで、この水族館をきっかけに浄化機能を有した建築物が増加し、横浜全体を取り巻く海脈を新たなかたちで再構築していく。この水族館を先駆けに

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

### ■講評

若松案は、水族館単体としての計画、敷地周辺の状況、そして横浜港全体のエリアに拡張して、それらを「3つのスケール」として主題化して計画を進めるものであった。それぞれを等価なテーマとして考えていくことで、単体の施設としてではなく、大きくいえば地球規模に波及しうる提案につながっている。この様な方向性を早期に定められたことは、余裕を持ってスタディを深め、結果としてわかりやすい提案

につながったと考える。

雨水の循環の末に海があり、その過程に水族館が存在し、さらに水は海そして空へ戻る。こうしたコンセプトを表現するイラスト群も作品のイメージと馴染んでいてとても好感がもてる。今後も彼の武器になるだろう、さらに磨いてほしい。展示空間やろ過器の仕組みのリアリティなどまだまだ難所は多くあり、水族館施設の基本構成についても理解を深める機会としてほしいという願いはあったが、毎週の授業に向けて真摯に取組み、紆余曲折がありながらアイデアを紡ぎつけてくる感じは、内に秘めた情熱？を感じられて興味深かった。今後にも期待したい。

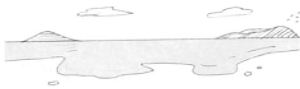
(川久保智康)



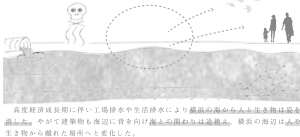
#### 01. 失われた横浜の原風景

#### —背景—

##### 01-1 失われた横浜の原風景



##### 01-2 奪われた生き物と人の影

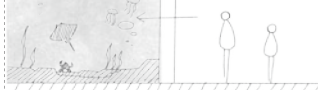


#### 05. 3つのスケールから海脈を紡ぐ

##### 【水族館のスケール】

##### —Small—

水族館の再生と創造  
それぞれの世界が存在し、間には境界線、繋がりが希薄。



海の生き物は水の中という空間があり、人とは大気中という空間がある。この二つの空間が共存し、繋がりが希薄である。水質汚染や埋め立て地の増加により自然が喪失し、その関りは希薄化してしまった。時代とともに変化し紡がれてきた横浜の海・人・生き物のつながりを「海脈」と

と称し、3つのスケールから一度失われてしまった横浜港の新たな海脈を紡ぐ水族館を提案する。水族館のスケールでは、水槽に纏わせた動線計画により、人の上下の動きを開放することで、海底地形を模した館内で人と生き物が混ざり合う空間体験を演出する。瑞穂ふ頭のスケールでは、埋立地により人工物化したふ頭を自然のテーマとした開発を行うことで、かつて存在した海辺の生物や海鳥たちを呼び戻し横浜の原風景を再生する。横浜港のスケールでは水槽の中心に濾過機能を付与することで、この水族館をきっかけに浄化機能を有した建築物が増加し、横浜全体を取り巻く海脈を新たなかたちで再構築していく。この水族館を先駆けに

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

#### 02. 瑞穂埠頭の持つ地域性と可能性

#### —敷地—

##### 02-1 砂が見せるランドスケープ



##### 02-2 瑞穂埠頭の未来の姿



かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

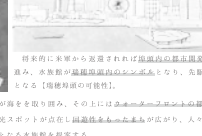
#### 03. 海と生き物と人の繋がりを再生するために

#### —設計主旨—

##### 03-1 自然地形の再生と敷地の記憶を刻む



##### 03-2 海と生き物と人の繋がりを再生するために



かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

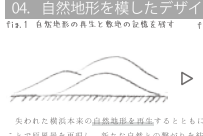
#### 04. 自然地形を模したデザインと瑞穂埠頭の記憶を残す

#### —建築操作—

##### 04-1 自然地形の再生と敷地の記憶を刻む



##### 04-2 海と生き物と人の繋がりを再生するために



かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

#### 06. 水族館から広がる海脈の繋がり

#### —機能説明—

##### 06-1 自然地形の再生と敷地の記憶を刻む



##### 06-2 海と生き物と人の繋がりを再生するために



かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

#### 07. 海と生き物と人の繋がりを再生するために

##### 07-1 自然地形の再生と敷地の記憶を刻む



##### 07-2 海と生き物と人の繋がりを再生するために



かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

かつて存在した横浜の海脈を、ウォーターフロントの都市を取り込んで紡がれていくことを期待する。

## 小野田鼓

### 「海豚回廊」

#### ■コンセプト

日本は今まで追い込み漁によって自然界のイルカを捕獲・飼育してきた。近年では動物愛護の観点から捕獲が強く制限されており、国内外の団体から非難を受けている。イルカの生体展示を継続していくためには管内施設での繁殖が必要であるが、日本の水族館の多くは繁殖を考慮した設計はされていない。

水族館といえばイルカショーが思い浮かぶ。そのイルカは人間によって訓練された見せ物、つまり玩具である。見せ物用に作られたイルカプールはどれもイルカの繁殖や生活に適していないと考える。そこでイルカプールで自然体なイルカと人間の共存が可能な空間を設計する。

イルカショーでは4頭ほどのイルカがステージにてトレーナーに餌をもらい演技を行う。この水族館の始まりをイルカショーのステージに見立てて、エスカレーターで水中に潜る。しばらく潜水した後、地上に向かってイルカがジャンプをするようにエスカレーターで登って行く。また、イルカは知能が高く、人間のように睡眠を取らない。

人間はその能力がないため休む必要がある。よって人が流れる空間と溜まる空間を設けた。イルカと同じような導線を人間が辿ることで共存を感じられると考えた。

#### ■講評

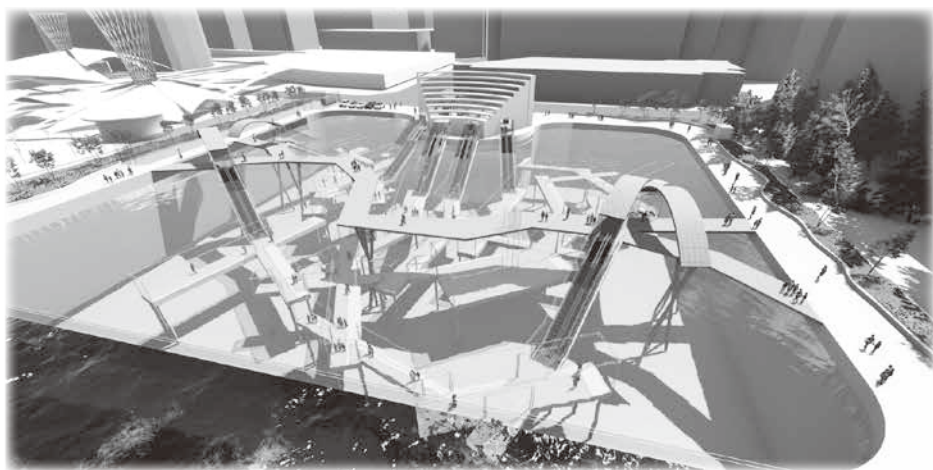
水族館には、学術、アミューズメント、エンターテインメント等の機能があり、それらが人々にリラクゼーションを与え世界中で愛されている建築の施設である。一方、動物愛護の観点からエンターテインメントにつながる、とくにイルカ等のショーが動物愛護に反するという意見も散見されるなか、そのような社会的意見も解決する水族

館の計画提案である。とくにイルカは知性が高いとされ、イルカ自身の思考で遊ぶ、自由に泳ぎ絡み合う等の行為を誘発するような水槽デザインである。具体的には観覧者のアクリル透明通路を水槽内で交錯させることでイルカは自由に泳ぎ廻ることができる。人々はイルカの自由な行動を水面上の空中歩廊から水面下においてはアクリル水中歩廊空間等より上下横方向から見ることができ、エンターテインメントにつながっている。それを具現化した今までにない水族館デザイン提案である。イルカが休める人目に付かない水槽空間も配置されていて、動物愛護のコンセプトが施設全体に貫かれていることが高く評価された。(小林直明)

# 海豚回廊

イルカは知能が高く、人間のように睡眠を取らない。片目を閉じ、片脳を休ませることで常に動き続けることが可能である。人間はその能力がないため休む必要がある。よって今回の導線においても人が流れる空間と溜まる空間を設けた。

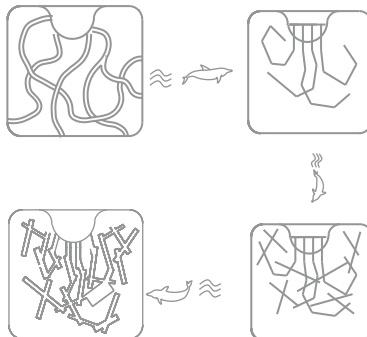
イルカショーでは4頭ほどのイルカがステージにてトレーナーに餌をもらい縁起を行う。この水族館の始まりをイルカショーのステージに見立てて、エスカレーターで水中に潜る。しばらく潜水した後地上に向かってイルカがジャンプをするようにエスカレーターで登って行く。



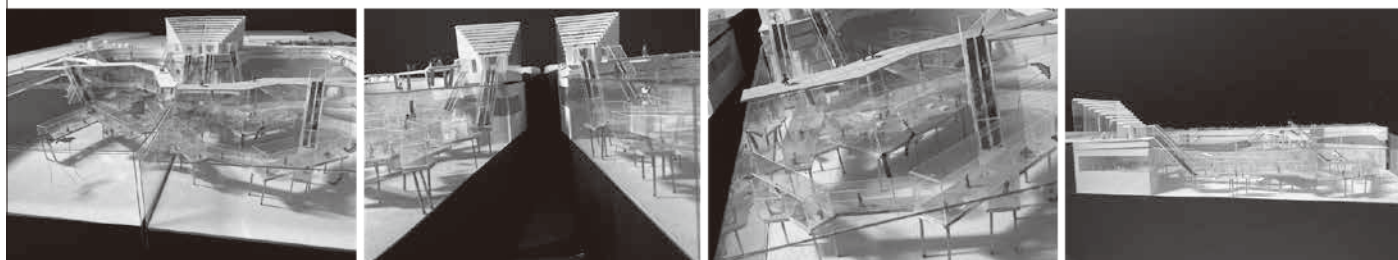
### イルカプールの問題

日本は今まで追い込み漁によって自然界のイルカを捕獲・飼育してきた。近年では動物愛護の観点から捕獲が強く制限されており、国内外の団体からイルカショーなどへの非難を受けている。イルカの生体展示を継続していくために管内施設での繁殖が必要であるが、日本の水族館多くは繁殖を考慮されて設計されていない。

### PROCESS



### イルカの生態と人間



建築計画及び演習 第1課題  
都市型リゾート機能を  
有したホテル

姫野由衣

「舟巡」

■コンセプト

多国籍の文化が交わり、近代化を遂げた多くの人で賑わう街「横浜」。そんな都心に近く、観光名所も多く存在する横浜だが、外国人宿泊率は他の都市より低く、日帰り客が多いのが現状である。そこで、「かつての横浜の姿を味わえるホテル」をコンセプトに、ただの宿泊施設としてではない+αの体験型ホテルを提案する。

客数を増やすのではなく、一人当たりの単価を上げることを目的として、部屋はすべて一棟貸しとし、着物に身を包んだ客を舟でおのの客室へと誘う。

舟がそのまま入り込めるような形とした客室では、人々は魚釣りを楽しんだり、水路を眺めたりとゆっくりとした時を楽しむ。また、旧横浜の形を再現したホテル内の施設では、中華街や横浜の名物を売り出す出店や足湯カフェなど、さまざまな方面で横浜の文化歴史を感じることができる。

ホテルをとおして、かつての姿に想いを馳せながら、いつもとは違う非現実的な体験を提供し、さらなる魅力を伝えることで横浜のよりいっそうの発展に貢献する。

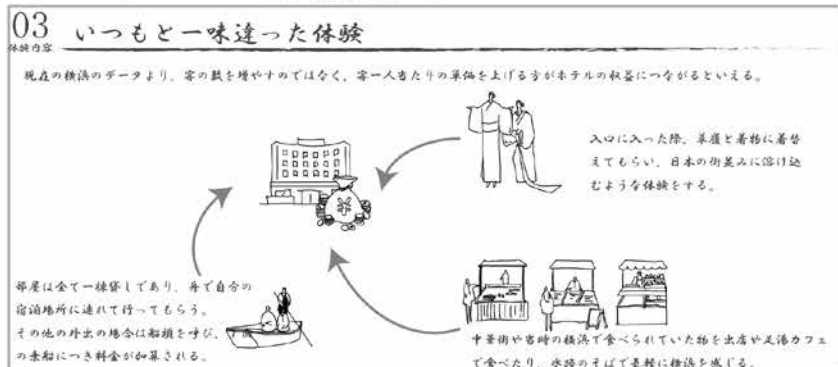
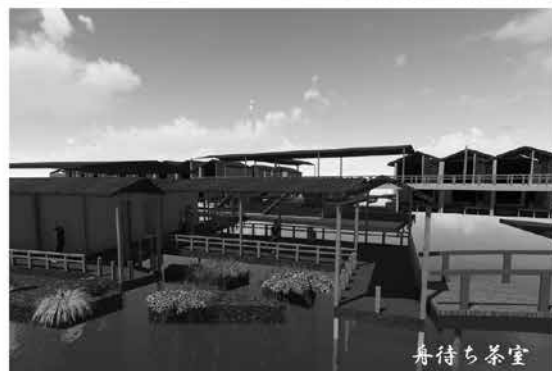
展に貢献する。

■講評

横浜における、ホテルと歴史を楽しむ空間を融合させた計画である。具体的な空間構成は、本敷地に横浜という名前の由来となった砂州を再現しその上に低層の客室棟を計画したものである。さらに客室棟は、京丹後半島の伊根の舟屋を再現した空間構成となっており、フロントロビーから船頭を呼んで船を廻してもらい、船旅をする。つまり客室には船でしかアプローチできないようになっていく。この一棟貸し形式の客室はすべてメゾネット形になっており、外部の水辺の景観を楽しむ階とそこから一段上に進むと、客室が

町並みを形成している様子を臨むことのできる階となっており、客室の上下階に楽しみがある計画となっている点が大変ユニークである。こうすることで、ホテルに宿泊するステータス性と優越感を高めることに役立っている。

敷地には中華街や日本人町を再現した商店街があり、レストランやカフェで食事をしたいときには船で移動して楽しむことができる。ちょうどベネチアの街を日本風の港町で過ごすといった趣を形成している。しかしながら、計画地全体における配置計画では、造形的にはプリミティブな町並みを形成しているとはいえ、埋め立て地特有の茫洋とした空間に見えてしまうことは残念である。(佐藤信治)



若松瑠冴

「絵画の旅人

—自然とアートのホテルを旅する—

■コンセプト

かつての「旅人」は見たことのない世界を求め、その日その場所で焚火をはじめ夜を過ごした。二度と味わえない体験を追い求めた「旅人」に倣い、自然と横浜のアート文化が織りなす世界のなかで「旅人」に想いを馳せるリゾートホテルを提案する。「旅人」たちがそれぞれの目的地へと旅立つよう

に、現代の旅人たちによって紡がれてゆくアート文化が横浜を飛び出し、日本から世界へと発信する先駆けとなっていく。未だ浸透していないアート文化を発展させるため、各部屋のデザインをアーティストに手がけてもらいそこに「旅人」が訪れる。旅人とアーティストをつなぐ役割をホテルが担うことで、若手のアーティストの成長の場を提供するとともに横浜のアート文化を拡大させていく。作業スペースや特設展示、各部屋のデザインを定期的に変更することで、来るたびに異なった表情を見せる空間となり、二度と味わえない空間体験を何度でも楽しむことができる。

■講評

横浜における、極めて私的な空間を楽しむためのホテル計画である。具体的な空間構成としては、ゲイジツカと称した人物に、ホテル内にアトリエを提供する。ゲイジツカの作品は絵画から彫刻といったありふれた物からその他何でもありの状態である。そこに旅人と称した客がそれを発見するといった、一種の疑似的なドラマを演じるような演劇空間に入り込むように仕組まれている。

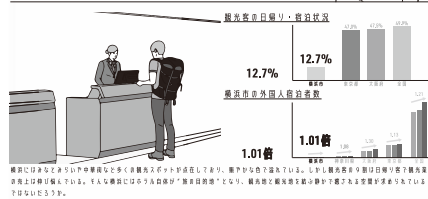
旅人は、アトリエの隣の客室みたいなところから、作品の制作現場をのぞき見をしたり、できあがった作品を鑑賞したりすることができる。こ

れは一種のアーティスト・イン・レジデンスの対一対対応版のようにになっている。しかしながら、現代社会ではYouTubeなどで自己の生活の様子を垂れ流して、金銭を稼ぐという行為も行われている。そのため、こうした行為も将来的には成り立つのかもしれない。

こうした行為以外に、建築的には内部空間は自然光や通風が差し込むようには計画されておらず、ロビー空間などは真っ暗な状況と推定できる。つまり、CGで表されているようには居住環境は良好ではない。しかしながら、ゲイジツカはこうした空間を好む傾向があるため、それはそれで成り立つのかもしれない。(佐藤信治)



## 01 - BACKGROUND - 横浜に求められるホテルの在り方



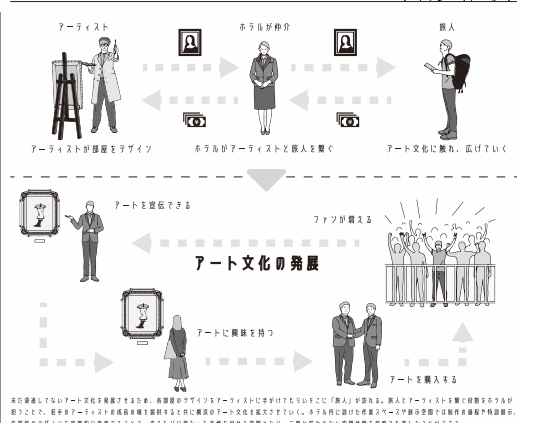
## 02 - SITE - アートの街と横浜のオフィス



## 03 - CONCEPT - アートと自然を織り合うホテルを旅する



## 04 - SCHEME - アーティストと旅人を繋げるリゾートホテル



三野宮弘太郎・田中修斗  
・姫野由衣・古川碧人

「SPORTS DISCOVERY  
YOKOHAMA」

■コンセプト

海外の窓口として技術や文化、人が  
集まり交錯する街横浜。多くの観光客  
が訪れる場所として有名だが、それ以  
外にも実はスポーツ環境が充実しており、  
いくつもの競技が盛んに取り組ま  
れている。しかし、その盛り上がりは  
あまり認知されていないのが現状であ

る。そこでインバウンドプランとして  
スポーツ資源とツーリズムを融合した  
「スポーツツーリズム」に着目し、こ  
れを取り入れた施設、およびスポーツ  
の街の構築を提案。瑞穂ふ頭返還に伴  
って横浜スタジアムを移転、増築する  
ことを想定し、スポーツ観戦事業を楽  
しみ、支える場所として「海の駅」  
「水族館」「ホテル」を設置する。そし  
て周辺に多彩なスポーツアクティビ  
ティを配置し、試合観戦の場や宿泊で  
きる施設や出店で地域の発展を図る。

横浜の秘めている地域資源を「す  
る」、「観る」、「支える」という3つの  
観点で新たなスポーツの街として横浜  
の観光体験と地域の発展に貢献する。

■講評

横浜における、瑞穂ふ頭の最先端地  
区の再開発計画である。本計画案は、  
横浜の手つかずの埋め立て地である瑞  
穂ふ頭の資材置き場を取り込んだ敷地  
に海の駅と水族館および都市型リゾート  
ホテルを統合するランドスケープで  
ある。この計画案の最大の魅力は3つ  
の施設をつなぐ曲がりくねった回廊で  
ある。この回廊を用いることで、茫洋  
とした敷地に界限性と歩きたくなるよ  
うな魅力を持たせ、さらそれぞれの施  
設をつなげる役割を果たしている。

敷地の中心は海の駅であるが、その  
入り口は回廊になっており、ヨットや  
プレジャーボートで乗り込んだ客は、  
この施設のゲートをくぐり抜けること

によって敷地への期待を高めることと  
なる。その後は、回廊を通じて各施設  
へアプローチすることとなる。この回  
廊は地上から持ち上げられており、駅  
から来る客は自動車とは歩車分離の関  
係を保っている。

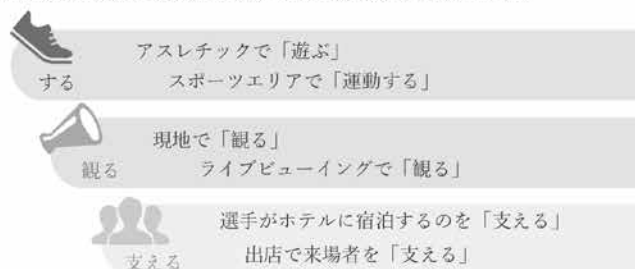
さらに本施設の魅力は、上記の3施  
設以外にもある。それは、この瑞穂ふ  
頭の位置づけを横浜全体で考え、ふ頭  
の中心部にスタジアムを中心としたス  
ポーツ施設を配置したことである。横  
浜の中心部にある横浜スタジアムは、  
老朽化により手狭になっている。その  
施設を市の中心部からこの地に移設す  
ることで、中心部の活性化と瑞穂ふ頭  
の利活用方法を示したことが最大の魅  
力である。  
(佐藤信治)



## Concept



瑞穂埠頭が返還され、広大な敷地が手に入ることを想定し、周辺に野球場  
を設置し、観光客を呼び込む。  
「スポーツツーリズム」を横浜に導入し、する・観る・支えるの三つの観点で  
豊かな観光体験と地域の発展に貢献の場となるように設計した。



齋藤 光・小野田鼓  
・石野田蘭・小林弘真

「未来都市 HAMA」

■コンセプト

神奈川県横浜市は、最先端の観光施設やグローバル企業の研究開発拠点として開発が進み、貿易港としても世界とつながる玄関口である。しかし、現在行われているスマートシティプロジェクトが人々に浸透していないという現状があると考えられる。

そこで、横浜市にある瑞穂ふ頭とい

う場所をスマートシティ化することで魅力を伝え、認知度を高めていけるような実証実験都市モデルを提案する。

われわれは3つの目標「瑞穂ふ頭でのエネルギーの作成」「SDGsを考慮した街づくり」「次世代モビリティを利用しどのような人でも楽しめる場所」を掲げ、これを達成するスマートシティを目指す。

瑞穂ふ頭では風力発電、太陽光発電を行い、その電力を用いて海の駅・ホテル・水族館といった施設でのスマートモビリティの導入、加えて瑞穂ふ頭全体でのスマートモビリティを導入しており、人々の移動を楽にしている。また、CLTの導入やバラスト水問題解決への取り組み等、SDGsを考慮

したスマートシティにもなっている。

■講評

共同設計による横浜瑞穂ふ頭地区の街づくりの提案である。敷地内に留まらず、東神奈川駅から敷地までのふ頭全体が、横浜の中でどのようにあるべきかを大きなスケールで提案している秀作である。まず、この地区にまとまった敷地が残っていること、さらには横浜の中心街に近いことを利用しながら、サッカースタジアム、テニスコート、多目的ドームの開発を提案している。そして、東神奈川駅から敷地である瑞穂ふ頭の先端までを自動運転によるモビリティでつなぎ、必要な電力を既存の風力発電に加え、発電機を数台

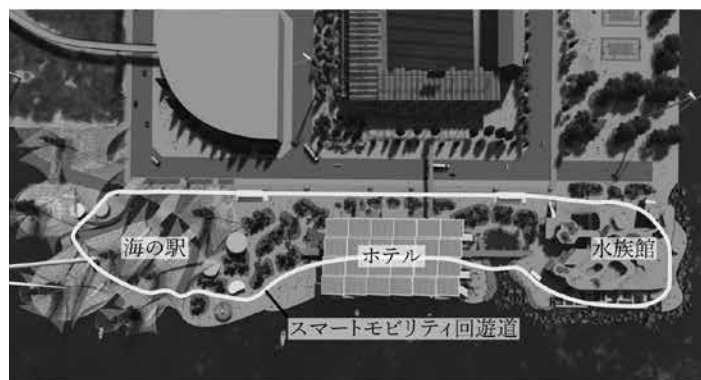
増設し、加えて横浜港の干満の差を利用した潮汐発電、太陽光発電を行うことで、海の駅、ホテル、水族館の電力を賄おうと考えた野心的な提案となっている。この設計チームは、それぞれの施設に必要とされる電力量を算出した上で、敷地内における必要な発電施設を設置している。他にもホテルの客室の入り口へとつながる徹底した自動モビリティの提案や、ゼロエネルギーを目指した開発の考え方、護岸部の人工岩礁化による海洋生物の生態への配慮など、アイデアとして初歩的な部分もあるものの、これからのスマートシティを積極的に先取りしようとした先見的な作品となっている。

(光井 純)

# 未来都市 HAMA



## Concept



横浜市にある瑞穂ふ頭をスマートシティ化することでスマートシティの魅力を伝え、認知度を高めていけるような実証実験都市モデルを提案する。3つの施設はそれぞれSDGsや環境配慮などに取り組んだ施設とし、それぞれの施設を繋ぐ手段やエンターテイメントとして様々なモビリティを取り入れることで、スマートシティの魅力や楽しさを伝えて行くことができる。



上原皐暉／小櫃蓮華／古川智尋

■コンセプト

計画の要点等

①建物部門の各室について、その位置にした理由及び動線計画について工夫したこと。  
 ②エントランスホールの計画について工夫したこと。  
 ③倉庫その他必要と思われる計画等について配置したこと。

面積表

| 建築物の床面積                                                             |                                                                      | 合計                                      |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1階                                                                  | 2階                                                                   |                                         |
| 床面積(60.0m×19.4m)×(2.4m)×(3.4m)<br>=36.0m×12.92m=464.9m <sup>2</sup> | 床面積(6.6m×(4.4m)×(4.4m)×(12.4m)<br>=36.0m×45.13m=1624.7m <sup>2</sup> | (464.9+1624.7)<br>=2089.6m <sup>2</sup> |
| 小計 464.9 m <sup>2</sup>                                             | 小計 1624.7 m <sup>2</sup>                                             | 1994 m <sup>2</sup>                     |

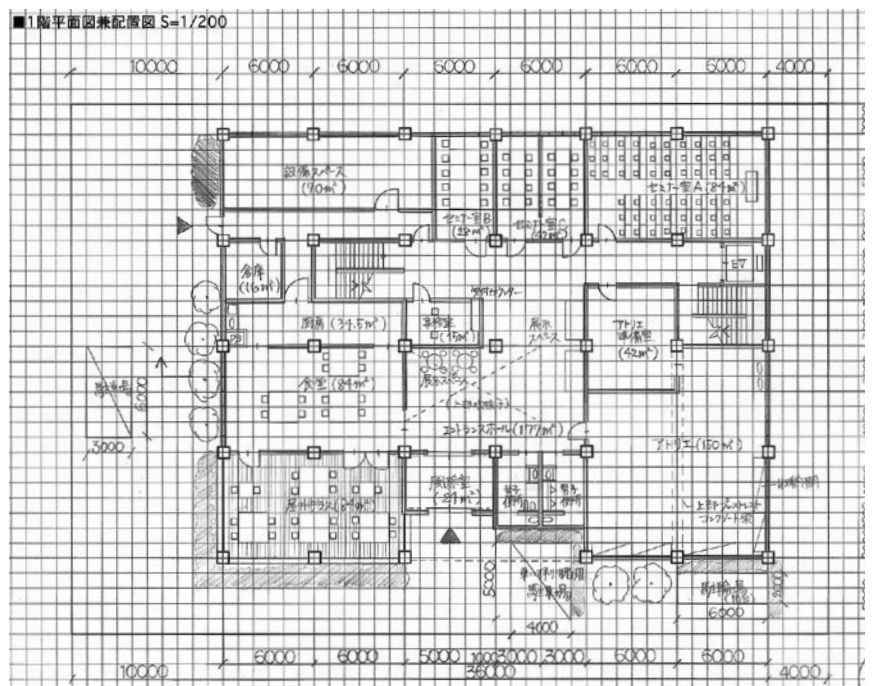
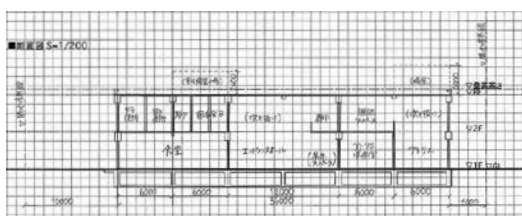
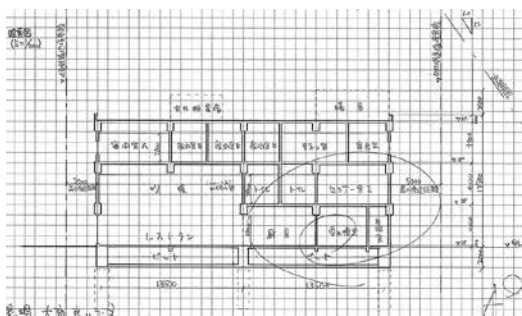
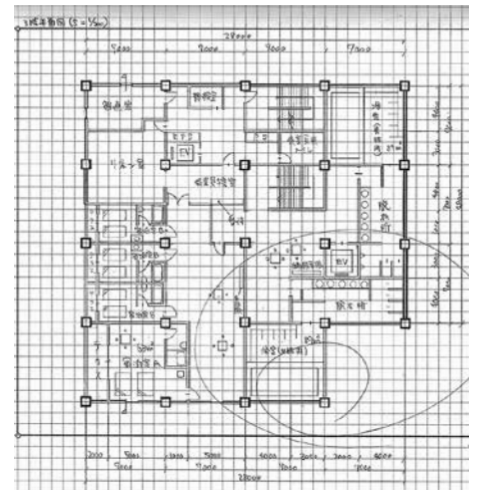
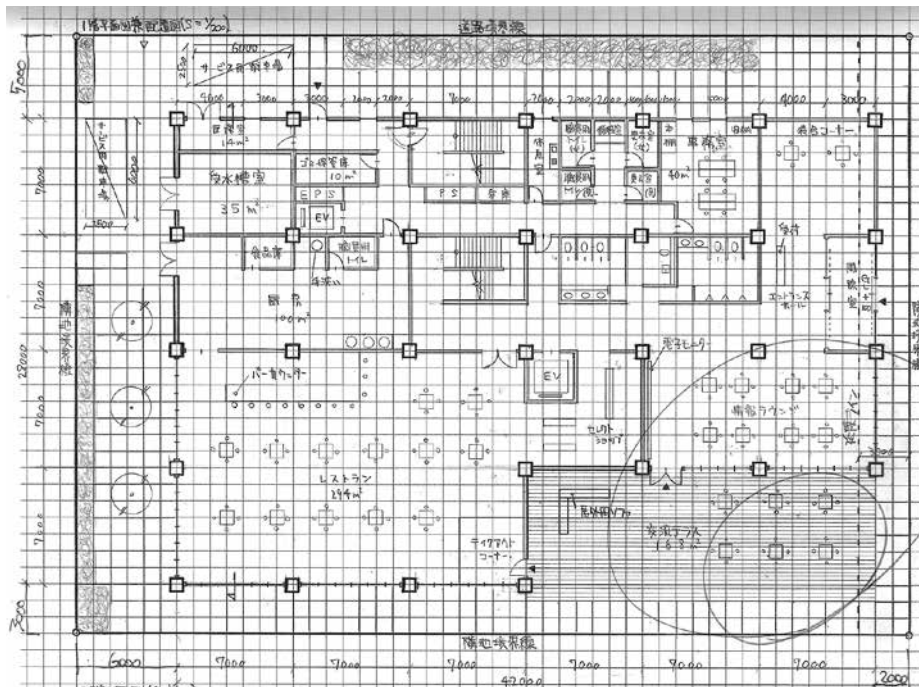
■本課題の目的と対応方法について

一級建築士設計製図対応クラスは一級建築士を目指す人のための準備プログラムです。一級建築士の試験は、毎年7月の学科試験と10月の設計製図試験の2段階で実施されますが、本クラスでは10月に行われる「設計製図試験」の基礎を学びます。直近の「設計製図試験」では図書館、事務所ビル、集合住宅、老人介護施設などさまざまな施設が出題されていますが、作図表

現やエスキス手法には共通する部分が多く、それらをあらかじめ学ぶことで初受験での合格を目指します。

講義は前半と後半にわかれており、前半は実際の本試験を作図しながら、線の強弱をはじめ扉や窓などの作図表現と、階段や廊下の幅などのプランニングの基礎となる寸法感覚を身につけます。また、諸室の配置や関係を読み取ることで、管理者の動線や建物の構成について理解することが目的です。

後半は本試験と同等にアレンジした「海の駅」を解きながら、課題文の読み方や、諸室の振り分けなどエスキスの手順を学習します。優先する事項や、設計のまとめ方を分かりやすく解説しています。(佐藤信治)



【担当】 佐藤 信治  
吉田 郁夫  
小林 直明

山本 和清  
寺口 敬秀  
菅原 遼  
桜井 慎一

総合演習

デザイン系

「環境と建築

（日本建築学会設計競技）」

（担当：佐藤信治、吉田郁夫）

【応募要領】

建築は環境の中にたち、そしてそこに、新しい環境を創り出します。建築は、どういう環境を創り出せるのでしょうか。

今、私たちは、どういう環境について考えることが大切なのでしょうか。そしてその環境の中に、どういう建築を作ることができるか、提案してください。抽象的な環境ではなく、街や通り、自然など、具体的な周辺環境を設定して、建築を提案してください。建築と環境がどのような創造的な関係を生み出せるか、建築が環境創造にどう関われるか、いろいろな提案を楽しみにしています。

審査委員長 妹島和世

【応募規定】

A. 課題

環境と建築

B. 条件

具体的な計画対象地を設定すること。

C. 応募資格

本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一代表名で複数の応募をすることはできない。

D. 提出物

下記3点を提出すること。

a. 計画案の PDF ファイル

以下の①～④を A2 サイズ（420×594mm）2 枚に収めた後、A3 サイズ 2 枚に縮小した PDF ファイル。（解像度は350dpi を保持し、容量は合計 20MB 以内とする。PDF ファイルは 1 枚目が 1 ページ目、2 枚目が 2 ページ目となるように作成する。A2 サイズ 1 枚にはまとめないこと。）模型写

真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現すること。

①具体的に想定した「他者」を示すこと

②設計主旨（文字サイズは10ポイント以上とし、600字以内の文章にまとめる）

③計画条件・計画対象の現状（図や写真等を用いてよい）

④配置図、平面図、断面図、立面図、透視図（縮尺明記のこと）

b. 作品名および設計主旨の Word ファイル

「a. 計画案の PDF ファイル」に記載した作品名と設計主旨の要約（200字以内とし、図表や写真等は除く）を A4 サイズ 1 枚に収めること。なお、容量は20MB 以内とする。

c. 顔写真の JPG ファイル

横 4 cm × 縦 3 cm 以内で、共同制作者を含む全員の顔が写っているもの 1 枚に限る。なお、容量は20MB 以内とする。

計画系

「荒川ロックゲートとその周辺地域の多機能化の提案」

（担当：山本和清、菅原 遼、

寺口敬秀、桜井慎一）

【課題趣旨】

荒川ロックゲートは荒川と旧中川を結ぶ閘門であり、双方の河川間の多様な船舶の交通を可能とする施設として2005年10月に供用が開始され、荒川と旧中川、小名木川、隅田川をつなぐ重要な役割を果たしている。また、船舶の往来に加えて、災害時の救援物資や復旧資材、被災者の救出などの災害復旧活動の支援に寄与する地域の防災拠点としても位置付けられている。

現在、荒川ロックゲートの周辺では、河川管理者（国土交通省関東地方整備局・荒川下流河川事務所）と周辺自治体（江戸川区、江東区）の連携による賑わい創出に向けた検討が進められて

いる。この取り組みは、荒川ロックゲート周辺の高台化を行うことを前提として、荒川ロックゲートの空間性や荒川河川敷の親水性などを活かした地域拠点の形成を目指すものであり、造成された河川堤防の天端は、将来的に民間事業者のエリアマネジメントを導入することで、河川空間の多機能化が求められている。また2023年2月には、河川敷地の日常的管理に関する規制緩和である「RIVASITE（リバサイト）」が国土交通省より発表され、民間事業者によるエリア一体型の河川敷地の活用が可能※）となった。

背後地域となる江東区内は内部河川が張り巡らされており、河川沿いには船着場や運河沿いの遊歩道が整備されることで、広域の水のネットワークが形成されており、日常的な河川の市民利用も多様化し始めている。荒川ロックゲート周辺の拠点施設を提案する上では、こうした諸条件を考慮した上での拠点施設の位置付けや役割を検討する必要がある。

そこで本演習の課題は、今後、荒川流域の親水拠点となり得る荒川ロックゲートとその周辺地域を対象に、荒川ロックゲート周辺の地域の特徴を活かし、地域内の回遊性や親水性の創出につながり得る提案を行うこととする。

【計画地概要および前提条件】

・河川堤防を含む周辺の高台化を前提

とした高台の民間事業者の活用案を提案すること。

・荒川ロックゲート管理棟の民間事業者の活用案を提案すること。

・計画地前面の河川敷地内の民間事業者による利用管理方法を提案すること。

【計画上の主なポイント】

①荒川ロックゲートの特性（歴史性、空間性など）を多面的に活かした計画とすること。

②計画地周辺に立地する各種施設や荒川河川敷の来訪者の誘致を考慮した計画とすること。

③江東区内の内部河川とのネットワーク構築を考慮した回遊性を生み出す計画とすること

④各拠点施設が持つ資質・資源を明確化し来訪者のニーズを考慮した計画を検討すること。

⑤地域特性や来訪者属性を考慮して計画対象地にどのような施設が必要かを検討すること。

⑥各自の提案に基づいた適切な施設の規模を類似の事例を調べて設定すること。

※水管理・国土保全局 水政課 河川環境課：河川敷地の更なる規制緩和で地域活性化！～民間事業者の参入を促進する「RIVASITE」を始動～、報道発表資料、2023年2月



# 総合演習 デザイン系 海洋ゴミをリサイクル、 そして建築へ

奥村碩人・佐藤航太  
・仲澤和希・玉木芹奈

## ■コンセプト

環境問題から私たちは、海洋ごみ問題に着目した。環境（海洋ごみ）と建築を結びつけるものとして、海洋ごみアートの存在を知り、海洋ごみアートを展示する美術館の設計を試みた。

敷地として、海洋ごみが日本で一番漂着する長崎県対馬市を選定した。また、対馬市の中でも浅茅湾という場は、内海で風や波が弱くシーカヤックを楽

しめる。そこで、浅茅湾に浮かぶ浮体美術館として、シーカヤックによってアートを巡る計画をした。

元々、対馬市で行われていた海洋ごみの清掃活動に加え、回収した海洋ごみをリサイクルし、建物の建設、アートの製作、商品の製作・販売を、美術館で行う。

美術館のデザインには、円形の建築を採用した。円形の袋の中に多くの海洋ごみが入っている現状から、円形の美術館の中に多くの観光客やアートで賑わう未来をイメージした。

そこで、年月が経つごとに、浅茅湾に浮かぶアートが増えていく。このことで、訪れた人々は海洋ごみ問題を知ることになる。

## ■講評

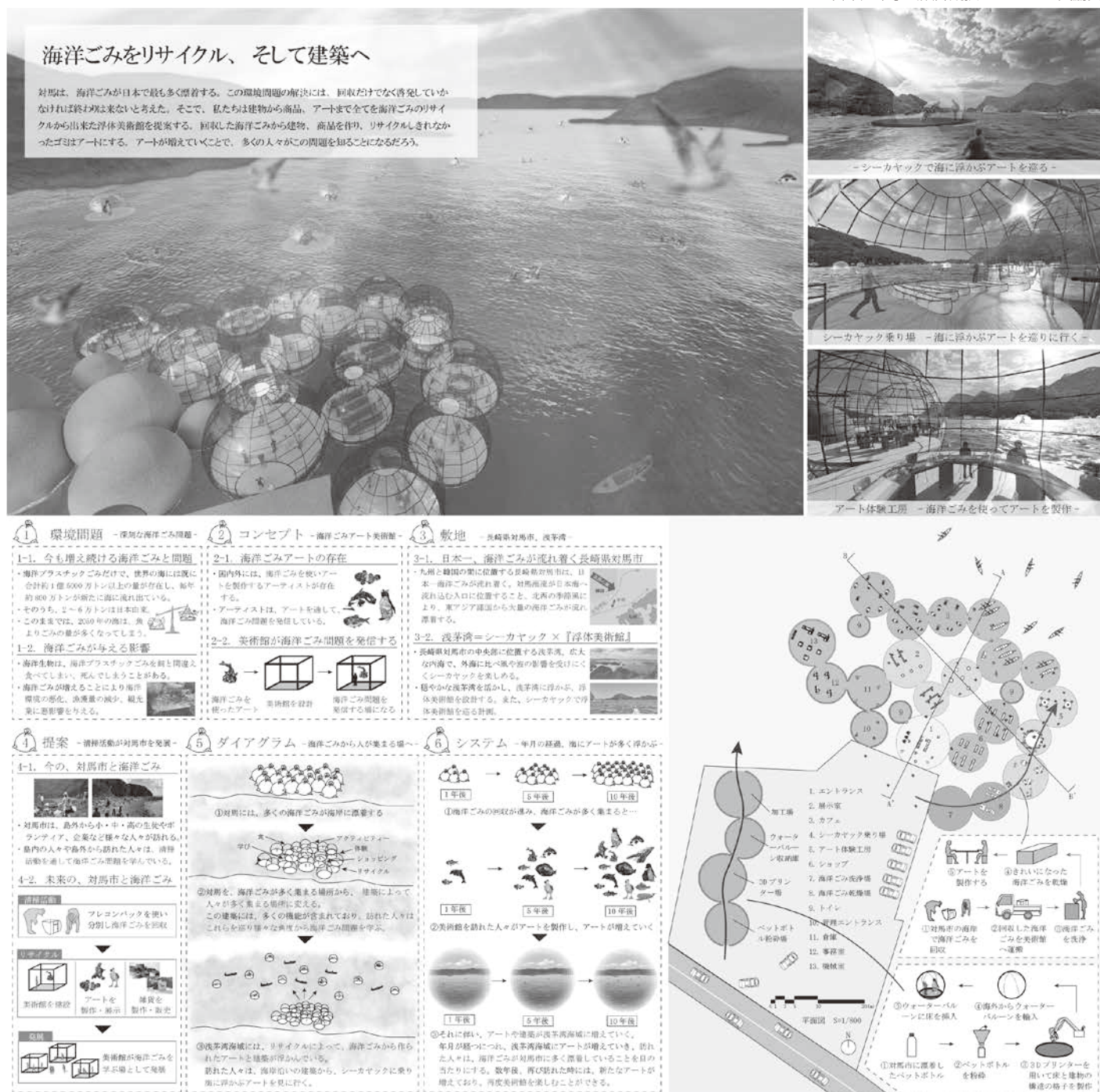
2023年度の日本建築学会コンペの課題は、「環境と建築」であった。本課題の趣旨は、「建築は環境の中にたち、そしてそこに、新しい環境を創り出します。建築は、どういった環境を創り出せるのでしょうか。」と課題文にあるように、建築はそのものだけで存在するのではない。その周辺の環境とどのように影響し合うのか、または環境と融和するのか、環境と対峙するのかなどを考えさせる課題でした。

本計画は、長崎県の対馬を対象としています。そこでの環境とは何か？それは、海流の関係で諸外国から流れ着くプラスチック製のゴミの環境汚染

問題です。対馬市は、日本海に位置する島です。そのため、対馬海流の影響でさまざまなゴミが流れ着いてしまう環境下にありました。そこでたんにプラスチック製ゴミを処分してしまえば、目の前からゴミは消えます。しかしながら、また次の日も、その次の日も流れ着くゴミ。その繰り返しです。ではどうしたらいいのか、その回答がこの提案です。つまり、目の前からゴミを消し去るのではなく、目の前に置いておくのです。つまり、ゴミ問題を可視化するということです。

こうすることで、視覚的にはゴミ環境は消え去るのですが、ゴミ問題は顕在化させるということに成功したというわけです。（佐藤信治）

日本建築学会設計競技2023 タジマ奨励賞



総合演習 デザイン系  
植罪  
～負の遺産を還す～

荒木陽哉・山口直也  
・黒坂龍乃介

■コンセプト

世界有数の森林面積を持つ日本は昔から森林とともに生きてきた。しかし、高度経済成長期の木材需要で全国的に森林が伐採され人工林が植えられた。その後人工林は需要低下により放置され、周辺環境に悪影響を及ぼすこととなった。中でも鳥獣被害は昨今、全国的な問題となっている。

本計画はさまざまな悪影響を与える

放置林を伐採し本来の天然林への回復を目的とする。天然林を育成するあいだ伐採した人工林を活用して鳥獣被害対策としての柵を設ける。しかし柵によってできた境界は森林と人との関係を断絶させてしまう。そこで、境界線に学びとふれあいを与え、森林と人との関係維持を図る。長い時間をかけて天然林が育成するにつれて人工の境界線から天然の境界線へと変化する。そして役目を終えた柵は朽ち、天然林を見守りながら土へと還っていく。

かつて使おうとして植えた木々は現代ではわれわれへの悪影響となってしまった。いまを生きる私たちはその問題と向き合っていかなければならない。

■講評

2023年度の日本建築学会コンペの課題は、「環境と建築」であった。本課題の趣旨は、「建築は環境の中にたち、そしてそこに、新しい環境を創り出します。建築は、どのような環境を創り出せるのでしょうか。」と課題文章にあるように、建築はそのものだけで存在するのではない。その周辺の環境とどのように影響し合うのか、環境と対峙するのかなどといったことを考えさせる課題でした。

本計画のキモは、放置林を環境問題の解決手法としていっているところにあります。地球温暖化の影響が異常気象が頻発しています。そのことが野生の動物

たちの餌となる木の実などを減少させている一因ではないかといわれています。そこで近年報道されているのが、野生動物と人間の生活環境とのコンタミ問題です。野生動物である熊は都市部まで降りてきて人間に危害を加えることが度々報道されています。

こうした、野生動物と人間環境を一時的に切り分けるために、放置林を活用するのです。具体的には、人里と動物の生息環境との間の放置林を一定の広さで伐採し、その伐採した木材で長大な柵を作るという計画です。人と野生動物の距離がある程度保たれた未来には、放置林で作った柵は自然へと戻ります。本提案は、東北支部入選を果たしている。(佐藤信治)

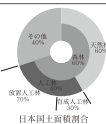
日本建築学会設計競技2023 東北支部入選



01. 放置された人工林を天然林に

1-1 放置される人工林

日本は世界と比べても森林面積が広く国土の7割を占めている。森林のうち4割が人工林でありそのうちの7割は放置された人工林である。背景として高度経済成長期で建材の需要が急増し、周辺にあった天然林が伐採され、成長の早いスギやヒノキなどが植えられた。しかし、木材輸入の自由化により国外から木材が大量に輸入され、安価で手に入れやすい外国産の木材が使われるようになり、国内産の木材の使用用途がかなり限定されている。放置された人工林は周辺環境に悪影響を与え、森林の生態系の崩壊・土砂崩れ発生のリスク上昇・花粉症などによる健康被害をもたらす。



1-2 天然林と人工林

森林は天然林と人工林に分けられる。天然林は主に広葉樹から構成され、自然の力で成長や倒木を繰り返す。人の手が増えられていない森林である。対して人工林は主に針葉樹から木材生産を目的に人の手で育てられた森林である。生産目的で育てられたのにも関わらず、伐採せずそこにある木と土地は放置されている。



1-3 天然林から公益を得る

森林は本来かん養機能や環境保全機能などの公益の機能をもたらしてくれる。だが、放置林はこれらの公益を得られず悪影響をもたらす。今こそ私たちは放置林を生みだせる天然林に還らせ、本来あった森林の姿に戻すべきである。そして、この問題の発端の一つである建築でできた負の遺産を消滅すべきである。



02. 放置された人工林は暮らしを脅かす

2-1 曖昧になる境界線

日本では街と森林の間に境界線として人工林が敷かれている場合が多い。元来、森林を家と分ける野生鳥獣は天然林から供給された餌などを餌とする。だが、放置林に変えられた土地は餌がなくなり家と森林を近づける。結果、現在人里に降りてきて農作物や人身に被害が日本全国で発生している。放置林は人と野生鳥獣の境界線を曖昧にしている要因になっている。



2-2 農地と鳥獣を分ける電気柵

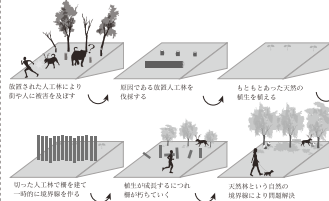
鳥獣被害対策として電気柵が一般に普及している。電気柵は常に電気が流れている状態であると、鳥獣に対して効果は非常に高く被害を軽減できる。しかし、日常的な管理が必要であり、点検や修繕など常に万全の状態でない電気柵は効果を発揮しない。また、初期費用や電線・電気設備などを保有者が負担することが多く、電気柵を使わなければならない人々に負担ののしかかっている。



03. 提案

3-1 天然林の境界線

放置された人工林を伐採して新たに天然林を育成し、天然林を街と山を分ける境界線として活用する。天然林を育成している間に人工林を活用した柵を放置林が樹立していた土地に建てる。その柵により一時的に境界線を作り、人と野生鳥獣の視界を明確にする。そして、長い時間をかけて天然林が樹立したとき人工の境界線から天然の境界線へと変化する。その過程を見守った柵は役目を果たして朽ちていき、自然へと還っていく。



3-2 境界線で学ぶ・触れる

柵を作り境界線を明確にした一方、森林と人との関係を断絶させてしまう。そこで、柵に遊歩道や森林管理用、資料館、ハードウォッシングなどの付加価値をもたせ、森林に触れる機会を増やすように促す。また、森林に住んでいる鳥獣の山の特性を理解する学びを両立させることで森林と人との関係を維持していく。



3-3 街と森林を分ける柵

山は起伏が多く曲線が多い地形である。また、山に横切クマやサルなどは高い場所に登る習性がある。そのため、従来の柵やフェンスは本提案では不適切であると考え、柵の部材を曲線的で縦材を使用して各部材の角度と長さを変えながら山の地形に調和しながら鳥獣の干渉を受けない設計を行う。

3-4 天然の境界線に変えるメリット  
天然の境界線を引くことで人と鳥獣との境界線が明確になる。そうすることで、今ある農作物や人身への被害を軽減しながら、電気柵にかかる費用を抑えることができ利用者への負担を減らす。また、天然の柵の利用は電気などのエネルギー消費を抑え、人工的な柵から逸脱させる。

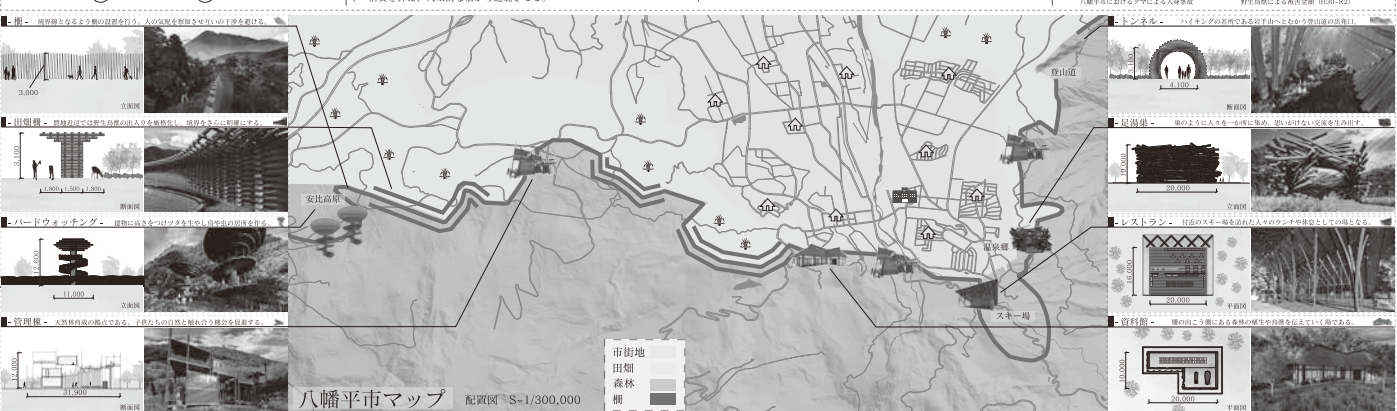
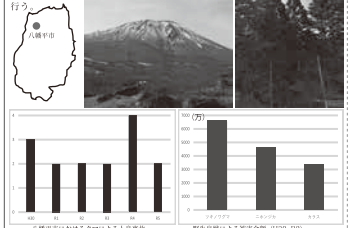
3-5 地域から全国に

放置林は日本全国に点在する。本提案は日本各地にある放置林に少しずつ拡大していき、放置されている日本の問題の解決策への一手を投じる。地域の特性や植生を把握して地域にあったアプローチを行う。本提案では岩手県八幡平市を選定する。



3-6 岩手県八幡平市

八幡平市は岩手県の中でも農作物・人身ともに被害が多く出ている地域である。地理を見てもと森林と街を分けるのは人工林であり、その多くが放置林である。そのため、柵を求めて街に降りてきた野生鳥獣が被害をもたらしている。この地域に天然の境界線を作る、地域の特性にあったアプローチを行う。



門谷采実・金井和奏  
・中島啓太・中村光佑

## ■コンセプト

津波によって甚大な被害が想定される高知県日高村に被災者のための仮設住宅を“備築”する建築を提案する。文化、教育、行政、体験学習を取り入れた地域センターに災害時にはいち早く仮設住宅となる備蓄があることで、通常時は住民の利便性の向上、災害時避難先の確保、情報伝達の円滑化を担う。災害時に展開される仮設住宅のフレーム・接合方法・間取りの設計

も行った。これらは地域センターを取り囲むように設置され、震災時にはフレームごと解体することで仮設住宅として展開する。この仮設住宅はセルフビルドが可能で、工期短縮と入居者それぞれのライフスタイルや家族構成に合わせたカスタマイズ・増築を可能にする。避難生活が進む中でも仮設住宅の姿が変化し、この過程において地域住民と被災者の交流が増えていく。敷地に隣接する林で林業を行う拠点としての用途を持つことで備蓄に必要な木材の調達、日高村の発展につながることを考える。地域に根付いた施設を避難生活の拠点とすることでコミュニティ形成の基盤をも備える“備築”となる。

## ■講評

建築学会コンペ「環境と建築」の提案である。このコンペでは、何が求められている環境で、そこの中で建築がどうあるべきかが問われている。本提案は、環境を未来と捉えている。将来、起こりうる巨大な地震とそれに伴う津波による災害が訪れるはずであり、その未来の環境を想定している。ではそこで求められている建築は何か？

東日本大震災を見るまでもなく、災害後に必要なものは、安定した生活環境である。それらすべてをあらかじめ用意するのは市民生活において二重の負担となり、費用的にも空間的にも不可能である。しかしながら、未来の環境はそれを欲するのが見えている。そ

こで本提案は、現在の公共建築の中に未来に使えるような要素をあらかじめ組み込んで作っておくというものである。具体的には、高知県にある放置林を利用して、三角形のテント状の構造物を作成しておき、それを公民館などに遊具やベンチなどとして一般利用のためにしておくことである。災害時には、これらを利用して仮設住宅を素早く提供する。

災害に対する問題意識としては大変よくわかる話ではあるが、災害の規模に対してはあまりにも細やかな対応である。しかしながら、つい陥りがちなイマ、ココ、オレ、だけでないイツカ、ドコカ、ダレカの目線があるということは大変素晴らしい。（佐藤信治）

## 備築

- 蓄え、展開するくらし -

津波によって甚大な被害が想定される高知県に被災者のための仮設住宅を“備築”する建築を提案する。  
逸早く仮設住宅を展開するためのフレームを地域センターに備える。  
セルフビルドによって仮設住宅の工期短縮と自由な増築を可能にすることで、避難の負担を減らし多様な生活様式を生む。  
平常時の施設は利便性の向上、産業の活性化に繋がる。  
地域に根付いた施設を拠点とすることでコミュニティ形成の基盤をも備える“備築”となる。



川名神威・小松直純・谷原功祐  
・大橋賢志郎・佐藤安純

## ■コンセプト

先端技術を駆使した飲食店、自動船舶による水上交通やドローン技術の活用により、荒川ロックゲートに近未来の空間をつくり出す。

防災学習により小中学生を、先端技術の展示やイベント開催により企業を、水辺の飲食店により地域住民の集客を誘導し、荒川ロックゲートに地域拠点を形成する。昼間は地域住民や小中学

生の交流、夜間は企業間の技術交流を促し、時間帯に応じた来訪ターゲットを分ける。今後実用化が予想される技術（eVTOL など）の実証実験を展開する場としても位置付け、地域拠点を「未来拠点」として、近未来の社会を見出す場として計画する。

## ■講評

今年度の課題テーマは「荒川ロックゲートとその周辺地域の多機能化の提案」と題して、日常生活の中では意識することがほとんどない土木構造物である「ロックゲート」を地域のシンボ

ルとして捉え、江戸時代には塩の道として舟運で賑わいを見せていた本計画地に、都市防災や規制緩和による河川空間の新たな賑わい拠点の創出を目指し、現代的な河川空間の活用方策を求めたものである。

本作品では、計画地周辺での日中の活動人口に比べ夜間の活動人口がほとんどないことや、計画地のシンボルである荒川ロックゲートには、来訪者を滞留させるような要素がなく、さらに最寄り駅からのアクセスの悪さを課題点として捉えている。また当該計画地が有するポテンシャルの抽出においては、居住地域から計画地までの距離を逆に取り、通常では居住地域への配慮が必要とされる「光」や「音」とい

った環境要素を、積極的に提案の中に活かしている。さらにロックゲート左右両岸の階段状部分を客席、水面をステージとして捉えることにより、地味な存在のロックゲートにエンターテインメント性を付加させる等、計画地周辺の地域分析として高く評価できる。

また荒川という地の利を活かし、小名木川から隅田川、荒川から御台場までの水上交通網による観光客の誘致等、新たな舟運の活用を模索し提案していることも秀逸であるといえる。

計画地全体のゾーニングや施設計画も論理的に構成されており、図面の表現力の高さや建築計画的な視点から見ても、本作品は非常に完成度の高い優れた作品であるといえる。（山本和清）

# A.L Station

## 水上交通と先進的活用による地域充実化の提案

AI 化の促進における先進的な科学技術などの学習、情報共有の場として  
荒川ロックゲートに近未来を創出する



## 1, A.L Center



荒川ロックゲートの管理棟横に増設し水上交通の受付や待合室、観光案内を行う場として利用。本計画地の中心となる施設。  
また、日中にはカフェを営業し通行者の憩いの場として利用。

## 3, A.L Terrace



夜間の緊急時は強い光を放つ。昼間の活用は、ロックゲート内部のテラスとして利用できる。  
夜の活用は、お酒が飲める Bar として利用でき、ドローンでの投影や水上ステージの活用ができる。

## 5, A.L EventBase



民間企業と連携し、イベントの誘致、先端技術の展示などが行える。イベント時にはライブ会場としても使える。  
朝は周辺住民が利用できるように使用。

## 2, A.L Garden



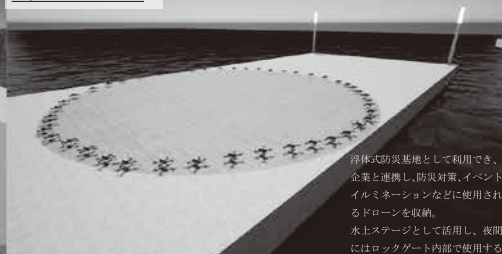
管理棟前面に水上でも通航可能な座敷を配置。背後にキッチンカーを配置し、水辺空間でのゆったりとした時間を過ごせる。また、夜間は多くの企業の交流の場としても利用される。

## 4, A.L Future



未来学習センターでは先端技術を学ぶことができ、小中学生の学習ルートとしても利用される。  
展示室では先進的なものの展示や企業間での先端技術の情報共有などを行える。

## 6, A.L Float



浮体式防災基地として利用でき、企業と連携し、防災対策、イベント、イルミネーションなどに使用されるドローンを収納。  
水上ステージとして活用し、夜間にはロックゲート内部で使用する。

石田大誠・今市尚大・川上真平  
・鈴木陽斗・樽谷英俊

#### ■コンセプト

本計画では「運動不足の解消」「水上アクティビティの普及」をコンセプトとした複合型スポーツ施設とした。

施設名「SWASH」とは、波が立てるザブンという音を意味しており、荒川ロックゲートとともにまちのシンボルとなるようなネーミングにした。本計画は、スポーツジムやレッスンスタジオなどの屋内スポーツ施設、バス

ケットボール、スケートボードといった屋外スポーツ場、水遊び場や水上アスレチックといったファミリー向け施設、水上交通施設で構成されている。

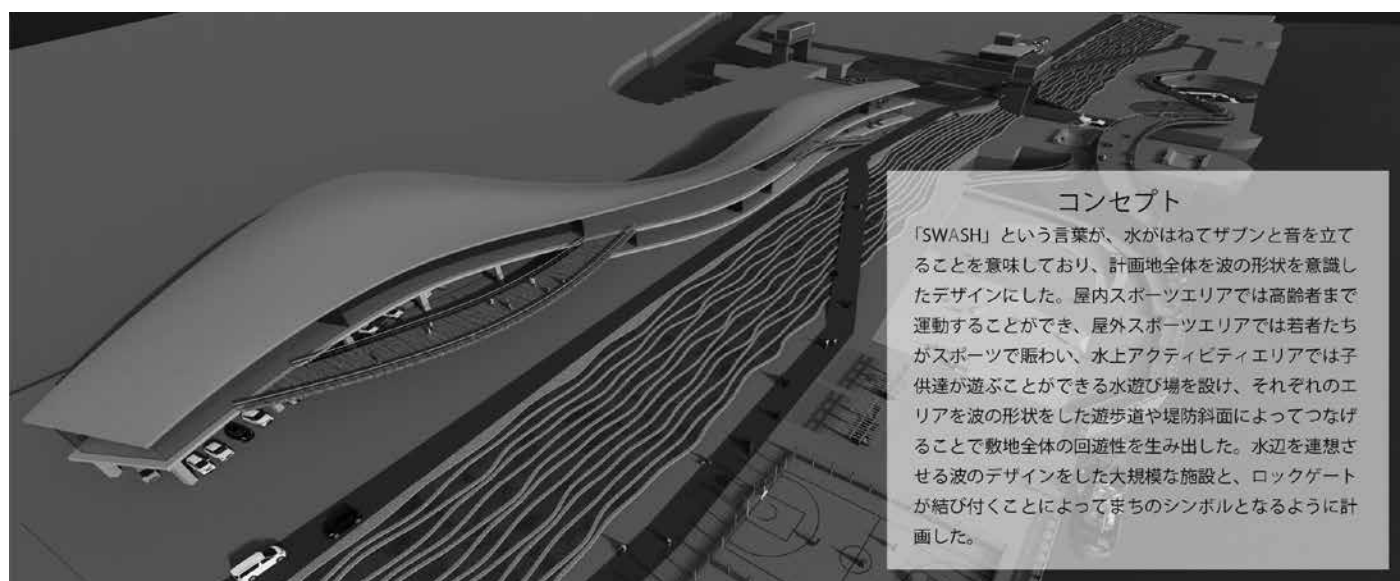
閘門で挟まれた水面ではサイドの護岸を階段状に整備することで、SUPの乗り降りが容易にできるようにした。そして江東内部河川での水上アクティビティと連動することで、水上アクティビティの普及につながる。屋内スポーツ施設は形状を曲線的にし、飲食店やキッズスペースを設けることで日常的な利用頻度を向上させる。また、堤防斜面は、波打つ階段状に整備することで、屋外スポーツ場で開催しているイベント等を観戦できるようにした。屋外スポーツ場と水遊び場をつなげる

橋は、波の形を模した形状とすることで、計画地全体で波を連想させ、回遊性を高めた。

#### ■講評

都市河川の市民開放に向けた施策が展開されはじめた昨今、都市生活者の余暇活動のひとつとして、日常的な水辺・水上での多様なアクティビティを受け入れる拠点が求められている。本提案は、荒川ロックゲートを地域シンボルとして位置付けた上で、SUP、カヌー、水上アスレチック等の「水」に特化したアクティビティや水辺での日常的な運動を促す地域拠点を提案し

ている。水面をモチーフとした建築およびランドスケープの有機的なデザインは、水がゆっくりと流れ広がるように、来訪者の動きや混ざり合う滞留活動を促すであろう。本提案は荒川の河川敷（ひいては全国の河川敷）の均質化した利用行動・行為に対して新たな水辺の価値を発信するものであり、荒川ロックゲートにとっては、歴史的・機能的価値にとどまらない、新たな東京の水辺のシンボルとして再認識されるきっかけにつながる可能性がある。そのためには、東京の水辺に点在する多様な資源をていねいに分析し、それらをネットワーク化させる仕組みのための俯瞰的な視点による提案も重要となる。（菅原 遼）



#### コンセプト

「SWASH」という言葉が、水がはねてザブンと音を立てることを意味しており、計画地全体を波の形状を意識したデザインにした。屋内スポーツエリアでは高齢者まで運動することができ、屋外スポーツエリアでは若者たちがスポーツで賑わい、水上アクティビティエリアでは子供達が遊ぶことができる水遊び場を設け、それぞれのエリアを波の形状をした遊歩道や堤防斜面によってつなげることで敷地全体の回遊性を生み出した。水辺を連想させる波のデザインをした大規模な施設と、ロックゲートが結び付くことによってまちのシンボルとなるように計画した。

ザブンという音を意味する

# SWASH

S : Sport  
W : Water  
A : Arakawa  
S : Ship  
H : Health



スケートパーク



水上アスレチック

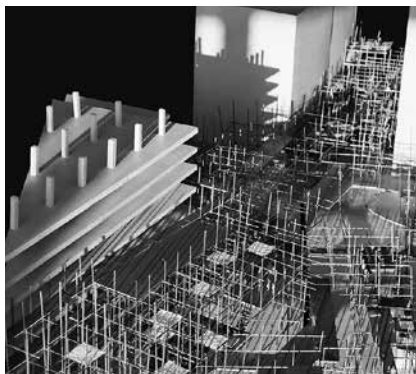
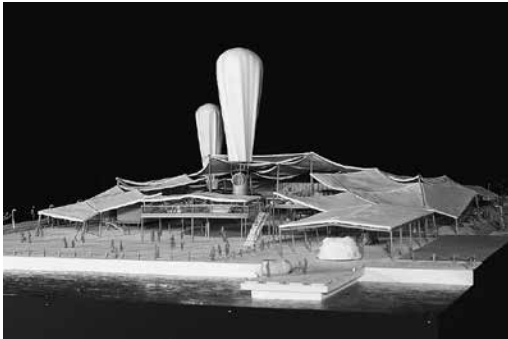


スタジオ



屋外スポーツ施設

【担当】 佐藤 信治  
小林 直明



近年、世界的に大きく注目され、人類の未来を切り開く宇宙開発。日本の宇宙産業を考えるにあたって開発のポテンシャルを持つ離島に高高度気球を使用した宇宙港を設計する。離島は本土から距離があり、海を渡るため資材の輸送にはコストがかかってしまい、開発の大きな障害となる。そこで、小さい状態で物資を運び到着したら大きな空間を作ることができるという宇宙への輸送技術を活かした建築、設計手法を提案する。今後、衰退し輸送力の低下も予想される離島にこの技術を活かした建築を提案することで、離島のポテンシャルを最大限引き出し、宇宙産業の発展、新たな建築空間を作り出す。離島建築の新たなモデルとなり、

未来を担っていく。

## 01 宇宙産業が持つ可能性

## 01-1 遅れをとる日本の宇宙産業

世界的に注目される宇宙産業であるが、日本では衛星を運ぶロケットや発射場の不足により海外諸国と比較し、生産高は横ばいで伸び悩み、遅れをとっている。

## 01-2 宇宙開発に適した離島

宇宙開発を行うには発射後の安全面を考慮し、海の近くで開発を行うのが理想である。日本には離島が多く存在し、宇宙開発を行うには適した土地性を持つ。

## 02 さまざまな問題を抱える日本の離島

## 02-1 衰退していく離島

日本に存在する有人島の9割以上で

過疎化が進行している。また、資材輸送にコストがかかり、経済発展しにくいという問題を抱えている。

## 02-2 離島を結ぶ海底ケーブル

離島との通信は海底ケーブルをとおり行われているが、高額な維持管理費の発生や漁船による切断等の問題が起こっているため、海底ケーブルに頼らない新たな通信インフラの確保が必要である。

## 03 宇宙への輸送技術を離島に活用した建築形態

宇宙へ資材を運ぶ際、輸送量に限りがあるため、モノをできるだけ小さい状態で運ぶ必要がある。離島は本土よりも距離があり、海を渡るため、物資を輸送するのに宇宙と同様に限りが

浅井駿来

# 絶海の未来航路

- 宇宙輸送技術を活用した離島型宇宙港の提案 -

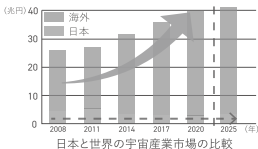
近年、世界的に大きく注目され、人類の未来を切り開く宇宙開発。日本の宇宙産業を考えるにあたって開発のポテンシャルを持つ離島に高高度気球を使用した宇宙港を設計する。資材の輸送にコストがかかってしまう離島に膜構造、風船式建材といった伸縮性の高い部材を用いる宇宙輸送技術を活用した建築・設計手法を提案することで、今後更なる衰退が予想される離島のポテンシャルを最大限に引き出し、宇宙産業の発展、新たな建築空間を作り出す。離島建築のモデルとなり、未来を担っていく。



## 宇宙産業が持つ可能性

## -Background-

### 遅れをとる日本の宇宙産業



日本と世界の宇宙産業市場の比較

世界的に注目される宇宙産業であるが、日本では衛星を運ぶロケットや射場の不足により海外諸国と比較し、遅れをとっている。

### 宇宙開発に適した離島

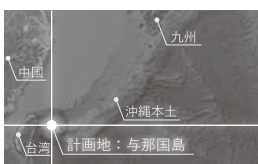


日本には416の有人島が存在する

宇宙開発を行うには発射後の安全面を考慮し、海の近くが理想である。日本には離島が多くあり、宇宙開発に適している。

## 日本最西端の地にある絶海の島

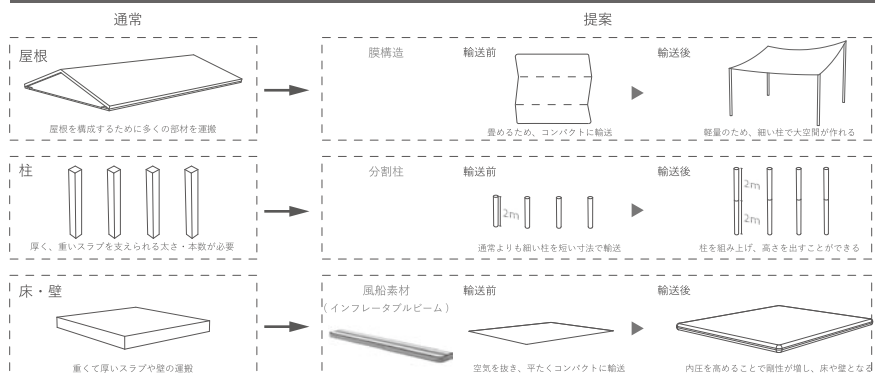
## -Site-



離島型宇宙港のモデル、ケーススタディとして沖縄県の与那国島を選定した。農業と観光を主産業とし、周辺には中国や台湾など海外諸国も点在している。中国船による海底ケーブルの切断や盗聴器の設置という問題が特に問題視されている島である。

## 宇宙への輸送技術を離島に活用した建築形態

## -Concept-



宇宙へ資材を運ぶ際、輸送量に限りがあるため、モノをできるだけ小さい状態で運ぶ必要がある。離島は本土よりも距離があり、海を渡るため、物資を輸送するのは宇宙と同様に限りがあ。今後、衰退し輸送力も低下することが予想される離島に宇宙への資材輸送の技術が活かせる。宇宙輸送の技術を地球に逆輸入することで、離島に活かした新たな建築空間が生まれ、離島建築の未来をも担っていく。

ある。今後、衰退し輸送力も低下することが予想される離島に宇宙への資材輸送の技術が活かせると考える。宇宙輸送の技術を地球に逆輸入することで、離島を活かした新たな建築空間が生まれ、離島建築の未来をも担っていく。

#### 04 高高度気球を用いた 離島のインフラと観光の拠点

ロケットや発射場が不足している問題に対応し、高高度気球を用いたインフラと観光拠点を提案する。気球はロケットよりもはるかに低コストで宇宙開発が可能になる。気球を利用することで通信や低価格での宇宙旅行、気球からのロケット発射などさまざまなインフラや観光の拠点として機能する。宇宙開発が進むことで生活がより便利

に豊かに変化していく。

#### 05 日本の最西端にある絶海の島

##### 05-1 沖縄県与那国島

離島型宇宙港のモデル、ケーススタディとして日本最西端の場所に位置する沖縄県の与那国島を敷地として選定した。農業と観光を主産業とし、周辺には中国や台湾など海外諸国も点在している。最近では、中国船による海底ケーブルの切断や盗聴器の設置という問題がとくに問題視されている島である。

##### 05-2 風配図による決定

気球は風に乗って浮遊し、その方向に民家や山、飛行機の航路などがあるのを避ける必要がある。与那国島の風配図から、年間をとって北からの風

が多いと読み取り、気球の航路が確保できる海に面した島内の南側を敷地とした。

#### 06 宇宙技術を活かした設計

##### 06-1 工事、設計の公共化に寄与する 増減可能な離島型建築

軽量の膜と細い柱を使用するため、利用者の変化等に合わせて増減が可能となる。柱は重機がなくても人が扱えるサイズとすることで誰でも増減が可能となり、工事、設計の公共化に寄与する。今後の離島に適應する宇宙技術を活かした建築空間となる。

##### 06-2 膜で緩やかに区切られる内と外

内と外は透明な膜で緩やかに区切られ、膜で作られた軒が人々の居場所をつくる。

#### 06-3 風船素材で構成される空間

吊られた風船素材が空間を分ける新たな建築空間となる。

#### 06-4 環境負荷軽減装置として機能する膜屋根

膜屋根は日射抑制を行い、やわらかな明るさを内部へと届けることで照明利用が削減される。膜の下の大空間は風の通り道になることで、自然エネルギーの活用につながる。

#### 07 離島の未来にむけて

現在日本には416の有人島が存在しているがその9割以上で過疎化が進行している。離島は日本の経済水域や海洋資源を守る役割も担っている。宇宙の技術を活かした建築が離島の新たなモデルとなり、離島、そして日本を守ることにつながる。

2023年度桜建賞 受賞

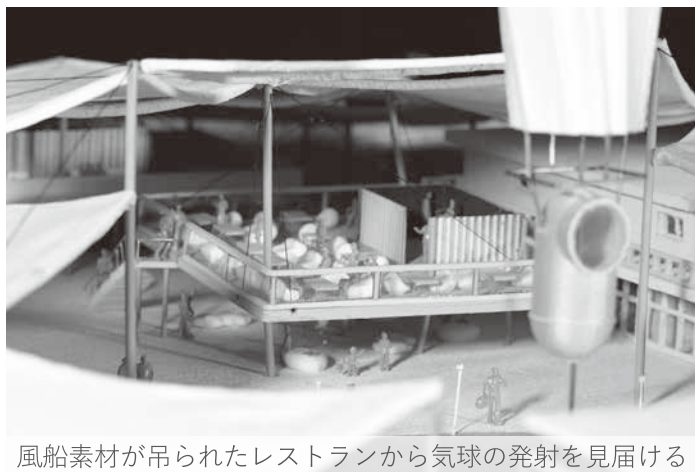
第36回千葉県建築学生賞 特別賞 / JIA 全国卒業設計コンクール2023 出展



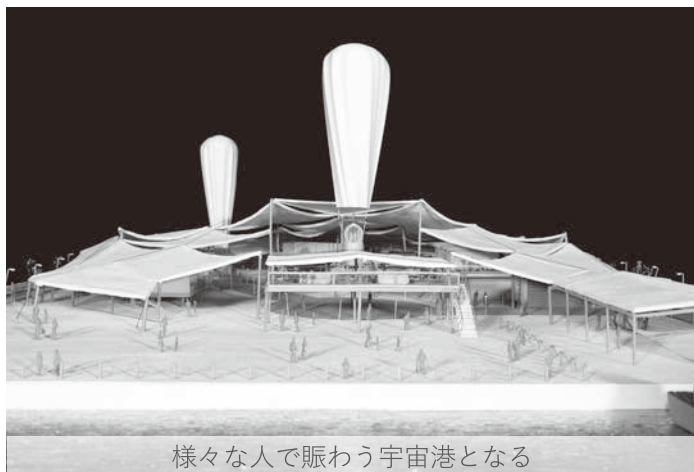
周囲から気球回収の様子が見学可能となる



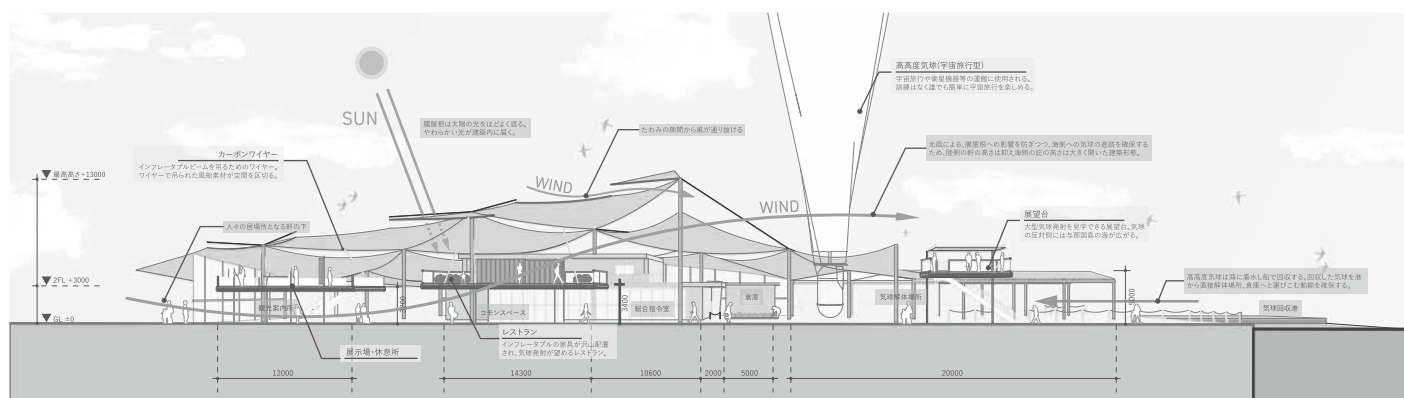
海から回収した気球の解体を行う



風船素材が吊られたレストランから気球の発射を見届ける



様々な人で賑わう宇宙港となる



広大な敷地に佇む製鉄所は、街のラ

私たちが日々使用している日用品、移動手段には欠かせない自動車、そして建築資材など、世の中のあらゆるものに鉄は使用されている。鉄は文明の礎として、古代から必要な道具として使われていた。経済が発展し産業革命が起きると、人々は高炉を用いて大量の鉄を製造することに成功した。鉄は人類にとって必要不可欠な資材であり、

世界から失われつつある製鉄所を水素を使って再建し、  
排出される水によって製鉄所に人を引き込む建築を提案する。

## Society



製鉄所で製造された鋼材を用いて建築空間を構成する。  
鋼材をあえて露出した意匠を施すことで、鉄が生活を支えて  
いることを示し、生活と製品の親和性を高める。

ンドマークとしてその街の経済を支えてきた存在であるが、その実態は「鉄を作っている」というだけで、製鉄の工程や仕組みについてはあまり知られていない。製鉄所はブラックボックス化され、中身を明かされないまま街から失われていく。

製鉄産業の衰退が進む中、水素による製鉄技術が世界で注目されている。従来の製鉄では鉄を1トン生成するために2トンもの二酸化炭素が発生してしまうことが問題視されている。石炭の代わりに水素を使用し鉄鉱石を反応させることで、二酸化炭素の排出を抑えて鉄を生み出すことができる。この技術を利用し、再び高炉を稼働させていく。

水素製鉄では石炭を使用せずに製鉄を行うため、二酸化炭素の代わりに水が排出される。この水を利用し、ブラックボックス化された製鉄所を開き、街のシンボルとして鉄の価値を再認識させる新たな製鉄所へとリノベーションを行う。

神奈川県川崎市扇島地区に位置するJFE スチール東日本製鉄所内の第二高炉を計画敷地とする。ここは製鉄所撤退後、水素拠点の開発予定地として注目されている敷地である。社会からの注目が集まった製鉄所をケーススタディの第一拠点として稼働していく。

産業の空洞化によって衰退する製鉄所に排水水を用いた公共施設を導入することで、水と触れ合いながら製鉄を

感じ、ブラックボックス化した街のシンボルを開くことができる。水素製鉄によって高炉は街に開いた公共施設へと変化する。

高炉からは排水水以外にも余熱や高炉スラグが発生する。余熱を利用した銭湯、高炉スラグを肥料として使用する農地などを計画する。

高炉に最も近い上層部には比較的高温の余熱を利用する銭湯やレストランを設け、中層部には温室栽培所や宿泊施設を設けることで程よい温度を保つことができる。低層部には高炉スラグの排出場を設ける。鉄分を豊富に含んだ高炉スラグを肥料として利用することのできる農地を設ける。比較的大きな農地は企業用農地として製鉄所が管

理運営する。小さな農地は一般来客者が利用できる賃貸農地として機能する。農業を返したコミュニティにより、今まで閉ざされていた製鉄所を公共的製鉄所として街に開放する。

製鉄所内で製造された鋼材を用いて建築を作る。鋼材をあえて露出した意匠を施すことで、鉄が生活を支えていることを示し、生活と製鉄の親和性を深める。

水素による公共的製鉄所として注目を浴びたこの建築は、川崎にとどまらず、全国各地の製鉄所にも広がっていく。高炉を街に開き、製鉄と生活が共生することで、文明の礎としての鉄の価値を再認識する。そして鉄はこれからも必要な資材としてあり続ける。



ゆく現代の都市開発の在り方に対し、それぞれの土地の持つ文化を持ち合わせた建築が成されることが大切だと感じます。

そんな私の暮らす街、行徳はかつて海と川に挟まれた水域環境に富む土地であり、江戸湾岸における塩、海苔の産地として栄え、隣接する旧江戸川は江戸へ塩を運ぶための水路としても利用されました。しかし現在は、区画整理がされて人口が増加したことに伴い街の安全が求められる様になった結果、水域の繁栄が失われ、どこと変わらないベッドタウンの風景となってしまいました。

この要因として、水域との関係を遠ざけることになった土木構造物に人々

の愛が込められていないからではないかと考えられます。これを改善するために、行徳に今も残り続けている木工技術の生業を基に、寄生という手法を用いて抜け殻となった土木構造物に生業を宿します。寄生を建築的思考で解釈すると、寄生する要素が宿主である構造物の機能に依存することでかつての記憶を保管しながら、新しい生業を生むことです。したがって、この手法は行徳の風景が失われてしまった背景を残しながら、昔この場所にあった活気を取り戻すきっかけを生み出すことができます。

今回はその寄生源として、今も行徳に残り続ける生業である神輿やべか舟に用いられる木工技術の生業を基に、

行徳が失ってしまったアイデンティティの再生を試みます。

これらの手法によって新たに变化する土木構造物の用途として、木工船の造船所を計画します。水閘門の機能に依存しながら行われるべか舟の製造は、機械化された水域を行徳の生業を通じてわれわれが馴染みやすいものに変えてくれます。したがって、この場所で造られるべか舟は水域に再び活気をもたらし、行徳の風景を取り戻す、大きな役割を担うことが期待できます。行徳の文化で覆われた土木構造物は、次第にかつてあった水域とここで暮らす人々の生活が結び付き、人々に愛される場所へと変化していくのではないだろうか。

## 八阪柊吾

主要都市に中枢機能が集中している現代において、その近郊は人々が暮らすために区画整理が行われ多数の住宅が並び風景が見られるようになりました。私はこの都市周辺の街が整備されて、均一化された平凡な風景に変わり

第36回千葉県建築学生賞 JSCA千葉・構造デザイン特別賞



## 樋口大雅

日本の国土面積は世界63位であり、他国と比べて国土が狭く資源が乏しい。そのため東京では、人口一極集中によってさまざまな問題が生み出ている。しかし、海洋面積は世界6位であり、日本にとって海は非常に重要な価値を持っている。本提案は東京湾上に海上都市を計画し、土地利用の制約を克服するとともに、海水の蒸留を利用した水循環を用いて、人口一極集中によって顕在化する自給率問題・水質問題

題の解決を目指す。

## 01 東京一極集中によって顕在化する問題

東京圏の人口が総人口に占める割合をみると、1950年には15.5%であったが、1990年には25%を超え、国民の4人に1人が東京圏に暮らす状態になった。以降も東京圏への人口の集中は続き、2019年には29.1%と総人口の3割近い人々が東京圏で生活を送る。それに伴い複数の問題が顕在化している。

## 02 海上都市による首都圏の拡張

現代社会における土地利用の制約を克服するために、本提案は将来的に東京湾全体に広げる海上都市群の第一区となる都市を計画する。生活領域を拡張し、海上における新たな都市の在り方を提案する。その中で海水に着目し

た新たな水循環を創り出す。地球上に存在する水のうち、97.5%を海水が占めており、私たちの生活に使われるような河川などの水は全体の0.02%ほどしかない。この実質無限に存在する海水という資源を都市に循環させ、東京の自給率問題、東京湾の負のスパイラルの問題解決にアプローチする。

## 03 計画敷地

具体的な計画敷地として、東京湾の中央部を横断する東京湾アクアラインと接続し、陸上と海上の双方から接続可能な海はたるの北側の海上を考える。かつての東京湾は水産業なども盛んであったが、高度経済期の水質汚染などの影響で、1960年から漁獲量が1/10ほどになるなど、深刻な水質問題を抱え

ている。

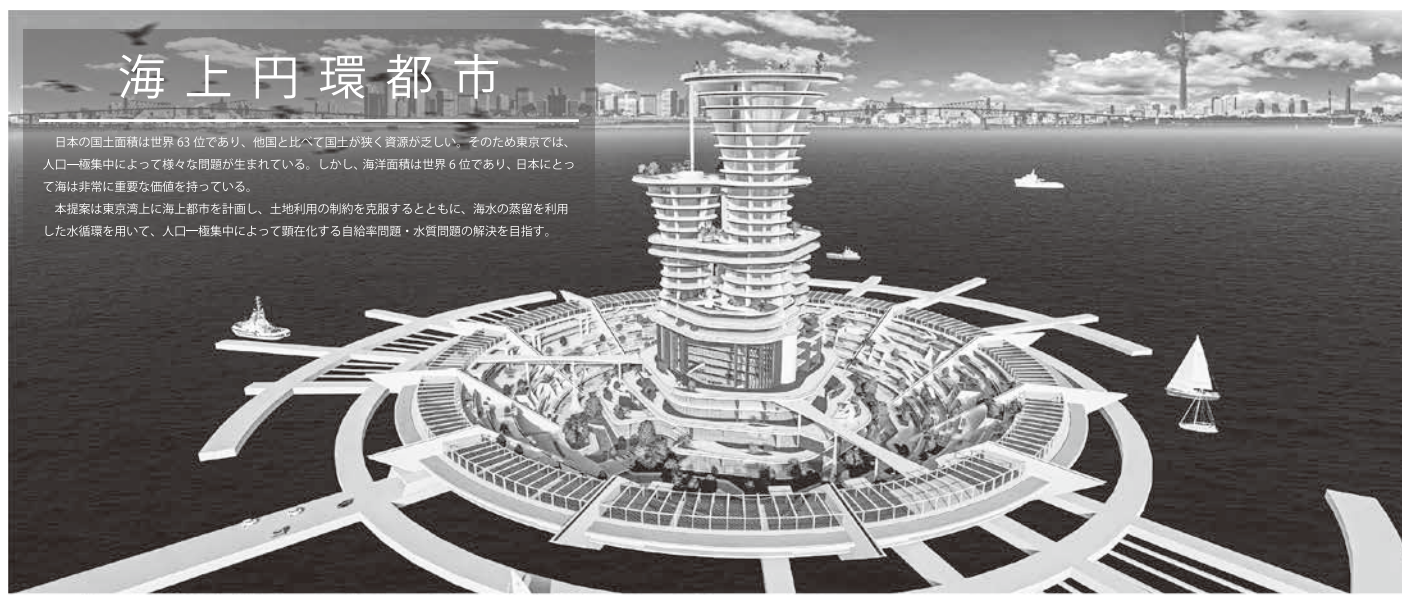
## 04 都市の核となる水循環

自然の中で海水は太陽の熱で蒸発し、やがて雨となって川から海に流れ出る。この自然の水循環に着目し、建築の中で管理、操作することでさまざまな付加価値を生み出す。これにより自然に近い形で環境の負荷が少ない自給システムを確立する。具体的には、蒸留装置を核とした水循環を創り出す。蒸留装置で海水が不純物と分離されて水蒸気となり、蒸気タービンにより発電されながら上昇する。その後冷却器によって復水した淡水が、流れ落ちるように都市全体に生活用水を巡らせ、親水空間を生み出す。きれいな水はやがて海に流れ出ることで水質改善を行う。

## 海上円環都市

日本の国土面積は世界63位であり、他国と比べて国土が狭く資源が乏しい。そのため東京では、人口一極集中によって様々な問題が生み出ている。しかし、海洋面積は世界6位であり、日本にとって海は非常に重要な価値を持っている。

本提案は東京湾上に海上都市を計画し、土地利用の制約を克服するとともに、海水の蒸留を利用した水循環を用いて、人口一極集中によって顕在化する自給率問題・水質問題の解決を目指す。

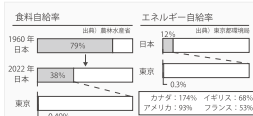


## 01 東京一極集中によって顕在化する問題



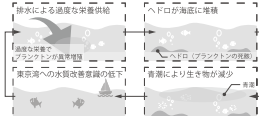
東京圏の人口が総人口に占める割合をみると、1950年には15.5%であったが、1990年には25%を超え、国民の4人に1人が東京圏に暮らす状態になった。以降も東京圏への人口の集中は続き、2019年には29.1%と総人口の3割近い人々が東京圏で生活を送る。それに伴い複数の問題が顕在化している。

## 01-1. 自給率の低下



東京圏は、食料およびエネルギーの自給率が最も低く、この自給率の低下は、食料安全保障の脆弱化、輸送に伴う二酸化炭素排出の増加といった、多岐にわたる問題を引き起こしている。

## 01-2. 東京湾に起こる負のスパイラル



東京湾は一極集中による過度な排水によって大きな悪循環を生み出している。1960年以降「負のスパイラル」を断ち切り、新たな好循環を生み出す必要がある。

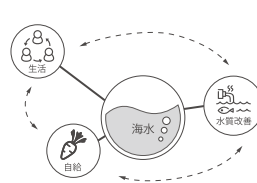
## 02 海上都市による首都圏の拡張

## 02-1. 生活領域を東京湾への拡張



現代社会における土地利用の制約を克服するために、東京湾に新たな海上都市を広げる。本提案は将来的に東京湾全体に広がる海上都市群の第一区となる都市を計画する。

## 02-2. 海水を用いた水循環都市の提案



地球上に存在する水のうち、97.5%を海水が占めている。この海水という無限資源を都市に循環させ、東京の自給率問題、東京湾の負のスパイラルの問題解決にアプローチする。

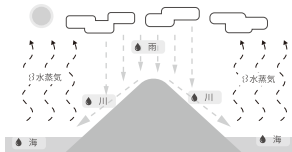
## 03 計画敷地：東京湾



計画敷地として、東京湾アクアラインと接続し、陸上と海上の双方から接続可能な海はたるの北側の海上を考える。東京湾は水質汚染などの影響で、1960年から漁獲量が1/10ほどになるなど、深刻な水質問題を抱えている。

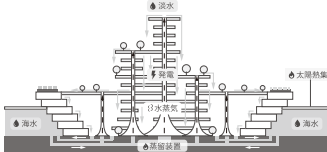
## 04 都市の核となる水循環

## 04-1. 自然の水循環



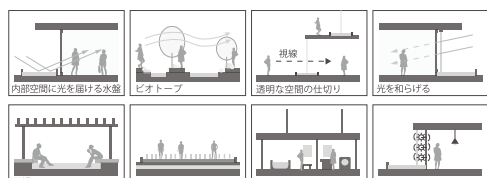
自然の中で海水は太陽の熱で蒸発し、雨となって川から海に流れ出る。この自然の水循環に着目し、建築の中で管理・操作することで付加価値を生み、自然に近い形で環境の負荷が少ない自給システムを確立する。

## 04-2. 蒸留を用いた循環



蒸留装置を核とした水循環を創り出す。蒸留装置で海水が不純物と分離されて水蒸気となり、蒸気タービンにより発電されながら上昇する。その後冷却器によって復水した淡水が、流れ落ちるように都市全体に生活用水を巡らせ、親水空間を生み出す。きれいな水はやがて海に流れ出ることで水質改善を行う。

## 05 流れ落ち分岐していく水の利用



蒸留装置によって上部まで運ばれた水蒸気は淡水化され流れ落ちる。その流れ落ちる過程の中で、水は分岐分岐を繰り返して、多様な用途で利用される。やがて分岐を繰り返した水は海へ流れ落ち、もう一度蒸留によって都市内を循環する。

## 藍野友輝

多様化する社会に適用するために、従来の価値観を改めなければならぬ時代となりつつある今、それはトイレの在り方にまで影響を及ぼしている。「The Tokyo Toilet」では多様性を受け入れる社会の実現を目的に性別、年齢、障害を問わず誰もが利用で

きる公共トイレを渋谷区内に設置するプロジェクトが実施された。さまざまな場所でトイレの可能性について議論される。目まぐるしく変化する世の中においてさまざまな視点から考え直される「トイレ」を起点に都市構造を再解釈することで都市に新たな価値を見出すことはできないだろうか。トイレ的観点で都市を再考することは言い換えれば都市の余剰物を受け止める「トイレ」のような受け皿的建築をすることであり、それらは行き場を失ったゴミたちの新しい使われ方を提示すること、今の都市空間に欠如している都市の喧騒から逃れる場をつくることである。また男性トイレ・女性トイレが当たり前といった世の中の固定観念を捨

て去り更新することを目的としている。歌舞伎町は昔から今日まで多様な人種を受け入れる懐の深い街である。2023年には「東急歌舞伎町タワー」が建設された。多様性を認めるこの町に試験的に設置されたこれからの新しいトイレ「ジェンダーレストイレ」は開始6カ月で廃止された。トイレ事業で失敗に終わった歌舞伎町で本来この町に必要なトイレの在り方とはどのようなものだったのか。街の実態を調査、分析を行い歌舞伎町にてトイレ的観点で人々の多様な排泄を受け止める新しい意味のトイレ的建築をこの地で試みる。設計に先立ち、トイレにおける「排泄物」への解釈を広げた視点から歌舞伎町に存在する排泄物を収集する。排泄

物は目に見えるもの見えないもの限らずその痕跡までも収集の対象とする。前項の調査によって、得られた物から分析対象を選別する。S-手のひらサイズの排泄物、M-家具什器スケールの排泄物、L-建築スケールの排泄物、XL-都市スケールの排泄物、+-人々の排泄行為（ふるまい）とカテゴリーを作成した。収集で得られたカテゴリーの組み合わせで人々の排泄行為を受け止める建築を人々のふるまいを参考に作成する。できた建築を既存の都市空間に寄生させる。私の設計した建築は私たちの考える尿便を受け止めるトイレは一つもない。広義的に人々の排泄行為を考えたとき、見えてきた排泄物を受け止める建築として機能する。



【担当】 佐藤 信治  
小林 直明



# 水運を活用した江戸川区の新庁舎の設計 —防災に特化した庁舎施設の提案—

太田優人

## 1. はじめに

近年、区庁舎や市役所といった地方自治体の公共施設は大きな変化の中にある。かつて City Hall は行政サービスを住民に届ける基本的な機能が主体であったが、現在ではその要求は多様で高度なものとなっている。とくに近年の自然災害の増加に伴う防災機能の強化と住民が日常利用できるコミュニケーション機能が必要とされている。

そこで本提案では、防災・交通・文化教育の観点から庁舎を位置付けし、庁舎と防災公園、緊急輸送道路、河川と連携した防災のネットワークを形成することで、水陸両方と連携した地域の防災拠点となる庁舎施設を提案する。

## 2. 計画背景

### 2.1 City Hall の役割と変遷

City Hall (Town Hall) は、公共空間と市民との関わりの条件を定める場所として、中世ヨーロッパから歴史が始まった。その役割は時代とともに進化してきたが、現在の日本において、City Hall は住民が滅多に訪れない場所となり、個人と国家ないしは市区町村との関係性は希薄となっている。近年の技術革新から行政サービスのデジ

タル化が進み、少子高齢化も進行することから、来庁者数はますます減少していくと推察される。このことを受けて、今後長期に渡って誰もが気軽に来庁できる庁舎の在り方について考えることが重要だといえる。

### 2.2 木造住宅密集地域不燃化

関東大震災や戦後復興期さらには高度経済成長期において形成された木造住宅密集地域は、地域の危険度が高く、地震や火災による大きな被害を受けやすいことは周知の事実である。東京都では、これらの地域の改善を進めるため2012年より「木密地域不燃化10年プロジェクト」を立ち上げ、不燃化特区制度などを通じて防災都市まちづくりを推進している。

## 2.3 東京都の水上交通

東京ウォータータクシー(株)は、2016年より東京を「水辺の都」として演出し、道路輸送のみに頼らない多様な交通手段を活性化することによって環境に配慮した国際港湾都市であることを世界的にアピールし、大規模災害の発生時における緊急被災者輸送、陸上交通遮断に対応する連絡交通手段などこまめな舟運機能を発揮し、日本初となる公共交通サービスとして事業展開を進めている。しかし、東京都の水上交通の問題点として、運河の狭さや橋の存在、潮の干満などの物理的な制約や気象条件などによる課題も多い。

## 2.4 京都江戸川区

江戸川区は、徳川家康の関東入りを



## 水運を活用した江戸川区の新庁舎の設計 —防災に特化した庁舎施設の提案—

土木デザインと建築デザインの垣根を超えた橋上建築

## 01

### City Hallの役割の変遷



高度経済成長期に建設された地方自治体の公共施設は大きな変化の時期が訪れている。

## 02

### 交通事情改善・水上交通促進



江戸川区の南北方向の交通事情の問題を受け、水上交通による交通利便性向上を図る。

## 03

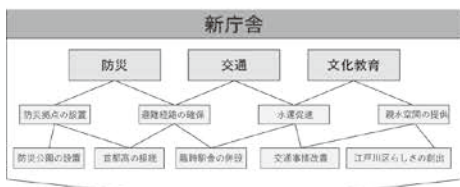
### 住民間コミュニティ向上が図れる場所



多種多様な人びとが集まる船堀地区で災害時の共に助に繋がるコミュニティネットワーク形成を図る。

## 04

### 防災×交通×文化教育=新庁舎



まちの安全と新たな暮らしを提供する庁舎

## 05

### 周辺浸水地域から避難誘導する計画



## 06

### 平面計画・階層構成

| 行政機能     | 諸客室 (単位: m) |         | 区長官舎機能  |
|----------|-------------|---------|---------|
|          | 災害対策        | 日常業務    |         |
| 総務室      | 995         | 災害対策会議室 | 1000    |
| 企画室・区長官舎 | 150         | 災害対策会議室 | 675     |
| 総務課      | 1125        | 災害対策会議室 | 1200    |
| 行政課      | 1021.5      | 災害対策会議室 | 900     |
| 災害対策     | 3875        | 災害対策会議室 | 150     |
| 災害対策     | 50          | 災害対策会議室 | 50      |
| 災害対策     | 1000        | 災害対策会議室 | 1000    |
| 災害対策     | 225         | 災害対策会議室 | 1400    |
| 災害対策     | 150         | 災害対策会議室 | 3815    |
| 災害対策     | 225         | 災害対策会議室 | 765     |
| 災害対策     | 150         | 災害対策会議室 | 600     |
| 災害対策     | 562.5       | 災害対策会議室 | 450     |
| 災害対策     | 962.5       | 災害対策会議室 | 600     |
| 災害対策     | 187.5       | 災害対策会議室 | 675     |
| 災害対策     | 400         | 災害対策会議室 | 3362.5  |
| 災害対策     | 375         | 災害対策会議室 | 225     |
| 災害対策     | 2075        | 災害対策会議室 | 225     |
| 災害対策     | 5887.5      | 災害対策会議室 | 12167.5 |
| 災害対策     |             | 災害対策会議室 | 35692.5 |

機に新川を起点に、水路の開削により発展してきた地域である。昭和7年に江戸川区が誕生し、人口約10万人となった。都市としての地位を確立したが、太平洋戦争時の空襲により大きな被害を受け、戦後の復興で木造住宅密集地域が生まれた。木密地域に加え、区の7割以上が海拔0メートル地帯であるが、ハザードマップでは“ここにはダメです”と訴えかけ、区外への避難を促しており、区として区民を守る責任を果たせていないのが現状といえる。また江戸川区は5つの鉄道路線が東西に通っているが、南北を結び鉄道はなく、主にバスでの移動が中心となっている。そこで「メトロセブン構想」という環状高速鉄道のプロジェク

トが考えられているが、この構想は平成6年から始まったにも関わらず、令和5年現在でも実現していない。この江戸川区では現在、区役所本庁舎の老朽化が進み、船堀4丁目に新たな移転計画が進行中である。

### 3. 提案概要

以上の計画背景を踏まえて本提案では、防災・交通・文化教育の観点から庁舎の位置づけを決定した。以下に本提案の提案方針を示す。

- (1) 防災の観点から、災害時の司令塔の役割を果たし、各防災拠点と連携を図る。
- (2) 交通の観点から、南北方向の交通事情を改善するための水上交通拠点としての役割を担う。

- (3) 文化教育の観点から、柔軟に対応できる多目的空間を提供し、江戸川区の水辺を活かした計画とする。

### 4. 計画方針

#### 4.1 平常時から非常時に対応できる柔軟な全体計画

日常的に地域住民が利用できる親水空間の創出や、災害時における基幹的広域防災拠点と連携した防災公園の計画、江戸川区の南北方向の交通事情の改善を図る交通拠点として庁舎施設を計画する。この計画により、平常時の地域の賑わいと非常時の安全確保の両方を目指す。

#### 4.2 災害発生時支援する庁舎

新庁舎は、災害が起きた際に復旧・復興の司令塔として機能する。氾濫時の想定される最大浸水深や流速を考慮

し、重要施設の配置や非常電源、備蓄倉庫の計画が重要となる。また、区の公共施設として帰宅困難者を受け入れる機能などを想定する必要がある。

### 5. 基本計画

#### 5.1 敷地選定条件

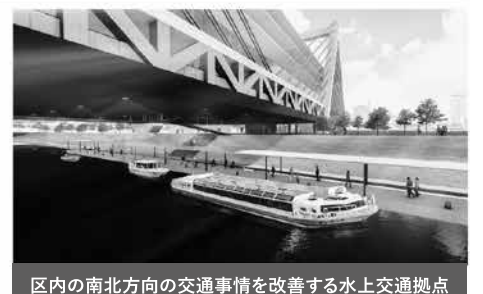
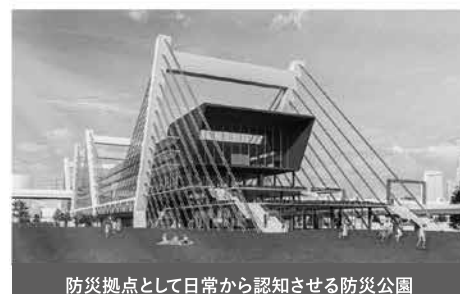
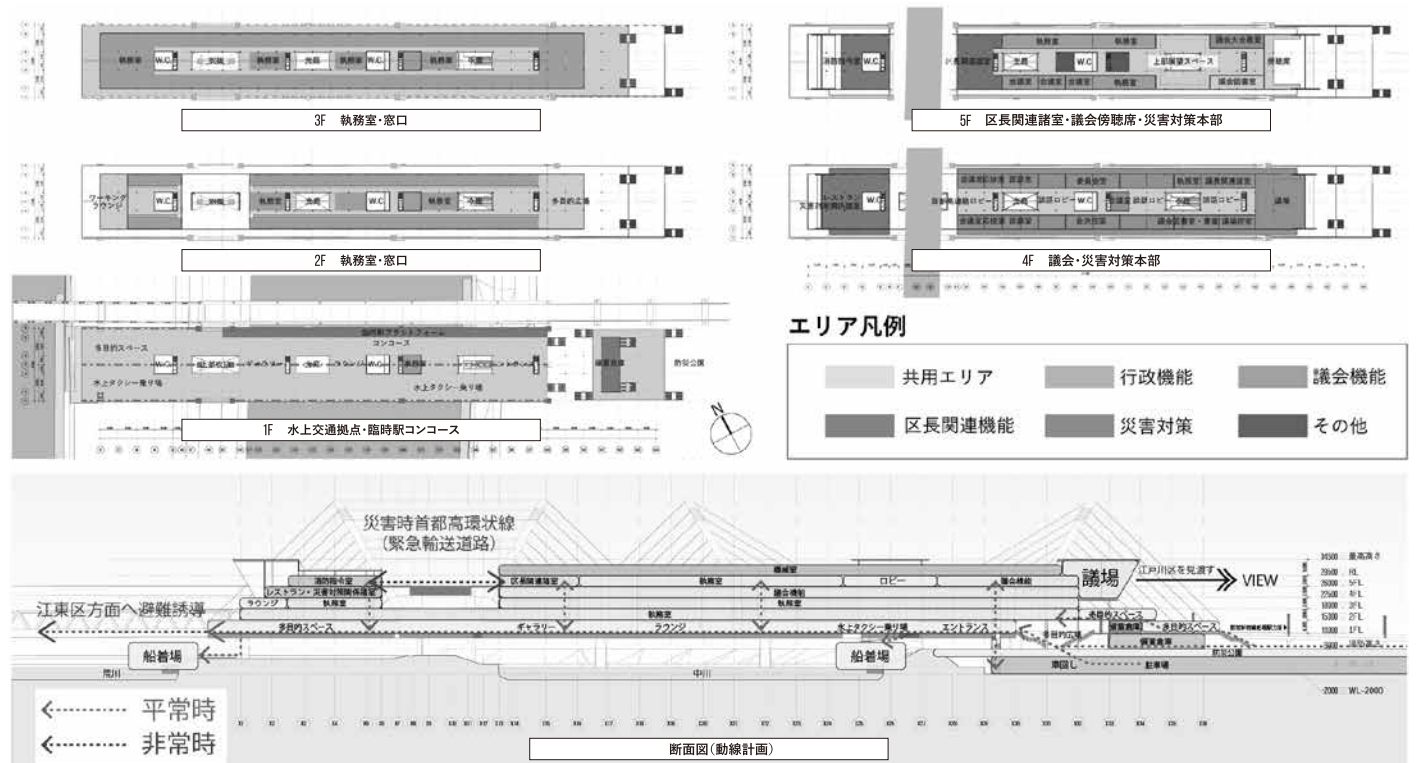
計画背景および計画方針に基づき、以下のように敷地選定条件を定める。

- (1) 地理的に江戸川区の中心部に位置する場所
- (2) 防災拠点になり得る場所
- (3) 水上交通拠点としての役割を果たせる見込みのある場所
- (4) 執務空間の充実が見込まれる場所
- (5) 住民同士のコミュニティ向上が図れる場所

#### 5.2 選定敷地（江戸川区船堀2丁目）

敷地は、江戸川区船堀2丁目の木造住宅密集地域を計画エリアとする。

2023年度加藤賞 受賞



# 水中遺跡の保存及び 利活用に関する研究 — 鷹島神崎遺跡を対象とした 複合研究リゾート施設の設計 —

小林功基

## 1. はじめに

世界には数多くの水中遺跡が存在しているが、それらの保存と研究の環境は良好なものとは言い難い。本計画では大型ケーソンで水中遺跡を囲み、保護を行いながら研究環境の改善も同時に行うものである。また、博物館、研究施設のリゾート機能を融合させた複

合研究リゾート施設とする。これにより国からの支援に頼ることのない事業スキームを組むことで、収益を獲得しそれらを研究費に回すことを期待する。

## 2. 計画背景

### 2.1 世界に数多く存在する水中遺跡

世界に数多く存在する水中遺跡の中でも発見されるカテゴリーとして最も多いものが沈没船である。UNESCOの試算によると世界中の水中には100年前に沈没し、水中文化遺産となり得る沈没船が少なくとも300万隻は存在しているといわれている。

### 2.2 水中遺跡研究に付随する課題

水中遺跡の研究に関して遺跡が水中に存在するという特性上、ダイビングを行いながらの作業が必要となり、そ

の際圧縮された空気を吸うことになることから潜水病を発症する恐れがある。また、多くの沈没船は発見された際、船体に土が覆い被さっていることが多い。これにより沈没船は無酸素状態で保存されバクテリアなどが繁殖できない良好な環境で保存されることとなる。しかし研究を行うにはこれらの土を除去する必要があるため、故に沈没船の調査は破壊活動であるといわれることも多い。

### 2.3 観光地化が難しい水中遺跡

水中遺跡は水中に存在することから陸上の遺跡とは異なり観光地化することが非常に困難である。水中遺跡を実際に見学する場合は観光客自らスキューバダイビングを行う必要が出てく

る。このことから水中遺跡の見学には多額の費用を要すると同時に、遊泳能力などが問われるため、高いハードルが立ちほだかり、その結果観光地化するのが難しい現状に置かれている。

### 2.4 世界における水中遺跡への関心

水中遺跡に関して2001年に大きな変化があった。それが「水中文化遺産保護条約」の採択である。この条約は2009年に発効され2022年時点の締約国の数は72カ国となっている。これはUNESCO加盟国である193カ国を基準として考えると約37%ととても低いことが分かる。また、日本における水中遺跡への関心も同様に低くなっており、それは社会的要因と地理的要因からくるものである。社会的要因として





定され、2025年には日本国際博覧会が開催されるなど、観光立国として経済を立て直す契機にさしかかっている。

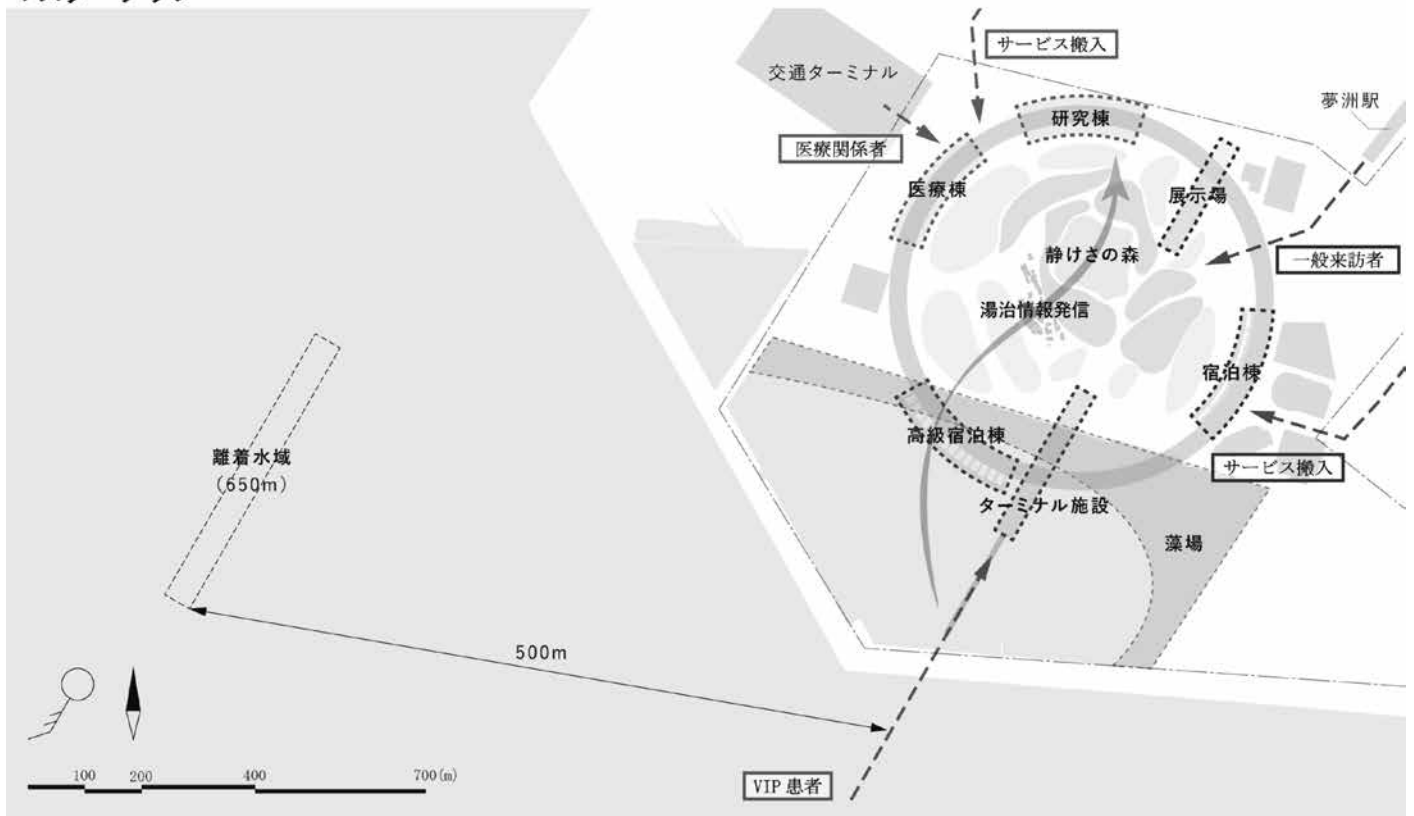
万博の会場となる夢洲は、1970年代にごみ処分場として埋め立てが開始され、その後2度の土地計画が頓挫し、「負の遺産」と呼ばれてきた。万博誘致に成功し今後の土地利用への関心が高まる一方で、会場の跡地計画は先行きが不透明な現状にある。隣地に計画が進められる「大阪IR」は、新たな財源の確保や観光・地域経済の振興を目指す一方で、社会問題の増加や経済的効果の限定性などの問題が懸念されている。また、万博のメイン会場となる「大屋根のリング」は、閉幕後に解体する予定となっていたが、利活用の

### 小林真子

日本経済に大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、日本は観光産業の復活に向け動き出した。2023年3月に観光立国推進基本計画が閣議決



### マスタープラン



提案を公募することが発表され、会場や跡地の利用について議論が高まっている。

これまで日本国内で開催された万博の会場跡地は、記念公園として名残をとどめているものの、開催当時の景色やテーマが思い起こされるような様子はなく、あくまで歴史や記憶として残るだけとなっているように感じる。大阪・関西万博のシンボルとなる大屋根のリングは貫工法という伝統工法を用いて施工され、世界最大級の本造建築となる残す価値の高い建築である。パビリオンとしてつくられる会場を残して活用し、建築をとおして万博テーマを継承していくべきである。

今回の万博テーマは「いのち輝く未

来社会のデザイン」。そこで着目したのが日本医療である。日本は優れた医療技術や医療機器を保有し、世界から高い評価を得ている。医療分野は大阪の成長産業のひとつでもあり、西日本経済を支える大きな要素になり得る。また近年は、治療や検診などを目的として訪日する外国人患者の急増や、医療ツーリズムの需要も拡大しつつある。

これらの背景を踏まえ、パビリオンの建築的価値を残しながら、西日本経済を活性化する新たな拠点づくりとして、万博テーマを継承した国際医療拠点の設計提案を行う。

日本が誇る高度医療や医療研究を集約し、世界へ向けた日本医療の情報発信や、医療関連分野の相互発展、検

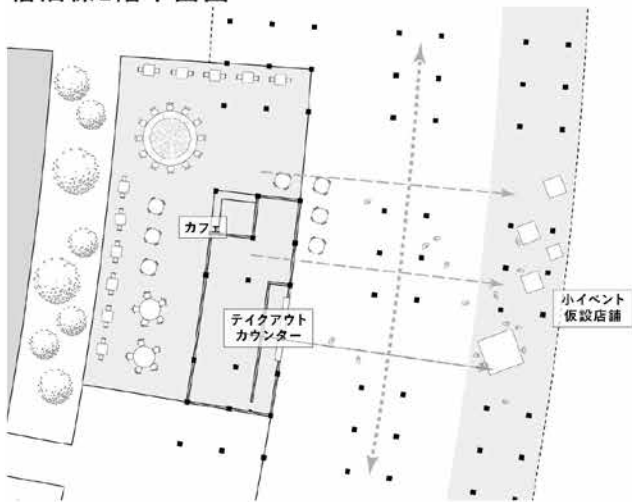
診・治療・アフターケアを一連で受けられる場の提供を目的とする。また、万博跡地に人を一極集中させることにとどまらず、日本独自の医療文化である湯治を医療ツーリズムの一環として取り入れ、患者の治療後の療養や家族のケア、ヘルスツーリズムとして西日本各地に点在する温泉地へ訪れるきっかけをつくり、地方活性化につなげる。

具体的な機能として、(1)最先端医療技術を備えた医療・研究施設 (2)温泉街の文化をサテライトする湯治情報発信施設・宿泊施設 (3)医療分野を目的とした国際会議場や展示・イベント施設を計画する。これらの施設をリングに沿って配置することで、造形・機能ともに、各施設が独立しながら、リン

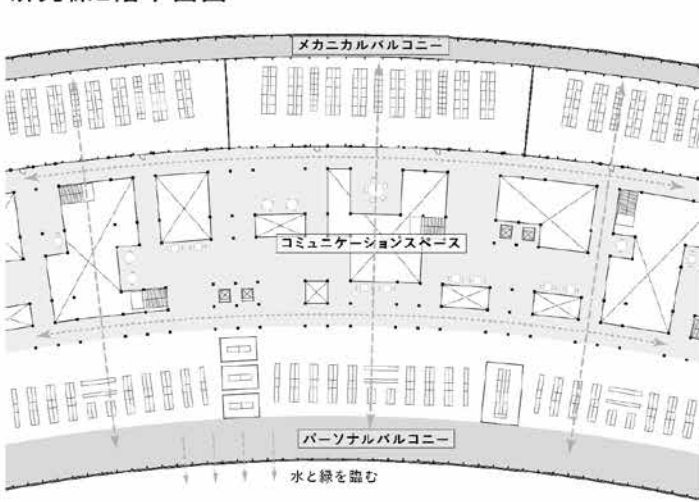
グがつなぐ一つの動線によって一連のつながりを持ち、日本の医療技術や文化を発信する象徴的な場として一体的に建築計画を行う。各施設は3600×3600の既存モジュールを活かすことでデザインに統一性を持たせ、リング下の空間をコア空間として活用する。また、既存のリングと新築部分を意匠的に融合させながら構造および防火上独立させる設計とし、伝統的工法によって組まれた構造体の建築的価値と美しさを残しながら、人々が柱のもとに寄り添う空間の実現を目指す。

求心力と発信力を持つ万博の跡地が、再び、人や技術の交流・発展の場となり、万博のテーマをレガシーとして後世に継承されていくことを期待する。

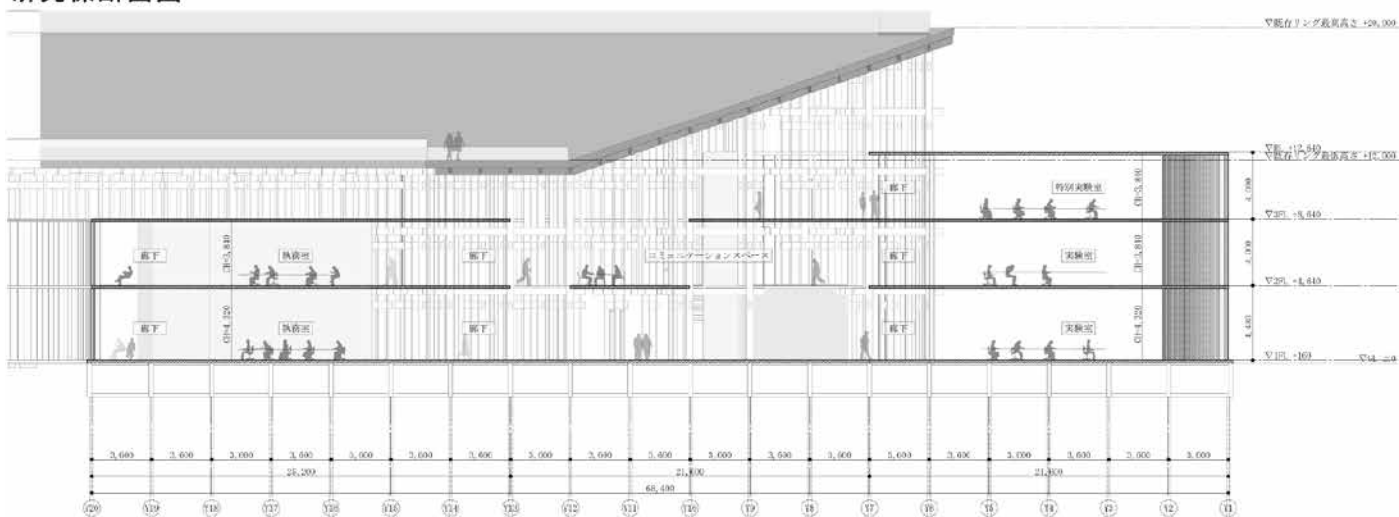
宿泊棟1階平面図



研究棟2階平面図



研究棟断面図



視線と会話が交錯する交流の場



人と活動が出会う滞留空間



にぎわいが連続する風道

## ■コンペ受賞歴一覧

**日本一** 36作品（卒業設計 23作品、建築学会コンペ 1作品、その他のコンペ 12作品）

**日本二** 25作品（卒業設計 2作品、建築学会コンペ 5作品、その他のコンペ 18作品）

**日本三** 12作品（卒業設計 1作品、建築学会コンペ 5作品、その他のコンペ 6作品）

その他受賞数 434作品

| 年度    | 卒 業 設 計(●)／修 士 設 計(○)                                                                                            | 建 築 学 会 コ ン ペ                                                                                                                 | そ の 他 の コ ン ペ                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和52年 | ●第10回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・最優秀賞「金の卵」賞／石渡孝夫(建築学科海洋コース) <b>日本一</b>                                                    |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 53    | ●第11回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・最優秀賞「金の卵」賞／富田善弘(建築学科海洋コース) <b>日本一</b>                                                    |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 54    | ●第12回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・最優秀賞「金の卵」賞／小林直明(建築学科海洋コース) <b>日本一</b>                                                    |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 56    | ●第14回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・最優秀賞「金の卵」賞／吉本宏 <b>日本一</b><br>・同入選／松木康治                                                   |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 57    | ●第15回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・建築部門賞／稲村健一 <b>日本一</b>                                                                    | ●「地場産業振興のための拠点施設」<br>・支部入選／鈴木洋一                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 58    | ●第16回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・最優秀賞「金の卵」賞／遠藤卓郎 <b>日本一</b><br>○(社)日本港湾協会主催マリノポリス計画コンテスト<br>・優秀特別賞／川口利之                   | ●「国際学生交流センター」<br>・全国入選佳作／稲村健一<br>・支部入選／大久保豪、杉田祐之、花岡豊、星野博史                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 59    | ○第17回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／稲村健一                                                                                  |                                                                                                                               | ●第11回日新工業設計競技「ノアの箱船」<br>・3等／遠藤卓郎、岩崎博一 <b>日本三</b><br>●R.I.B.A 英国王立建築家協会国際学生デザインコンペ<br>・入賞／中村耕史、秋江康弘、稲村健一<br>●第19回セントラル硝子国際設計競技「グラスタワー」<br>・佳作／秋江康弘<br>●三井ホーム住宅設計競技「2×4による新しい住まい」<br>・佳作／川口利之、菅沼徹、筒井毅<br>●桜門建築会第1回学生設計コンクール「建築学生交流センター」<br>・佳作／稲村健一 |
| 60    | ●第18回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／富田誠                                                                                   | ●「商店街における地域のアゴラ」<br>・全国入選3等／藤沢伸佳、柳泰彦、林和樹 <b>日本三</b>                                                                           | ●A.I.A アメリカ建築家協会国際学生コンペ<br>・2等／秋江康弘 <b>日本二</b>                                                                                                                                                                                                    |
| 61    | ●第19回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／小野正人                                                                                  | ●「外国に建てる日本文化センター」<br>・全国入選3等／小林達也、佐藤信治、小川克巳 <b>日本三</b><br>・支部入選／渋谷文幸<br>・支部入選／林和樹、鶴飼聡(建築)、高橋義弘(建築)                            | ●桜門建築会第2回学生設計コンクール「桜門校友クラブ」<br>・1等／山崎淳一、松尾茂<br>・佳作／小林達也、佐藤信治<br>●第6回ホクストン建築装飾デザインコンクール「まちなかの公共トイレ」<br>・佳作／小林達也                                                                                                                                    |
| 62    | ●第20回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／海老澤克                                                                                  | ●「建築博物館」<br>・支部入選／松尾茂、横堀士郎、石川仁、鳥海清二(建築)<br>・支部入選／小野正人、小沢一実、渡邊俊幸                                                               | ●ミサワホーム住宅設計競技<br>・入選／小林達也                                                                                                                                                                                                                         |
| 63    | ●千葉県建築三会学生賞<br>・銅賞／近藤陽次 <b>地域三</b><br>・奨励賞／毛見究                                                                   | ●「わが町のウォーターフロント」<br>・全国入選1等／新岡英一、橋本樹宜、丹羽雄一(建築)、毛見究、草薙茂雄 <b>日本一</b><br>・全国入選佳作／園部智英、石川和浩、原田庄一郎<br>・支部入選／松尾茂、山本和清<br>・支部入選／岩川卓也 | ●'88膜構造デザインコンペ<br>・佳作／山口明彦<br>●第2回千葉ふるさと住宅設計コンクール<br>・佳作／川村佳之<br>●桜門建築会第3回学生設計コンクール「ゲストハウス」<br>・1等／山口明彦、原利明(建築)、渡辺一雄(建築)<br>・2等／加藤麻生<br>・3等／飯田隆弘、丹羽雄一(建築)、有馬哲也(建築)<br>・佳作／小堀泰毅、伊藤剛<br>・佳作／長谷川晃三郎、佐久間明                                             |
| 平成1年  | ●第22回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・建築部門賞／長谷川晃三郎 <b>日本一</b><br>・入選／佐久間明<br>●千葉県建築三会学生賞<br>・金賞／佐久間明 <b>地域二</b><br>・奨励賞／長谷川晃三郎 | ●「ふるさとの芸能空間」<br>・全国入選2等／新岡英一、長谷川晃三郎、佐久間明、岡里潤 <b>日本二</b><br>・全国入選3等／丹羽雄一(建築)、益田勝郎 <b>日本三</b>                                   | ●石川県建築士会設計競技「垂直複合体」<br>・1等／矢野一志、佐藤教明、菊池貴紀、廣川雅樹、安田友彦、鈴木宏佑 <b>日本一</b><br>●第1回横浜アーバンデザイン国際コンペ<br>・選外入選／長谷川晃三郎<br>●第3回千葉ふるさと住宅設計コンクール「安全で魅力ある三世代住宅」<br>・入選／山本和清                                                                                       |
| 2     | ●第23回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／山口哲也<br>●千葉県建築四会学生賞<br>・金賞／矢野一志 <b>地域二</b><br>・銅賞／山口哲也 <b>地域三</b>                     | ●「交流の場としてのわが駅わが駅前」<br>・全国入選2等／植竹和弘、根岸延行(建築)、中西邦弘(建築) <b>日本二</b><br>・全国入選3等／飯田隆弘、佐藤教明、山口哲也 <b>日本三</b>                          | ●石川県建築士会設計競技「海に浮かぶ市場」<br>・3等／川久保智康、野沢良太 <b>日本三</b><br>●第2回横浜アーバンデザイン国際コンペ「ウォーターフロントの再生に向けて」<br>・佳作／矢野一志、佐藤教明、大坪一之、屋田直樹、佐藤滋晃、菊池貴紀、菅野聡明、門脇桂子、馬場昭光                                                                                                   |

| 年度   | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 建築学会コンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                       | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成2年 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●BAY'90デザインコンペ (BAY'90開催記念学生建築設計競技) <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀賞／佐久周明 <b>日本二</b></li> <li>・佳作／益田勝郎</li> </ul> </li> <li>●桜門建築会第4回学生設計コンクール「建築家ギャラリー」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2等／岡里潤、寺尾浩康、馬場昭光</li> <li>・佳作／檀竹和弘、白石充、根岸延行(建築)</li> <li>・佳作／山口哲也、佐藤教明</li> <li>・佳作／広部剛司、佐藤岳志、菅浩康</li> </ul> </li> <li>●第10回ホクストン建築装飾デザインコンペ「都市公園に建つフォーリー」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／武田和之、岡里潤</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 3    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第24回毎日・DAS 学生デザイン賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築部門賞／高橋武志 <b>日本一</b></li> </ul> </li> <li>●千葉県建築三会学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金賞／高橋武志 <b>地域一</b></li> </ul> </li> <li>・奨励賞／廣川雅樹</li> </ul>                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「都市の森」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1部全国入選2等／山口哲也、河本憲一、廣川雅樹、日下部仁志、伊藤康史、高橋武志 <b>日本二</b></li> <li>・2部全国入選最優秀／片桐岳志</li> <li>・2部支部入選／布川亨、八代国彦(建築)、堤秀樹</li> </ul> </li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●JIA オープンデザインコンペ「都市の解体と再構築」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1等／佐藤教明、山口哲也、木口英俊 <b>日本一</b></li> <li>・佳作／川久保智康、野沢良太</li> </ul> </li> <li>●'91メンブレインデザインコンペ「アーバンビルとメンブレイン」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀賞／河本憲一、石井昭博、関戸浩二、福田昌弘 <b>日本一</b></li> </ul> </li> <li>●第2回長谷エイメージデザインコンペ「現代の夢殿」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／川添隆史、渡辺千香子</li> </ul> </li> <li>●第18回日新工業建築設計競技「都市空間の再生計画」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／川久保智康、野沢良太、花沢真哉、高山一頼、伊藤裕、森泉尚之、額村康博、布川亨、八代国彦(建築)</li> </ul> </li> <li>●第3回タキロンデザインコンペ「時代の風をはらむ都市装置」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3等／降旗恭子、黒田佳代 <b>日本三</b></li> <li>・入選／木口英俊</li> </ul> </li> <li>●第5回千葉ふるさと住宅設計コンクール「共働き家族のための住宅」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励賞／川添隆史</li> </ul> </li> <li>●第2回学生のためのフレッシュデザインコンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッシュデザイン賞／木口英俊、渡辺昇</li> </ul> </li> <li>●1991第1回 BUFF 国際建築デザインコンペ「東京の住まい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／佐藤教明</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第25回毎日・DAS 学生デザイン賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築部門賞／片桐岳志 <b>日本一</b></li> <li>・入選／寶田陵</li> </ul> </li> <li>●千葉県建築三会学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金賞／片桐岳志 <b>地域一</b></li> <li>・銅賞／寶田陵 <b>地域二</b></li> </ul> </li> <li>●東京ガス・銀座ポケットパーク「卒業設計制作展」第10回記念「1993卒業設計制作大賞」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金賞／寶田陵 <b>日本一</b></li> <li>・銅賞／片桐岳志 <b>日本三</b></li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「わが町のタウンカレッジをつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1部全国入選3等／佐藤教明、木口英俊 <b>日本三</b></li> <li>・1部全国入選佳作／廣川雅樹、寶田陵</li> <li>・1部支部入選／山口哲也、河本憲一</li> <li>・1部支部入選／木口英俊、高橋武志</li> <li>・2部支部入選／関谷和則、石渡義隆</li> <li>・2部支部入選／平崎彰、望月喜之</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●盛岡・水辺のデザイン大賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部門佳作／佐藤信治、河本憲一、廣川雅樹、伊藤康史、日下部仁志、高橋武志、伊藤賢</li> </ul> </li> <li>●奈良・TOTO 世界建築トリエンナーレ <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／川久保智康、野沢良太、永島元秀</li> </ul> </li> <li>●'92メンブレインデザインコンペ「オートキャンプ場」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2等／片桐岳志 <b>日本二</b></li> <li>・佳作／高橋武志、関戸浩二</li> </ul> </li> <li>●桜門建築会第5回学生設計コンクール「わがヒーローとの出会い」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2等／片桐岳志、岡田和紀</li> </ul> </li> <li>●アーキテクチュア・フェア KOBE 学生設計競技「神戸・学園東地域福祉センター」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／吉田幸正</li> </ul> </li> <li>●川鉄デザインコンペ'92 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／三輪政幸</li> </ul> </li> <li>●第3回学生のためのフレッシュデザインコンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッシュデザイン賞／佐藤教明</li> </ul> </li> <li>●第19回日新工業建築設計競技「記憶の住む家」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／野沢良太</li> </ul> </li> <li>●1992第2回 BUFF 国際建築デザインコンペ「東京屋台空間」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／竹内大介、高山一頼、穴倉尚行</li> </ul> </li> <li>●DYNAX 第2回建築学生・設計大賞'92「〈太陽・月・炎〉の家」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励賞／竹内大介、高山一頼、穴倉尚行</li> <li>・奨励賞／石井昭博、寶田陵、西上順久</li> </ul> </li> <li>●第4回タキロン国際デザインコンペ「風の道・水の道」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3等／山口哲也、川久保智康、木口英俊、永島元秀、布川亨 <b>日本三</b></li> <li>・3等／高橋武志、石井昭博 <b>日本三</b></li> </ul> </li> <li>●1992新建築住宅設計競技「スタイルのない住宅」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／川久保智康、高山一頼</li> </ul> </li> <li>●「(仮称)中原中也記念館公開設計競技」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／山口哲也、木口英俊</li> </ul> </li> </ul> |
| 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第26回毎日・DAS 学生デザイン賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・洋々賞／吉田幸正 <b>日本二</b></li> <li>・入選／関谷和則</li> </ul> </li> <li>●千葉県建築三会学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金賞／関谷和則 <b>地域一</b></li> <li>・銀賞／吉田幸正 <b>地域二</b></li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「川のある風景」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1部全国入選佳作／片桐岳志、小野和幸</li> <li>・1部支部入選／石井昭博、林正輝、福田昌弘、山口泰永</li> <li>・2部全国入選佳作／橋本康太郎、神蔵良隆、藤生利道</li> <li>・2部全国入選佳作／関谷和則、三輪政幸</li> </ul> </li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●石川県建築士会設計競技「21世紀の公園」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／片桐岳志</li> </ul> </li> <li>●第4回長谷エイメージデザインコンペ「現代のさや堂」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／片桐岳志</li> </ul> </li> <li>●JIA 東海・北陸支部第10回設計競技「磐座〜いわくら〜」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀賞／田中宏、岡田和紀、澤田憲子、倉川友紀 <b>日本二</b></li> <li>・佳作／岡田和紀、田中宏、澤田憲子、倉川友紀</li> </ul> </li> <li>●新知的生産環境1993デザインコンペティション「グループによる新しい知的生産環境の在り方」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀賞／小野和幸 <b>日本二</b></li> </ul> </li> <li>●第4回学生のためのフレッシュデザインコンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッシュデザイン賞／岡田和紀、田中宏、木口英俊、川久保智康</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 年度   | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                    | 建築学会コンペ                                                                                                     | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第27回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・入選／清水信友</li> <li>・入選／戸國義直</li> <li>●千葉県建築三会学生賞</li> <li>・金賞／清水信友 <b>地域三</b></li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「21世紀の集住体」</li> <li>・1部支部入選／小野和幸、田村裕彦、高野勇治(建築)、國武陽一郎(建築)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりコンクール'94「都市を水からデザイン」</li> <li>・優秀賞／関谷和則、石渡義隆、館古保 <b>日本二</b></li> <li>・佳作／田村裕彦、岡田和紀、小野和幸、鳥居延行</li> <li>・特別賞／井上真樹、馬淵晃</li> <li>●桜門建築会第6回学生設計コンクール「磯野家のすまい」</li> <li>・優秀賞／小野和幸、井上真樹、小山貴雄</li> <li>●川鉄デザインコンペ'94</li> <li>・学生大賞／関谷和則、石渡義隆、館古保 <b>日本一</b></li> <li>●小山市城東地区街角広場デザインコンペ</li> <li>・佳作／坪山幸王、佐藤信治、石井昭博、林正輝、福田昌弘、石渡義隆、関谷和則、館古保、清水信友</li> <li>●新知的生産環境1994デザインコンペティション「高齢者のための新しい知的生産環境の在り方」</li> <li>・入賞／小野和幸</li> <li>●第1回 ARCASIA 学生賞1994「永続性ある発展を目指した都市居住と住宅改革」</li> <li>・優秀賞／小野和幸、高野勇治(建築)、岡田和紀、山越寧(建築) <b>日本二</b></li> </ul>                                                          |
| 7    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第28回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・入選／田村裕彦</li> <li>●千葉県建築四会学生賞</li> <li>・銅賞／浦野雄一 <b>地域三</b></li> <li>・奨励賞／田中厚三</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「テンポラリー・ハウジング」</li> <li>・1部支部入選／清水信友</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●JIA 東海支部第12回建築設計競技「紙〜紙で街に仕掛ける〜」</li> <li>・銀賞／井上真樹、馬淵晃 <b>日本二</b></li> <li>●第9回千葉ふるさと住宅設計競技「ライフサイクルを見据えた安全で快適な住まい」</li> <li>・奨励賞／田中厚三</li> <li>●第5回 BUFF 国際建築デザインコンペ「東京水空間」</li> <li>・選外優秀作品賞／広瀬倫恒</li> <li>●世界の民族人形博物館国際学生アイデアコンペ</li> <li>・佳作／梶原崇宏、村松保洋</li> <li>●第3回札幌国際デザイン賞「雪の生活文化」</li> <li>・佳作／馬淵晃</li> <li>●第6回学生のためのフレッシュデザインコンペ</li> <li>・作品展示／下平将也</li> <li>・作品展示／川崎拓二</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |
| 8    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第29回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・入選／富永恒太</li> <li>●千葉県建築四会学生賞</li> <li>・銀賞／中村武晃 <b>地域三</b></li> <li>・奨励賞／小川太士</li> </ul>       |                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●石川県建築士会設計競技「インテリジェンスファクトリー」</li> <li>・選外優秀作品賞／小山貴雄</li> <li>●第10回千葉県街並み景観賞</li> <li>・準特選／鳥居延行 <b>地域三</b></li> <li>●桜門建築会第7回学生設計コンクール「キャンパスコア」</li> <li>・キャンパス賞／田中厚三、松元理恵</li> <li>●第10回千葉県ふるさと住宅設計競技「増改築を考慮したロングライフの住宅」</li> <li>・奨励賞／田中厚三</li> <li>●第10回建築環境デザインコンペティション「東京湾内のエコシティー」</li> <li>・佳作／小山貴雄</li> <li>●第2回九州デザインコンペティション「バリアフリーデザイン」</li> <li>・協賛企業賞／小山貴雄、田中厚三、安藤亮、北田紀子、峰村亮(生産建築)</li> <li>●第6回優しい食空間コンテスト「食空間デザイン」</li> <li>・入選／馬淵晃</li> <li>●第9回ゆとりある住まいコンテスト「住まいの収納」</li> <li>・1等／田中厚三 <b>日本一</b></li> <li>●'97GREEN DESIGNING IN YAMAGATA「地球環境にやさしいデザイン」</li> <li>・奨励賞／馬淵晃</li> </ul> |
| 9    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第30回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・入選／市原裕之</li> <li>・入選／針生康</li> <li>●千葉県建築四会学生賞</li> <li>・奨励賞／市原裕之</li> <li>・奨励賞／針生康</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「21世紀の学校」</li> <li>・1部全国入選2等／村松保洋、渡辺泰夫 <b>日本二</b></li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●石川県建築士会設計競技「ヒーリング・プレイス」</li> <li>・優秀賞／富永恒太 <b>日本二</b></li> <li>●第8回学生のためのフレッシュデザインコンペ</li> <li>・作品展示／宮下新</li> <li>・作品展示／佐藤洋、木村太輔、村松可奈子、北田紀子</li> <li>●桜門建築会三学部建築学生交流フォーラム</li> <li>・審査員特別賞／長井厚、田中啓一、寺内学、関香織、村田昌彦</li> <li>●運輸省「みんなでつくろう海洋国日本 未来のアイデア大募集」</li> <li>・学校部門 フロンティア賞／鳥居延行、若山喜信、金田岩光</li> <li>●日本大学理工学部建築学科「TEMPORARY SPACE COMPETITION(DOME COMPE)」</li> <li>・優秀賞／石川阿弥子、大野貴司、桶川嘉子、山田博栄</li> <li>●第5回秀光学生コンペティション 新知的生産環境1997「挑戦するオフィス」</li> <li>・入賞／富永恒太</li> <li>●東京建築士会第33回建築設計競技「コミュニティコアとしての小学校の再生」</li> <li>・佳作／佐藤信治、市原裕之、田中克典、長井厚</li> </ul>                                         |
| 10   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第31回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・入選／大野貴司</li> <li>●千葉県建築四会学生賞</li> <li>・金賞／大野貴司 <b>地域三</b></li> </ul>                          |                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第4回北陸の家づくりコンペ「環境共生住宅」</li> <li>・最優秀賞／田中克典 <b>日本一</b></li> <li>・優秀賞／長井厚 <b>日本二</b></li> <li>●第2回太陽電池を用いた創造的構築物「太陽の恵みと建築との調和」</li> <li>・奨励賞／市原裕之</li> <li>●壁装材料協会主催「第6回 明日のインテリア・アイデア・コンクール」</li> <li>・会員企業賞／伊藤昌明</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| 年度    | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                        | 建築学会コンペ                                                                                                                                   | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成11年 | ●千葉県建築四会学生賞<br>・銀賞／寺田健 <b>地域二</b><br>・特別賞／江橋亜希子                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                           | ●第5回北陸の家づくり設計コンペ「60年住む家」<br>・優秀賞／塙貴宏 <b>日本二</b>                                                                                                                                                                                                                 |
| 12    | ●第33回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／渡邊昌也<br>●千葉県建築四会学生賞<br>・奨励賞／原香菜子<br>・奨励賞／渡邊昌也                                                                                                                                                               | ●「新世紀の田園居住」<br>・タジマ奨励賞／青山純、岡田俊博、岡部敏明、木村輝之、斉藤洋平、重松研二、秦野浩司                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 13    | ●第34回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・建築部門賞／秦野浩司 <b>日本一</b><br>●千葉県建築四会学生賞<br>・奨励賞／秦野浩司<br>・奨励賞／木村輝之                                                                                                                                                 | ●「子どもの居場所」<br>・関東支部入選／齋藤洋平、木村輝之                                                                                                           | ●(株)都市開発技術サービス「坪井地区を対象としたエコ・テクノロジーの活用によるまちづくり計画の提案」<br>・優秀賞／山端俊也 <b>日本二</b><br>・佳作／大工原洋充、舟岡徳朗<br>●(幼)東京建築士会「住宅課題賞」<br>・入選／羽根田治                                                                                                                                  |
| 14    | ●第35回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／丸山貴広<br>・入選／山下忠相<br>●千葉県建築四会学生賞<br>・奨励賞／栗田耕史<br>・奨励賞／長坂悠司                                                                                                                                                   |                                                                                                                                           | ●第2回仏壇デザインコンペティション2002 森正<br>・審査員長特別賞／篇淵正恵、渡邊昌也、伊藤麻也、坂元晋介<br>●福山大学建築会デザインコンペティション2002<br>・佳作／白砂孝洋<br>●(幼)東京建築士会「住宅課題賞」<br>・入選／清水大地<br>●第8回飛騨・高山学生家具デザイン大賞<br>・入選／丸山貴広                                                                                           |
| 15    | ●第36回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／川崎未来生<br>●千葉県建築四会学生賞<br>・奨励賞／川崎未来生<br>・奨励賞／白砂孝洋                                                                                                                                                             |                                                                                                                                           | ●新建築住宅設計競技2003<br>・2等／川崎未来生 <b>日本二</b><br>●福山大学建築会デザインコンペティション2003<br>・金賞／片桐雄歩 <b>日本一</b><br>・入選／白砂孝洋<br>●(幼)東京建築士会「住宅課題賞」<br>・入選／中村智裕                                                                                                                          |
| 16    | ●第37回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／永嶋順一<br>・入選／佐藤俊介<br>●千葉県建築四会学生賞<br>・特別賞／稲垣直秀<br>・奨励賞／勝又洋                                                                                                                                                    | ●「建築の転生・都市の転生」<br>・全国入選佳作／丸山貴広、鈴木貴之、塚本哲也、長坂悠司、吉田健一郎<br>・東海支部入選／土井涼恵、内田真紀子                                                                 | ●福山大学建築会デザインコンペティション2004<br>・佳作／土井涼恵<br>・入賞／勝又洋<br>・入賞／奥田祥吾<br>・佳作／三村舞、勝間田洋子、望月菜生<br>・佳作／渡辺秀哉<br>●(幼)東京建築士会「住宅課題賞」<br>・入賞／箕山雄一                                                                                                                                  |
| 17    | ●第38回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／鈴木啓史<br>・入選／渡辺秀哉<br>●第18回千葉県建築学生賞<br>・優秀賞／渡辺秀哉 <b>地域二</b><br>・奨励賞／鈴木啓史<br>○第4回 JIA 大学院修士設計展<br>・出展／京野宏亮                                                                                                     | ●「風景の構想—建築をととしての場所の発見」<br>・関東支部入選／金子太亮、勝又洋、中村智裕                                                                                           | ●9 坪ハウスコンペ2005<br>・佳作／金子太亮<br>●TEPCO インターカレッジデザイン選手権<br>・優秀賞／金子太亮、京野宏亮 <b>日本二</b><br>●福山大学建築会デザインコンペティション2005<br>・入賞／桔川卓也<br>・佳作／河原一也、信戸佑里<br>●(幼)東京建築士会「住宅課題賞」<br>・入選／五十嵐大輔                                                                                    |
| 18    | ●第39回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／桔川卓也<br>●卒業設計日本一決定戦<br>・日本三／桔川卓也 <b>日本三</b><br>●卒業設計裏日本一決定戦<br>・裏日本一／桔川卓也 <b>日本一</b><br>●第19回千葉県建築学生賞<br>・特別賞／河原一也<br>・奨励賞／丹沢裕太<br>●第30回学生設計優秀作品展<br>・レモン賞／桔川卓也<br>○第5回 JIA 大学院修士設計展<br>・出展／勝又洋<br>・出展／金子太亮 | ●「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」<br>・関東支部入選／金子太亮、勝又洋、中村智裕<br>・関東支部入選／鈴木啓史、三村舞、渡辺秀哉<br>●「美しいまちをつくる むらをつくる」<br>・最優秀賞／渡辺秀哉<br>・足立区長賞／鈴木啓史、三村舞、渡辺秀哉 | ●SMOKERS' STYLE COMPETITION 2006「パブリックスペースと分煙」<br>・佳作／勝又洋<br>●TEPCO インターカレッジデザイン選手権「現実を虚構化する住宅／虚構を現実化する住宅」<br>・最優秀作／勝又洋 <b>日本一</b><br>●(株)ナムラコンチネンタルホーム事業本部・(株)日本住研<br>第3回住まいのデザインコンテスト「わたしが暮らす家」<br>・優秀賞／勝又洋、金子太亮 <b>日本二</b><br>●(幼)東京建築士会「住宅課題賞」<br>・入選／島田かおり |
| 19    | ●第40回毎日・DAS 学生デザイン賞<br>・入選／赤澤知也<br>・入選／丸山大史<br>●第20回千葉県建築学生賞<br>・優秀賞／小松崎博敏 <b>地域二</b><br>・奨励賞／西村秀勇<br>○第6回 JIA 大学院修士設計展<br>・出展／三村舞                                                                                                     |                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 年度    | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 建築学会コンペ                                                                                                                                                     | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成20年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第41回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・建築部門賞／椎橋亮 <b>【日本一】</b></li> <li>●第21回千葉県建築学生賞</li> <li>・奨励賞／上條経伍</li> <li>・奨励賞／爲季仁</li> <li>●第32回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／椎橋亮</li> <li>●第49回全国大会・高専卒業設計展示会</li> <li>・出展／椎川恵太</li> <li>○第7回 JIA 大学院修士設計展</li> <li>・出展／五十嵐大輔</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●木愛の会 第1回設計競技「新しい木の建築―魅了する木造都市へ―」</li> <li>・入賞／大西慧</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 21    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第42回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・建築部門賞／細矢祥太 <b>【日本一】</b></li> <li>・出展／下泉宏記</li> <li>●卒業設計日本一決定戦</li> <li>・100選／鴨志田航</li> <li>●第22回千葉県建築学生賞</li> <li>・市民賞／永田陽子 <b>【地域二】</b></li> <li>・奨励賞／永田陽子</li> <li>・奨励賞／鴨志田航</li> <li>●第33回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／鴨志田航</li> <li>●第50回全国大会・高専卒業設計展示会</li> <li>・出展／細矢祥太</li> <li>●全国合同卒業設計展「卒、10」</li> <li>・7選入選／大西慧</li> <li>○第8回 JIA 大学院修士設計展</li> <li>・出展／小松崎博敏</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「アーバンフィジックスの構想」</li> <li>・関東支部入選／鴨志田航、本多美月</li> <li>●「美しくまちをつくる むらをつくる」</li> <li>・最優秀賞／朽木健二 <b>【地域二】</b></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回日本大学校門建築会学生設計コンペティション「未来の住処をデザインする」</li> <li>・東京ガス SUMIKA 賞／細矢祥太、益山末樹</li> <li>・佳作／細矢祥太、益山末樹</li> <li>・佳作／椎橋亮</li> <li>●第7回「真の日本のすまい」</li> <li>・日本建築士会連合会会長賞／爲季仁、鈴木啓史 <b>【日本一】</b></li> <li>●(社)東京建築士会「住宅課題賞」</li> <li>・入選／増田佳菜子</li> </ul>                                                                                                                         |
| 22    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第43回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・最優秀賞「金の卵」賞／杉田陽平 <b>【日本一】</b></li> <li>・入賞／松井創斗</li> <li>●第23回千葉県建築学生賞</li> <li>・優秀賞／杉田陽平 <b>【地域二】</b></li> <li>●特別賞／松井創斗</li> <li>●JIA 東海学生卒業設計コンクール2011</li> <li>・佳作／杉田陽平</li> <li>●赤レンガ卒業設計展2011</li> <li>・一般賞 8 位／杉山洋太</li> <li>●JIA 全国卒業設計コンクール2011</li> <li>・出展／松井創斗</li> <li>●第34回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／古明地雲母</li> <li>●全国大学・高専卒業設計展示会</li> <li>・出展／杉山洋太</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大きな自然に呼応する建築</li> <li>・関東支部入選／大西慧、菅原遼</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンサムプレゼンテーションコンペ2010</li> <li>・アーキテクタ賞／小川雅人</li> <li>●第6回「新・木造の家」設計コンペ</li> <li>・優秀賞／嶋真史</li> <li>●第2回文化遺産防災アイデアコンペ</li> <li>・佳作／爲季仁、平山雄基</li> <li>●第2回日本大学校門建築会学生設計コンペティション</li> <li>・佳作／増田佳菜子、小山勇気</li> <li>●建築新人戦</li> <li>・100選／小山勇気</li> <li>●椅子のある風景 北の創作椅子展2010</li> <li>・入選／永田陽子、椎橋亮</li> <li>●ハンスグローエ ジャパン バスルーム デザインコンペ2010</li> <li>・佳作／椎橋亮、永田陽子</li> </ul> |
| 23    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第44回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・建築部門賞／石原幹太 <b>【日本一】</b></li> <li>・入賞／渡部亘</li> <li>●第24回千葉県建築学生賞</li> <li>・優秀賞／石原幹太 <b>【地域二】</b></li> <li>・市民賞／石原幹太 <b>【地域二】</b></li> <li>・奨励賞／渡部亘</li> <li>●赤レンガ卒業設計展2012</li> <li>・特別賞／石原幹太</li> <li>●JIA 全国卒業設計コンクール2012</li> <li>・出展／渡部亘</li> <li>●第35回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／井上彩花</li> <li>●卒業設計日本一決定戦2012</li> <li>・20選／菅原雅之</li> <li>・100選／渡部亘</li> <li>●全国合同卒業設計展「卒、12」</li> <li>・7選／菅原雅之</li> <li>●DIPLOMA 2012</li> <li>・学科代表掲載作品／菅原雅之</li> <li>●日本建築学会 建築デザイン発表会</li> <li>・部門優秀賞／菅原雅之</li> <li>・部門優秀賞／石原幹太</li> <li>●Vectorworks 教育支援プログラム OASIS</li> <li>・優秀研究賞／菅原雅之</li> </ul> |                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第17回北陸の家づくり設計コンペ</li> <li>・北日本新聞社賞／杉田陽平、菅原雅之、渡部亘</li> <li>●第3回日本大学校門建築会学生設計コンペティション</li> <li>・佳作／渡部亘</li> <li>・佳作／涌井匠、海藤航、斉藤亮介</li> <li>●キルコス国際建築設計コンペティション2011</li> <li>・満田衛資賞佳作／涌井匠、福田雄太</li> </ul>                                                                                                                                                                  |

| 年度    | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 建築学会コンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成23年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2012</li> <li>・都築響一賞／菅原雅之 <b>日本一</b></li> <li>●全国大学・高専卒業設計展示会</li> <li>・出展／渡部亘</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 24    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第45回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・入賞／涌井匠</li> <li>●第25回千葉県建築学生賞</li> <li>・特別賞／涌井匠</li> <li>・奨励賞／海藤航</li> <li>●MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2013</li> <li>・佳作／涌井匠 <b>日本二</b></li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第10回 R&amp;R 設計アイデアコンテスト</li> <li>・入賞／松井創斗、斎藤亮介、山川大喜、川崎将</li> <li>●FUTURE DESIGN 2012 未来エレベーターコンテスト</li> <li>・審査員賞／田原拓、川崎将、山川大喜、善財寛之</li> <li>●建築新人戦</li> <li>・100選／山川大喜</li> <li>●第4回ハーフェル学生デザインコンペティション</li> <li>・妹尾賞／石原幹太、伊藤春樹、古江志人、遠洞躍斗</li> <li>●ALA 建築 Project 建築学生の挑戦「都市と空き地」Vol.2</li> <li>・優秀作品／松井創斗、堤昭文、辻普</li> <li>●第4回文化遺産防災アイデアコンペティション</li> <li>・佳作／榎本翔太、涌井匠、杉田陽平</li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2012</li> <li>・入選／杉田陽平、涌井匠、川崎将、徳永尚亮</li> <li>●平成24年度「横須賀市の海を活かしたまちづくり」コンペ</li> <li>・最優秀賞／梅田淳、海藤航、福田雄太、涌井匠 <b>地域三</b></li> <li>・企画賞、デザイン賞／伊藤春樹、斎藤亮介、中山淳雄、望月堅二</li> <li>●キルコス国際建築設計コンペティション2012</li> <li>・永山祐子賞佳作／涌井匠</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 25    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第26回千葉県建築学生賞</li> <li>・奨励賞／山川大喜</li> <li>・奨励賞／川崎将</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的空間再編コンペティション2013</li> <li>・入選／菅原雅之、遠洞躍斗、樋浦直紀、井出健、鶴田亜有美、中山博貴</li> <li>●建築新人戦</li> <li>・100選／出山亮</li> <li>●平成25年度「横須賀市の海を活かしたまちづくり」コンペ</li> <li>・最優秀賞／遠洞躍斗、田原拓、堤昭文、岩本桃果、阿部紘樹 <b>地域三</b></li> <li>・企画賞、デザイン賞／山川大喜、森浩平、徳永尚亮、善財寛之、鈴木彩美、大谷涼</li> <li>●キルコス国際建築設計コンペティション2013</li> <li>・遠藤秀平賞銀賞／山川大喜、辻普、藤本幸汰、白坂真</li> <li>・古谷誠章賞佳作／菅原雅之</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 26    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第47回毎日・DAS デザイン賞</li> <li>・入賞／滝村菜香</li> <li>・入賞／出山亮</li> <li>・入賞／藤本幸汰</li> <li>●第27回千葉県建築学生賞</li> <li>・特別賞(JIA 全国出展)／山影悠時</li> <li>・奨励賞・市民賞2位／志萱侑太</li> <li>●全国合同卒業設計展「卒・15」</li> <li>・審査委員賞(藤村龍至賞)／山影悠時</li> <li>●卒業設計日本一決定戦2015</li> <li>・100選／山影悠時</li> <li>・100選／志萱侑太</li> <li>●福岡デザインレビュー2015</li> <li>・最優秀賞／堤昭文 <b>日本一</b></li> <li>●赤レンガ卒業設計展2015</li> <li>・審査委員賞(中山英之賞)／滝村菜香</li> <li>●第38回学生設計優秀作品展</li> <li>・レモン賞／堤昭文</li> <li>●日本建築学会 建築デザイン発表会</li> <li>・審査委員賞(篠原聡子)／山影悠時</li> <li>●MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2015</li> <li>・入選／志萱侑太</li> <li>・入選／山影悠時</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●建築新人戦</li> <li>・101選／高橋翔</li> <li>●第8回 JACS 住宅設計コンペ2014</li> <li>・佳作／川崎将、志萱侑太、高橋翔</li> <li>●キルコス国際建築設計コンペティション2014</li> <li>・五十嵐淳賞(銅賞)／遠洞躍斗、森浩平、浅見花</li> <li>●第6回日本大学校門建築会学生設計コンペティション</li> <li>・審査委員賞／山川大喜、滝村菜香、斉藤賢司</li> <li>・佳作／涌井匠、遠洞躍斗、山影悠時</li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2014</li> <li>・20選／涌井匠、出山亮、森浩平、樋浦直樹、染谷萌衣、高橋政頼</li> <li>●平成26年度「よこはまの海を活かしたまちづくり」コンペ</li> <li>・デザイン賞／出山亮、井出健、宇山浩和、戸田寛康、樋浦直樹</li> <li>・佳作／志萱侑太、亀田宏樹、滝村菜香、福島弘明、増田顕弘</li> </ul>                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 27    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第48回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・建築部門賞／高橋翔 <b>日本一</b></li> <li>●第28回千葉県建築学生賞</li> <li>・市民賞2位・奨励賞／高橋翔</li> <li>・奨励賞／重田秀之</li> <li>●第39回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／高橋翔</li> <li>○第39回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／山川大喜</li> <li>○第14回 JIA 関東甲信越支部大学院修士設計展2016</li> <li>・出展／川崎将</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会建築文化週間学生グランプリ2015</li> <li>・入選／志萱侑太、重田秀之、高橋翔、千葉雄介、中西宏直、濱嶋杜人</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本造園学会90周年記念全国大会 U-30国際アイデアコンペティション</li> <li>・佳作／森浩平、杉田陽平、松井創斗</li> <li>●Floating City Project Architectural Design Contest</li> <li>・佳作／佐藤信治研究室</li> <li>●シェルターインターナショナル学生設計競技2015</li> <li>・一次予選通過／出山亮、森浩平、蒲生良輔</li> <li>●第9回 JACS 住宅設計コンペ2015</li> <li>・特別賞(長谷川豪賞)／遠洞躍斗、滝村菜香、小貫笑美依、佐々木秀人</li> <li>・佳作／志萱侑太</li> <li>●平成27年度「よこはまの海を活かしたまちづくり」コンペ</li> <li>・最優秀賞／高橋翔、千葉雄介、中西宏直、今村夏波 <b>地域三</b></li> </ul> |

| 年度           | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 建築学会コンペ                                                                                                                                                                            | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成27年        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設オープンリノベーションマッチングコンペティション</li> <li>・実施採択／川崎将</li> <li>●第7回日本大学校門建築会学生設計コンペティション</li> <li>・佳作／出山亮、森浩平、蒲生良輔</li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2015</li> <li>・10選／出山亮</li> <li>・20選／遠藤躍斗、山影悠時、森浩平、上田紗矢香、小貫笑美衣</li> <li>・50選／川崎将、滝村菜香、高橋政頼、中西宏直、門口稚奈、蒲生良輔、濱嶋杜人</li> <li>●第13回主張する「みせ」学生デザインコンペ</li> <li>・審査委員特別部門賞／志萱侑太、山本雄太郎</li> <li>●第1回学生、コンペティション「井のレシビ」</li> <li>・特別賞／山川大喜、志萱侑太、千葉雄介</li> <li>●キルコス国際建築設計コンペティション2015</li> <li>・近藤哲雄賞銀賞／志萱侑太</li> </ul> |
| 28           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第29回千葉県建築学生賞</li> <li>・市民賞／蒲生良輔 <b>地域</b></li> <li>・奨励賞／蒲生良輔</li> <li>・奨励賞／濱嶋杜人</li> <li>●せんだいデザインリーグ</li> <li>卒業設計日本一決定戦</li> <li>・100選／上田紗矢香</li> <li>・100選／宮嶋悠輔</li> <li>●全国合同卒業設計展「卒、17」</li> <li>・総合資格学院賞／上田紗矢香</li> <li>●第40回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／蒲生良輔</li> <li>○第40回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／志萱侑太</li> <li>○第15回 JIA 関東甲信越支部大学院修士設計展2017</li> <li>・出展／出山亮</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技</li> <li>・タジマ奨励賞／宮嶋悠輔、門口稚奈、谷龍、濱嶋杜人</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ERI 学生デザインコンペ2016</li> <li>・佳作／蒲生良輔、小貫笑美衣、福富大真</li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2016</li> <li>・50選／佐々木秀人、新部瑤介、加藤毅三</li> <li>●都市のパブリックスペースデザインコンペ</li> <li>・佳作／志萱侑太、金井亮祐</li> <li>・佳作／永富快、上田紗矢香、山本雄太郎</li> <li>●(社)東京建築士会「住宅課題賞」</li> <li>・入賞／黄起範</li> </ul>                                                                                                                                                                                                 |
| 29           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第49回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・金の卵賞／黄起範 <b>日本一</b></li> <li>●第30回千葉県建築学生賞</li> <li>・特別賞／黄起範</li> <li>・奨励賞／赤堀厚史</li> <li>○第41回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／千葉雄介</li> <li>○第16回 JIA 関東甲信越支部大学院修士設計展2018</li> <li>・出展／高橋翔</li> </ul>                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2017「地域の素材から立ち現れる建築」</li> <li>・全国入選佳作・タジマ奨励賞／赤堀厚史、中村圭佑、佐藤未来、加藤柚衣</li> <li>・四国支部入選／松下知可、青木絵子、島田将武、浅野健</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●建築新人戦</li> <li>・16選／服部立</li> <li>・100選／勝部秋高</li> <li>・100選／山本壮一郎</li> <li>・100選／笹川雄基</li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2017</li> <li>・50選／重田秀之、宮嶋悠輔、金井亮祐、山本淳樹、Lunenкова Anastasia、渡辺真理恵、三枝晃、笹川雄基</li> <li>●シェルターインターナショナル学生設計競技</li> <li>・34選／蒲生良輔、山本淳樹</li> <li>●都市のパブリックスペースデザインコンペ2017</li> <li>・佳作／永富快、山本雄太郎、上田紗矢香</li> <li>・佳作／志萱侑太、金井亮祐</li> </ul>                                                                                                     |
| 30           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第50回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・金の卵賞／服部立 <b>日本一</b></li> <li>●第31回千葉県建築学生賞</li> <li>・最優秀賞／勝部秋高 <b>地域</b></li> <li>・特別賞／根本一希</li> <li>・市民賞／勝部秋高 <b>地域</b></li> <li>●赤レンガ卒業設計展2019</li> <li>・審査員賞／高橋遼太郎</li> <li>●デザイン女子 No.1 決定戦</li> <li>・都市・建築部門賞 1位／渡辺真理恵 <b>日本一</b></li> <li>○第42回学生設計優秀作品展</li> <li>・出展／上田紗矢香</li> <li>○第17回 JIA 関東甲信越支部大学院修士設計展2019</li> <li>・出展／佐々木秀人</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2018「住宅に住む、そしてそこで稼ぐ」</li> <li>・東海支部入選／山本壮一郎、根本一希、桜井南実、服部立、住吉文登</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●建築新人戦</li> <li>・8選／中村美月</li> <li>・100選／西遼</li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2018</li> <li>・第5位／佐々木秀人、金井亮祐、根本一希、桜井南実、小林陽太、中村美月、松下将也</li> <li>●キルコス国際建築設計コンペティション2018</li> <li>・金賞／蒲生良輔、山本淳樹、三枝晃、山内颯、西村寿々美、郎敬萬 <b>日本一</b></li> <li>・銀賞／勝部秋高、篠原健</li> <li>●桜建デザイン・コンクール2018</li> <li>・入選／佐々木秀人、山本壮一郎、渡辺真理恵、西村寿々美</li> <li>●住宅課題賞2018</li> <li>・入選／小山田駿志</li> <li>●ひろしま建築学生チャレンジコンペ2018</li> <li>・9選／西遼、小山田駿志、山内颯</li> </ul>                                     |
| 31<br>(令和1年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第51回毎日・DAS 学生デザイン賞</li> <li>・出展／中村美月</li> <li>●第32回千葉県建築学生賞</li> <li>・最優秀賞／横畑佑樹 <b>地域</b></li> <li>・特別審査委員賞／横畑佑樹</li> <li>●せんだいデザインリーグ2020</li> <li>卒業設計日本一決定戦</li> <li>・20選／中村美月</li> <li>・100選／小山田駿志</li> <li>・100選／横畑佑樹</li> </ul>                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2019「ダンチを再考する」</li> <li>・関東支部入選／小山田駿志、大石展洋、中村美月、渡邊康介</li> <li>・タジマ奨励賞／小山田駿志、大石展洋、中村美月、渡邊康介</li> <li>・全国入選佳作／根本一希、勝部秋高</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的空間再編コンペティション2019</li> <li>・グランプリ／横畑佑樹、山本壮一郎、中村美月、大石展洋、大久保将吾、駒形吏紗、白杵葵</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

| 年度   | 卒業設計(●)／修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 建築学会コンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国合同卒業設計展「卒、20」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別賞(総合資格賞)／横畑佑樹</li> <li>・8選／西村寿々美</li> </ul> </li> <li>●赤レンガ卒業設計展2020 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀賞／中村美月 <b>日本一</b></li> </ul> </li> <li>○第43回学生設計優秀作品展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出展／横畑佑樹</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 2    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第52回毎日・DAS 学生デザイン賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／藤田大輝</li> </ul> </li> <li>●第33回千葉県建築学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀賞／山戸善伸 <b>地域二</b></li> <li>・入選／佐藤駿介</li> </ul> </li> <li>●全国合同卒業設計展「卒、21」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合資格賞／中村正基</li> <li>・八木祐理子賞／神林慶彦</li> </ul> </li> <li>●オンライン卒制展2021 <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋古浩気賞／藤田大輝</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2020「外との新しいつながりをもった住まい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／根本一希、渡邊康介、中村美月</li> <li>・佳作／勝部秋高、篠原健</li> <li>・タジマ奨励賞／石井健聖、大久保将吾、駒形史紗、佐藤駿介、鈴木亜実</li> <li>・四国支部入選／鷹田知輝(日本大学)、横畑佑樹(同)、西遼(岡山県立大学)、植田美鈴(日本大学)</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第11回 JIA・デスクチャレンジ設計コンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・山脇賞／古角虎之介、小山田駿、鷹田知輝、横畑佑樹</li> </ul> </li> <li>●第7回宇宙建築賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3位／福田晃平、水口隆、佐藤宏樹(芝浦工大)</li> </ul> </li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2020 <ul style="list-style-type: none"> <li>・準グランプリ／根本一希、中村美月、渡邊康介 <b>日本二</b></li> <li>・ベスト16／古角虎之介、山戸善伸、神林慶彦、中村正基</li> <li>・最優秀 SNOU 賞／古角虎之介、山戸善伸、神林慶彦、中村正基</li> </ul> </li> <li>●土木デザイン設計競技景観開花。2020 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀作品賞／横畑佑樹、根本一希、中村数基、藤田大輝、小林功基、有馬成美 <b>日本一</b></li> </ul> </li> <li>●木の家設計グランプリ2020 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀賞／中村正基、山本壮一郎、中村美月、山田遥南、石本かえで、田畑輝 <b>日本二</b></li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第34回千葉県建築学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀賞／小林真子 <b>地域二</b></li> <li>・奨励賞／太田優人</li> </ul> </li> <li>●せんだいデザインリーグ2022 卒業設計日本一決定戦 <ul style="list-style-type: none"> <li>・100選／関亮太</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2021「まちづくりの核として福祉を考える」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東支部入選／藤田大輝、渡辺真理恵、石井健成(工学院大)、黒田尚幹(同)</li> <li>・近畿支部入選／小山田駿志、古角虎之介、高橋朋、福田晃平</li> </ul> </li> <li>●日本建築学会建築文化週間学生グランプリ2021「銀茶会の茶席」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・原田祐季子賞／大木貴裕、小林真子、中泉拓己、森田優莉、山戸善伸</li> <li>・風周喜一賞、木村知弘賞／小山田駿志、謝雨辰、鈴木品美子、増田悠玖、渡邊愛</li> </ul> </li> <li>●日本建築学会関東支部第22回提案競技「美しいまちをつくる、むらをつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別賞／中村美月、横畑佑樹、神林慶彦、小川香奈、安藤大翔、山田莉央 <b>日本二</b></li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第8回 POLUS 学生建築デザインコンペティション <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／福田晃平、山戸善伸</li> </ul> </li> <li>●第12回 JIA・デスクチャレンジ設計コンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／古角虎之介、小林真子、鷹田知輝</li> </ul> </li> <li>●建築学縁祭 ～ROOKIE 戦～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・100選／三谷翼空</li> <li>・100選／荒井基就</li> </ul> </li> <li>●VectorWorks 学生作品コンテスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀賞／安藤大翔 <b>地域二</b></li> </ul> </li> <li>●JAPAN WOOD DESIGN AWARD2021 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／小山田駿志</li> </ul> </li> <li>●第9回ヒューリック学生アイデアコンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作／中村美月、横畑佑樹、中村正基</li> </ul> </li> <li>●U30復興デザインコンペ2021「複合災害と新たな都市像」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀賞／藤田大輝、渡辺真理恵、山田遥南、川田遥、西辻優世、石黒敬太、尾沢圭太 <b>日本一</b></li> </ul> </li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2021 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10位／藤田大輝</li> <li>・最優秀 SNOU 賞／藤田大輝</li> </ul> </li> </ul> |
| 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第54回毎日・DAS 学生デザイン賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／安藤大翔</li> <li>・入選／大木貴裕</li> </ul> </li> <li>●第35回千葉県建築学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別賞・市民賞／川内俊太郎</li> <li>・奨励賞／尾沢圭太</li> </ul> </li> <li>●せんだいデザインリーグ2023 卒業設計日本一決定戦 <ul style="list-style-type: none"> <li>・100選／三谷翼空</li> </ul> </li> <li>●赤れんが卒業設計展2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・100選／法橋礼歩</li> <li>・100選／大木貴裕</li> <li>・100選／梅澤秀太</li> <li>・100選／三谷翼空</li> <li>・100選／石黒敬太</li> </ul> </li> <li>●全国合同卒業設計展「卒、23」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・50選／三谷翼空</li> </ul> </li> <li>●新潟建築卒業設計展 Session! 2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海林賞／梅澤秀太</li> </ul> </li> <li>●第46回学生設計優秀作品展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出展／梅澤秀太</li> </ul> </li> <li>○第46回学生設計優秀作品展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出展／中村正基</li> </ul> </li> <li>●群青建築展2023+ <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉崎賞／安藤大翔</li> <li>・姉崎賞／法橋礼歩</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2022「『他者』とともに生きる建築」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東支部入選／中村正基、神林慶彦</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●WASA 世界建築学生賞 2022 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入賞／三谷翼空、梅澤秀太</li> <li>・入賞／三谷翼空、梅澤秀太、安藤大翔、尾沢圭太、法橋礼歩</li> </ul> </li> <li>●住宅課題賞2022 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選／櫻井彩香</li> </ul> </li> <li>●U30復興デザインコンペ2022「災間を生きる都市」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8選／安藤大翔、藤田大輝、任晴斐、鈴木雄士、山口直也、奥村碩人</li> </ul> </li> <li>●The 12th Virtual Design World Cup <ul style="list-style-type: none"> <li>・C デビッド・ツェン賞／梅澤秀太</li> </ul> </li> <li>●建築学縁祭 ～Rookie 戦～2022 <ul style="list-style-type: none"> <li>・100選／樋口大雅</li> <li>・100選／八阪柊吾</li> </ul> </li> <li>●VectorWorks 学生作品コンテスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励賞／富永玲央</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第36回千葉県建築学生賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JSCA 千葉・構造デザイ賞(特別賞)／八阪柊吾</li> <li>・特別賞／浅井駿来</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第12回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・土肥賞／三谷翼空</li> </ul> </li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

| 年度   | 卒業設計(●)/修士設計(○)                                                                                                                                                                                                                              | 建築学会コンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | その他のコンペ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国合同卒業設計展「卒、24」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・50選/藍野友輝</li> <li>・50選/富永玲央</li> </ul> </li> <li>●JIA 全国卒業設計コンクール2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出展/浅井駿来</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会設計競技2023「環境と建築」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タジマ奨励賞/仲澤和希、佐藤航太、奥村碩人、玉木芹奈</li> <li>・北海道支部入選/安藤大翔、太田優人</li> <li>・東北支部入選/荒木陽哉、山口直也、黒坂龍之介</li> </ul> </li> <li>●日本建築学会関東支部第24回提案競技「まちなか再生に取り組む伊勢崎市の未来を創造する」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作/鈴木雄士、富永玲央、佐村拓郎、小林弘真、姫野由依、熊谷百花(共立女子大学)</li> </ul> </li> <li>●新潟卒業設計展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8選/浅井駿来</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Design Review 2024 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10選/富永玲央</li> <li>・62選/藍野友輝</li> </ul> </li> <li>●ARCASIA Students' Design Competition 2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内代表/藍野友輝</li> </ul> </li> <li>●建築学縁祭 ~ Rookie 戦~2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・誠賀建設賞/菊池康太</li> <li>・佳作/姫野由依</li> <li>・石井秀幸賞/若松瑠苒</li> <li>・100選/田中修斗</li> </ul> </li> <li>●建築新人戦2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作/姫野由依</li> <li>・100選/若松瑠苒</li> </ul> </li> <li>●VectorWorks 学生作品コンテスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励賞/姫野由依</li> </ul> </li> <li>●木の家設計グランプリ2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀賞/八阪柊吾 <b>日本二</b></li> </ul> </li> <li>●歴史的空間再編コンペティション2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNOU パース賞/浅井駿来、樋口大雅</li> </ul> </li> <li>●2023年度グッドデザイン・ニューホープ賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選/三谷翼空</li> </ul> </li> <li>●住宅課題賞2023 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入選/若松瑠苒</li> </ul> </li> <li>●第11回ヒューリック学生アイデアコンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・佳作/太木貴裕、中村光佑、門谷采実</li> <li>・佳作/富永玲央、太田優人、法橋礼歩、鈴木雄士</li> <li>・佳作/三谷翼空</li> </ul> </li> <li>●第11回大東建託賃貸住宅コンペ <ul style="list-style-type: none"> <li>・選外佳作/若松瑠苒、太田優人、柏木玲菜、樋口大雅、園田悠太</li> </ul> </li> <li>●第50回 五三会建築設計競技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤森雅彦賞/藍野友輝、三谷翼空、梅澤秀太</li> </ul> </li> </ul> |

## 令和五年度 設計製図担当教員一覧

### 1年生（ベーシックデザイン演習）

佐藤信治（ベーシックデザイン演習）／海洋建築工学科  
菅原 遼（ベーシックデザイン演習）／海洋建築工学科  
金子太亮（ベーシックデザイン演習）／空間研究所  
勝又 洋（ベーシックデザイン演習）／大成建設㈱  
木内厚子（ベーシックデザイン演習）／STUDIO 8  
長谷川洋平（ベーシックデザイン演習）／㈱長谷川大輔構造計画  
星 裕樹（ベーシックデザイン演習）／KAJIMA DESIGN  
船曳桜子（ベーシックデザイン演習）／船曳桜子建築設計

### 2年生（デザイン演習Ⅰ、デザイン演習Ⅱ）

佐藤信治（デザイン演習Ⅰ）／海洋建築工学科  
菅原 遼（デザイン演習Ⅰ、デザイン演習Ⅱ）／海洋建築工学科  
小林直明（デザイン演習Ⅱ）／海洋建築工学科  
奥村梨枝子（デザイン演習Ⅰ、デザイン演習Ⅱ）／YTRO DESIGN INSTITUTE  
勝又 洋（デザイン演習Ⅰ）／大成建設㈱  
高野洋平（デザイン演習Ⅱ）／高野洋平建築設計事務所  
田中克典（デザイン演習Ⅰ、デザイン演習Ⅱ）／㈱大林組  
玉上貴人（デザイン演習Ⅰ）／タカトタマガミデザイン  
筒井紀博（デザイン演習Ⅰ、デザイン演習Ⅱ）／筒井紀博空間工房  
鶴田伸介（デザイン演習Ⅱ）／熊工房  
森田敬介（デザイン演習Ⅰ）／森田建築設計事務所  
山田晶子（デザイン演習Ⅱ）／かめ設計室

### 3年生（デザイン演習Ⅲ、建築計画及び演習）

佐藤信治（デザイン演習Ⅲ、建築計画及び演習）／海洋建築工学科  
小林直明（デザイン演習Ⅲ、建築計画及び演習）／海洋建築工学科  
穴澤順子（建築計画及び演習）／アトリエフウチ  
小平純子（デザイン演習Ⅲ）／㈱竹中工務店  
川久保智康（デザイン演習Ⅲ）／川久保智康建築設計事務所  
桔川卓也（デザイン演習Ⅲ）／ナスカ  
高野洋平（デザイン演習Ⅲ）／高野洋平建築設計事務所  
長谷川洋平（デザイン演習Ⅲ）／㈱長谷川大輔構造計画  
光井 純（デザイン演習Ⅲ、建築計画及び演習）／光井 純アンドアソシエーツ建築設計事務所㈱

### 4年生（総合演習）

佐藤信治（総合演習デザイン系）／海洋建築工学科  
山本和清（総合演習計画系）／海洋建築工学科  
寺口敬秀（総合演習計画系）／海洋建築工学科  
菅原 遼（総合演習計画系）／海洋建築工学科  
小林直明（総合演習デザイン系）／海洋建築工学科  
桜井慎一（総合演習計画系）／海洋建築工学科  
吉田郁夫（総合演習デザイン系）／清水建設㈱

「絶海の未来航路」

—宇宙輸送技術を活用した離島型宇宙港の提案— 浅井駿来

「海の駅」 小野田鼓・古川穂奈実

「鉄の起水とアグリズム」

水素製鉄を用いた新たな製鉄所の在り方 富永玲央

「環境と住空間を考える —大横川沿いに建つ住宅—」

酒井 優・佐々木省太郎・畑口優太

「街のアートミュージアム」 江口和李・川神爽来

「海上円環都市」 樋口大雅

「水運を活用した江戸川区の新庁舎の設計 —防災に特化した庁舎施設の提案—」 太田倭人

「SWASH」 石田大誠・今市尚大・川上真平・鈴木陽斗・横塚和俊

「備築 —蓄え、展開するくらし—」 門谷采実・金井和奏・中島啓太・中村光佑

「2025 年日本国際博覧会跡地計画 観光立国における国際医療拠点の提案」

小林真子